

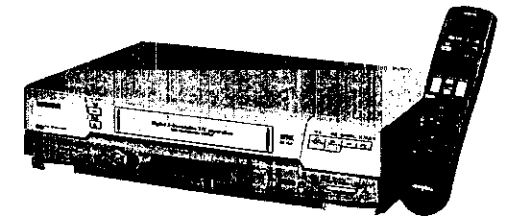
日立ビデオカセットレコーダー

HITACHI

Hi-Fi **SVHS** VIDEO *plus+*

BSチューナー内蔵

7B-BSJ1形



取扱説明書

このたびは、日立ビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

愛情点検



●長年ご使用のビデオの点検をぜひ！

●ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

このようなことはありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理のついでに費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名

電話 ()

ご購入年月日

平成

年

月

日

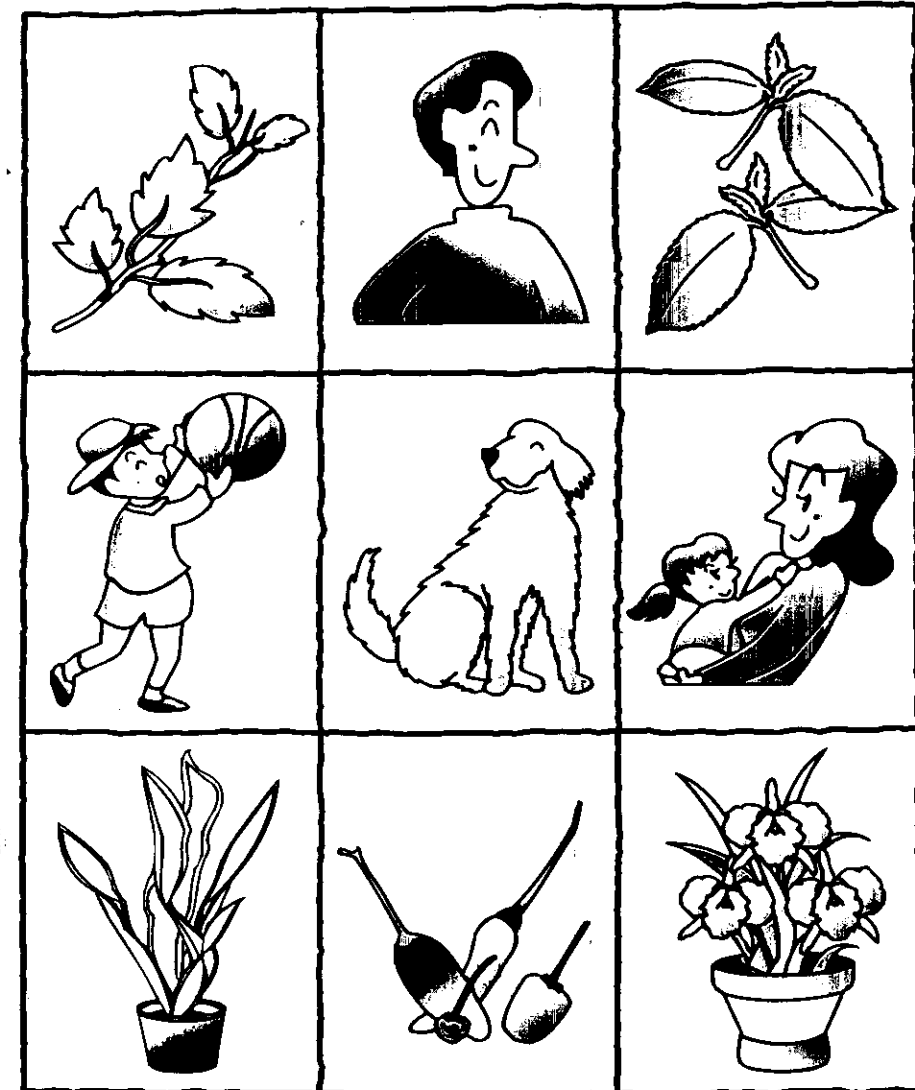
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

再生紙

この取扱説明書は、再生紙を使用しております。



このビデオは、**SVHS**方式のビデオです。
SVHSおよび**VHS**マークのついたビデオテープ以外は使用できません。

この説明書の見かた

このページの概要

受信チャンネルを合わせる

お住いの地域により(たとえば東京と大阪、あるいは北海道と九州では)、受信できるチャンネルが違います。このため、お住いの地域に合わせてビデオの受信チャンネルを合わせる必要があります。オートチャンネル設定を行うと、お住いの地域で受信できるチャンネルがすべて、自動的に設定できます。

アンテナとテレビが正しく接続されているか、確かめてください。

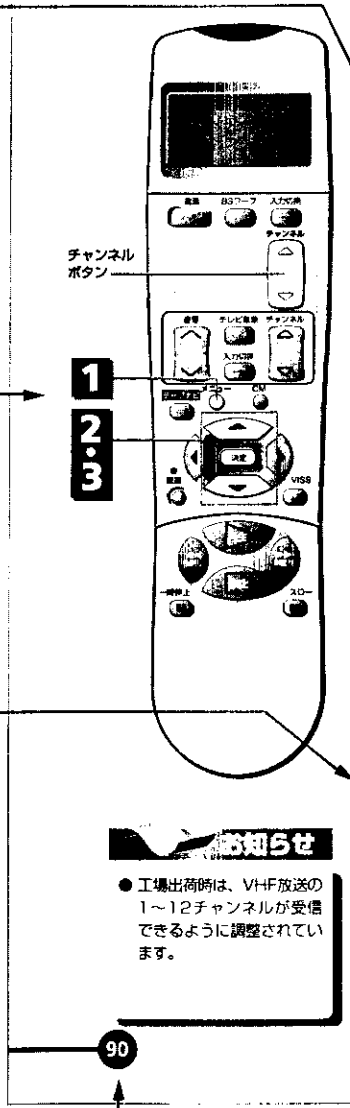
操作の前に必ずお読みください。

操作前の準備

- テレビで
テレビの操作を示します。
- ビデオで
ビデオの操作を示します。

リモコン
番号は操作手順と対応しています。ビデオ本体に同じなまのボタンがあるものは、本体のボタンでも同じ操作ができます。

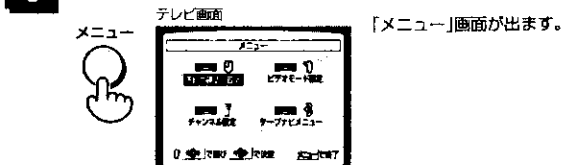
操作手順



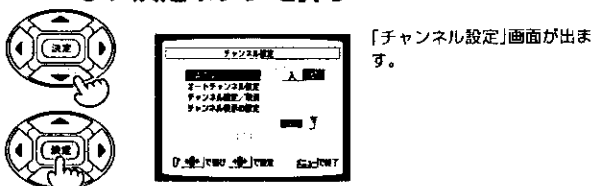
チャンネルを設定する(オートチャンネル設定)

- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切替を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

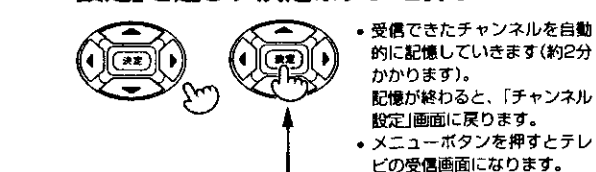
1 メニューボタンを押す



2 ▼ボタンを押して「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



3 ▼、▲ボタンを押して「オートチャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



お知らせ

●工場出荷時は、VHF放送の1~12チャンネルが受信できるように調整されています。

●受信できたチャンネルを自動的に記憶していきます(約2分かかります)。記憶が終わると、「チャンネル設定」画面に戻ります。
●メニューボタンを押すとテレビの受信画面になります。

90

ページ

ボタンを押すことを表します。

お知らせ
このページの操作に関連するお知らせです。

インデックス
章ごとに位置を変えています。ページを繰りながら探すと便利です。

インデックス

【はじめに】
ビデオをお使いになる前に知っておいていただきたい内容を説明しています。

【見る】
テープの見かた(再生)を説明しています。

【録る】
テープの録画のしかたを説明しています。

【タイマー録画】
留守録画(タイマー録画)のしかたを説明しています。

【便利な使いかた】
「見る」「録る」「タイマー録画」以外の使いかたを説明しています。

設置・準備編

【設置・準備】
ご自分で設置するときは、ここをお読みください。接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたなどを説明しています。

【ご参考】
「故障かな...と思ったら」「保証とアフターサービス」は必ずお読みください。

チャンネルボタンを押して、映るチャンネルを確認します。



- ボタンを押すたびに、設定されたチャンネルがテレビに映ります。
- チャンネルボタンの▲側を押すと、次の順にチャンネルが変わります。▼側を押すと逆の順に変わります。

VHF	UHF	CATV*
1~12	13~62	13~63
	L2-L1	1~15
		BS

*CATVチャンネルを設定したとき表示される(90ページ参照)

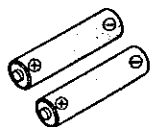
- 放送のないチャンネルが設定されているとき
電波状態によっては、放送のないチャンネルが設定されることがあります。不要なチャンネルは飛ばすことができます(90ページ参照)。
- チャンネルの表示がテレビ番組表の数字と合わないとき
チャンネルの表示を、テレビ番組表と同じ数字に変えることができます(90ページ参照)。

設置・準備

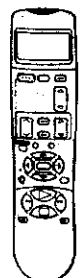
91

付属品を確かめましょう

単3形乾電池
...2個 (91ページ)



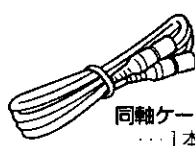
ワイヤレスリモコン
(VT-RM93)
...1個 (91ページ)



Sコード
...1本 (94ページ)



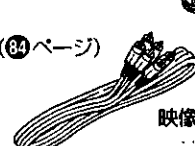
同軸ケーブル
...1本 (95ページ)



AV-BUSコード
...1本 (95ページ)



映像・音声コード
...1本 (98ページ)



はじめに

見る

録る

便利な使いかた

ご参考

安全にお使いいただくためのご注意

ご使用になる前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について










この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

- ※1 重傷 …… 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 傷害 …… 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害 …… 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

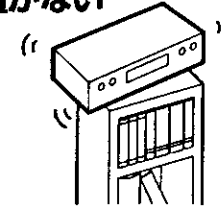
 この記号は、気をつけていただきたい「注意」の内容を表しています。	 この記号は、「指に注意する」ことを表しています。
 この記号は、してはいけない「禁止」の内容を表しています。絶対に行わないでください。	 この記号はコンセントから「電源プラグを抜く」ことを表しています。
 この記号は、「分解禁止」を表しています。	 この記号は、「接触禁止」を表しています。
 この記号は、「風呂、シャワー室での使用禁止」を表しています。	 この記号は、「ぬれた手で扱うことを禁止する」ことを表しています。
 この記号は、「水にぬらすことを禁止する」ことを表しています。	

警告

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない



禁止

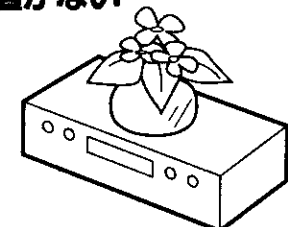


頭や足の上などにビデオが落下すると、けがの原因となります。

ビデオの上に、花びん、植木鉢、コップなど水の入った容器、または小さな金属物を置かない



水ぬれ禁止

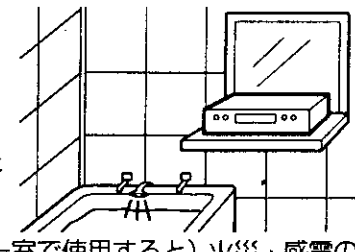


水がこぼれたり金属物が落ちて内部に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



風呂、シャワー室での使用禁止

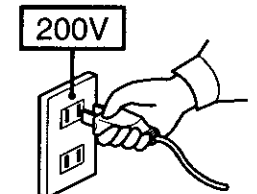


(風呂、シャワー室で使用すると)火災・感電の原因となります。

指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使用しない



禁止

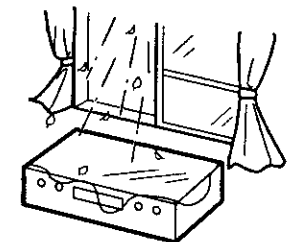


過電圧により、発熱して、火災・感電の原因となります。

水にぬらさない



水ぬれ禁止



内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 屋外や窓辺で使用するときは、ビデオをぬらさないようにご注意ください。
- 内部に水などが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

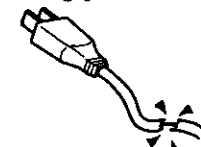
電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ること

- 傷つけない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 重い物や角が鋭利なものをのせない
- 加熱しない
- 引っ張らない
- 加工しない
- 束ねない
- 敷物などでおおわない



禁止



破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグを抜く

(つづく)

はじめに

見る

録る

便利な使いかた

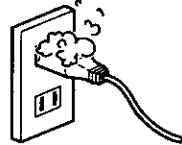
ご参考

警告

電源プラグや電源プラグの刃にゴミやほこりを付着させない



禁止



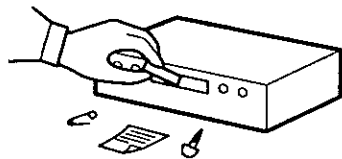
そのまま使用すると、発熱・火災の原因となります。

- ほこりが付着しているときは、電源プラグを抜いて、ほこりを取り除いてください。

内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない



禁止



ビデオテープ挿入口・ビデオの通風孔などから内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 内部に金属物や燃えやすいものが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

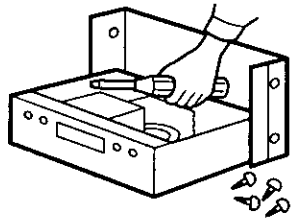


電源プラグを抜く

ビデオのカバー、裏ぶたを外さない分解・修理・改造をしない



分解禁止



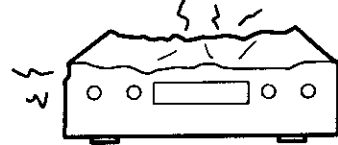
分解、修理、改造などで内部の電源部にさわると、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



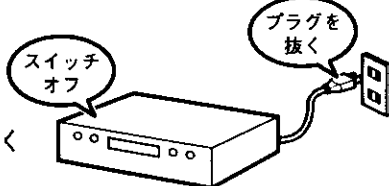
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 落としたり、キャビネットを破損したときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なおいがするなど異常なときは、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない



接触禁止



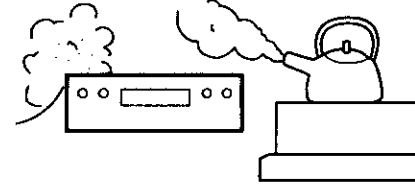
アンテナ線や電源プラグに触れると感電の原因となります。

注意

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、振動が激しい場所に置かない



禁止



内部にほこりや水分が入ると、火災・感電の原因となることがあります。また振動により、内部部品が破損すると、発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

ビデオの通風孔をふさがないように、設置の際は次の点を守ること

- 横倒し、逆さまにしない
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスを掛けない
- ビデオの後面を壁に押しつけない



禁止

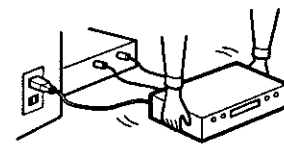


通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

アンテナ線、電源コード、その他のコードを接続したまま移動させない



禁止



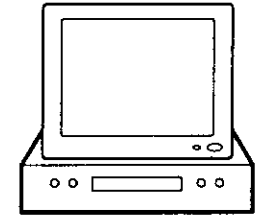
接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- テープ保護のため、ビデオテープは取り出しておいてください。

ビデオの上に、重い物を置かないビデオの上に乗らない



禁止



倒れたり、壊れたり、落下などしてけがの原因となることがあります。

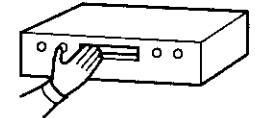
また、重みでキャビネットが変形し、内部部品が破損して発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

- 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

テープ挿入口に手を入れない



指に注意



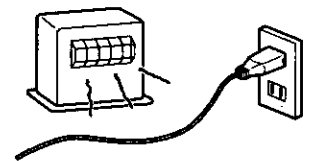
内部にふれたり、はさまれたりして、けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様にご注意ください。

電源コードを熱器具に近づけない



禁止

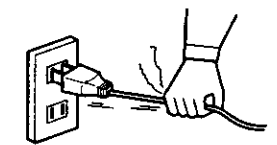


コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを持って抜かない



禁止



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

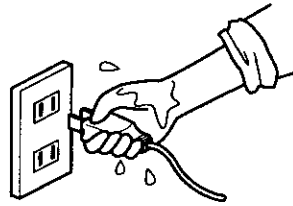
- 電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

⚠ 注意

ぬれた手で電源プラグを持たない



ぬれ手禁止



ぬれていると、感電する原因となることがあります。

指定以外の乾電池は使わない



禁止



指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

〈乾電池の液漏れについて〉

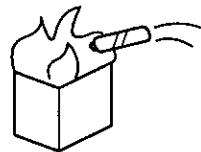
- 液漏れしたときは、よくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明などの事故の原因となります。こすらずに、すぐきれいな水で洗い流してから、ただちに医師の治療をうけてください。

乾電池を取り扱う際は、次の点を守ること

- 火の中に入れてない
- 加熱しない
- 充電・分解しない
- ショートさせない
- 鍵などの金属物と接触させない

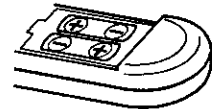


禁止



発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

乾電池は、極性表示(プラス ⊕ とマイナス ⊖)の向きに注意し、機器の指示通り正しく入れる

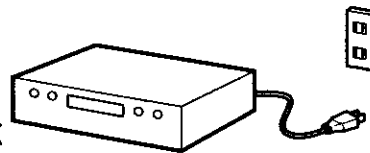


間違えると、乾電池の発熱・破裂・液漏れなどにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れの際は、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く

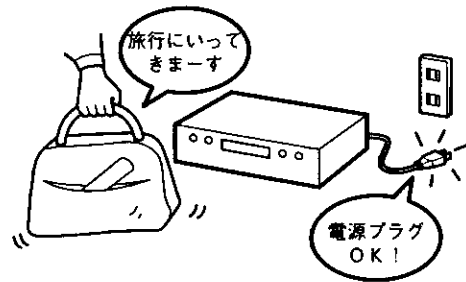


電源プラグを抜く



電源コードが接続されていると、感電の原因となることがあります。

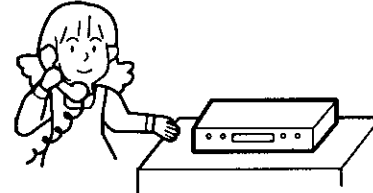
長期間使わないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

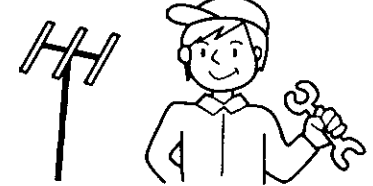
⚠ 注意

5年に1度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください



ビデオの内部にほこりがたまったまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うことをおすすめします。なお、費用については、ご相談の際にお確かめください。

アンテナ工事には、技術が必要です。販売店にご相談ください。



アンテナが倒れたり、落下した場合、けがや感電の原因となることがあります。



使用上のご注意

お知らせ

アンテナの立てかたについて

妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。

アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。

金属の多い場所に配線することも避けてください。

VHF アンテナに同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。

アンテナの点検について

アンテナを定期的に点検、交換することが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさられるところでは寿命が短くなりますので早めに点検してください。

テレビの映りが悪いときは

ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなることがあります。このときはブースター(別売品)をご使用ください。

テレビの近くに置かない

テレビラックやオーディオラックなどをご使用のときは、ビデオをラックの下段に設置してご使用になることをおすすめします。(本機をラックの上段でご使用になると、テレビとビデオの位置が近すぎるために、再生中またはテレビ番組を見ているとき、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。)

ラジオの近くに置かない

ビデオの近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。ビデオから離してご使用ください。

直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない

キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

強力な磁気のあるところに置かない

テープが磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたり、故障の原因となることがあります。

接続機器の取扱いについて

ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくご覧ください。

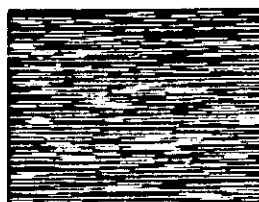
ヘッドの清掃

(テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になる)

初期



末期



ヘッド汚れにご注意！
(ビデオヘッドが汚れて、画像や音が出なくなることがあります。)

ビデオを使っているとこんな症状が出る場合があります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。

本機ではおそうじヘッドの採用により、ヘッドが汚れにくくなっております。しかし、汚れた場合は別売りのヘッドクリーニングテープをご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お使いのビデオにテープナビ機能があり、市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください。

ヘッドの摩耗



ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、画像が鮮明に映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れについて

化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。

キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。

キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

(つづく)

使用上のご注意(つづき)

お知らせ

結露にご注意!

※ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいます。

結露したまま使用するとテープが切れたり、ビデオヘッドを傷つけることがあります。

結露が生じてしまったら、水滴を急激に蒸発させることはできません。電源プラグを差し込んで、約2時間お待ちください。

結露は次のようなときにおきやすいのでご注意ください。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。
- 暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風のあたるところ。
- 夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。
- 湿気の多いところや湯気のたちこめているところ。

結露がおこりそうなときは、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを“入”にしておくと、結露が生じにくくなります。

外国では使わない

このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

<This video cassette recoder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

標準モード専用のビデオでの再生について

本機の「3倍」モードで録画したテープは「標準」モード専用のビデオでは再生できません。

録画内容の補償について

ビデオ、ビデオカメラおよびビデオテープを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

テープナビ・タイムナビの録画データの保持について

本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

大切な録画をするときは試し録りを!

大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

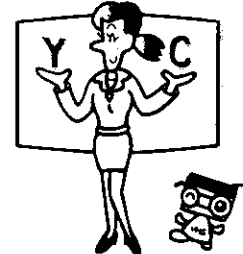
著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

このビデオの特長

3次元Y/C分離回路 (65ページ)

受信したテレビ映像の色にじみやチラつきを排除し、高画質の映像を再現します。



3次元DNR (65ページ)

テープの再生時、色ノイズや輝度ノイズを取り除き、鮮やかな映像にします。



テープナビ (66ページ)

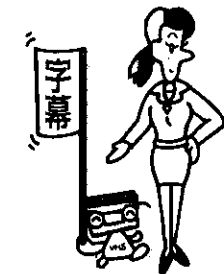
タイムナビ (76ページ)

録画した日にち、開始時刻、チャンネル、録画時間、録画モードなどの情報がビデオに自動的に登録されます。見たい番組の頭出しや、時刻を指定しての場面探しが快速にできます。



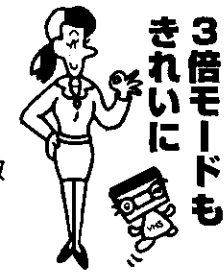
クローズド・キャプション・デコーダ内蔵 (67ページ)

クローズド・キャプション信号入りのテープを再生すると、英語の字幕を表示できます。



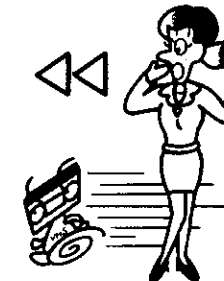
19ミクロンヘッド

3倍モードも標準モードに匹敵する高画質で記録します。



高速リワインド (23ページ)

テープを約260倍速で巻戻します。



Gコード予約 (49ページ)

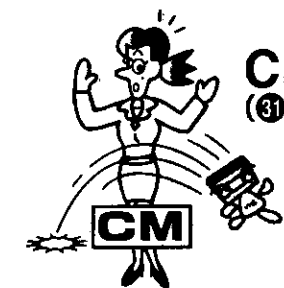
Gコードシステム*内蔵により、新聞などに掲載されているGコード(8桁の数字)を入力するだけで、簡単にタイマー予約できます。

*Gコードはジェムスターコードの略です。Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。



CMとばしワザ (41ページ)

再生中にCMの部分だけ自動的に早送りされます。



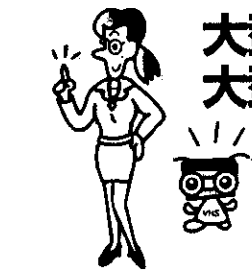
CMオートカット (42ページ)

CMを自動的にカットしながら録画できます。



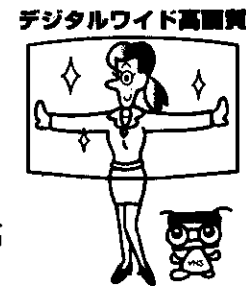
大型操作ボタンと大型時計表示

時計やカウンターが大きく、操作ボタンも大きいので快適に操作できます。



3次元ワイドポジション (30ページ)

デジタル処理技術により、ワイド画面にふさわしい高画質の映像を再現します。



はじめに

見る

録る

便利な使いかた

ご参考

はじめに

	ページ
この説明書の見かた	2
付属品を確認しましょう	3
安全にお使いいただくためのご注意	4
使用上のご注意	10
このビデオの特長	13
各部のなまえ	16
リモコン (ふたを閉じたところ)	16
リモコン (ふたを開けたところ)	17
ビデオ (正面)	18
ビデオ (後面)	19
ビデオの表示窓	20
リモコンの使いかた	21
乾電池を入れる	21
リモコンの操作範囲	21
ビデオを操作する	22
テレビを操作する	22
テープを入れる・取り出す	23
入れかた	23
取り出しかた	23
テープの「つめ」について (誤消去防止)	23
ビデオの画をテレビに映す	24

見る

S-VHSについて	26
テープを見る (再生)	27
きれいな再生画にする (トラッキング調節)	28
テープを高速 (260倍速) で送る	28
いろいろな再生のしかた	29
ある場面を止めて見る (静止画)	29
画像を見ながら見たい場面を探す (サーチ)	29
ゆっくりした速さで見る (スロー)	29
映像をクッキリさせる (3次元ワイドポジション)	30
CMをとばして見る (CMとばしワザ)	31
CMオートを使う	32
ステレオCMスキップを使う	34
録画した番組の頭出しをする (VISS)	35
二重音声やステレオ音声を選ぶ	36
英語の字幕を見る (Closed Caption)	37

録る

テレビ番組を録画する	38
録画しながら別の番組を見る	40
選んだ時間だけ録画する (クイックタイマー)	41
CMをカットしながら録画する (オートカット)	42
ダビングする	45
ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする	45
本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする	46
ステレオから音声を録音する (オーディオ録音)	47

便利な 使いかた

	ページ
タイマー録画予約の前に	48
Gコード予約する	49
Gコード予約する	49
チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する	52
リモコン予約する	54
予約の確認・取り消しをする	57
予約した番組のCMをカットする	58
タイマー予約・録画のご注意	59
画面表示を見る	60
残り時間・経過時間を表示する	61
テープの残り時間を表示する	61
経過時間を表示する	62
衛星放送の独立音声を聞く	63
ビデオの機能を画面で選ぶ (お好みセレクト)	64
テープナビを使う	66
録画データを登録する	66
テープの録画データを見る	68
テープナビ機能とタイムナビ機能を入/切する	69
録画データを使って番組の頭出しをする	70
登録内容を取消する	72
登録内容を確認する	74
テープナビのご注意	75
タイムナビで見たい場面を探す	76
リモコンで2台のビデオを操作する	78
リモコンで他社のテレビを操作する	79

ご自分で設置するときにお読みください。 82 ~ 113
 接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたが説明してあります。
 設置・準備編のもくじは82ページをご覧ください。

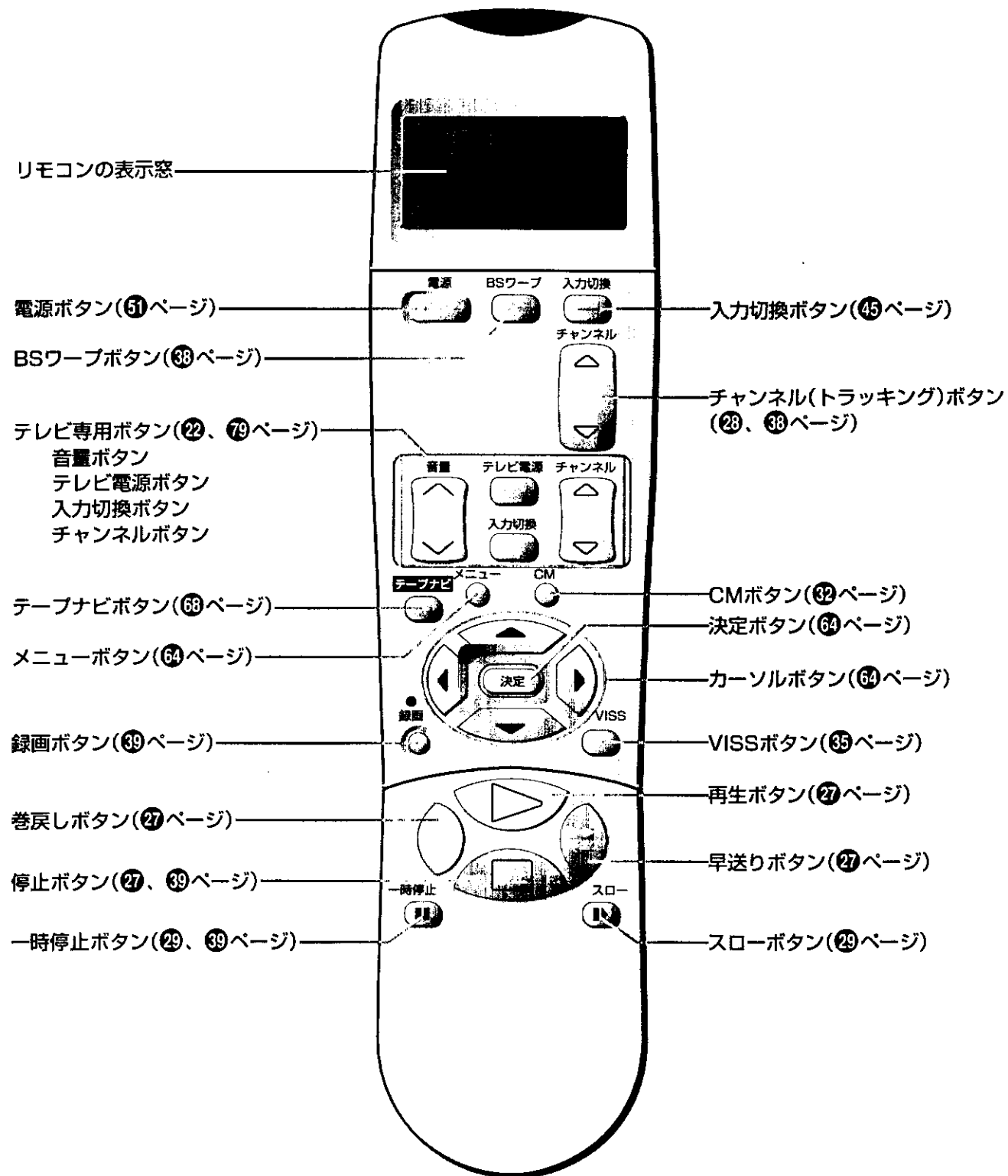
ご参考

故障かな…と思ったら	114
表示窓のガイド表示	119
保証とアフターサービス	120
仕様	121
別売品のご紹介	122
用語の解説	123
索引	126

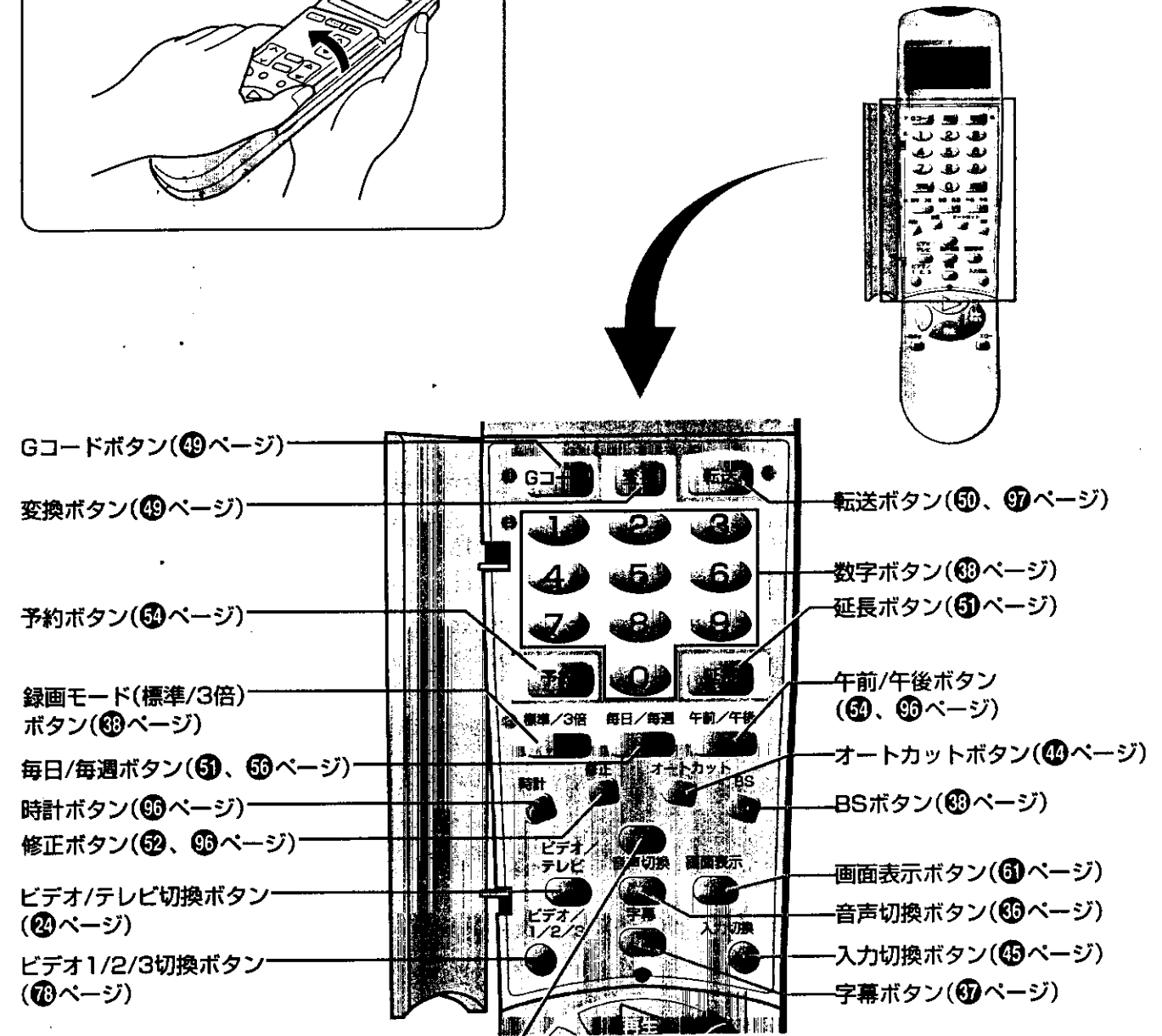
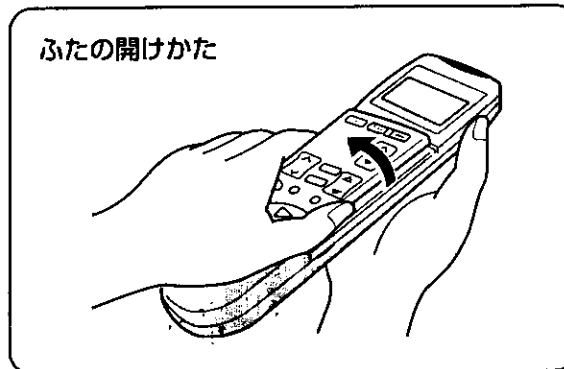
各部のなまえ

()の中のページに詳しい使いかたがあります。

リモコン(ふたを閉じたところ)



リモコン(ふたを開けたところ)



このボタンは機能しません

はじめに

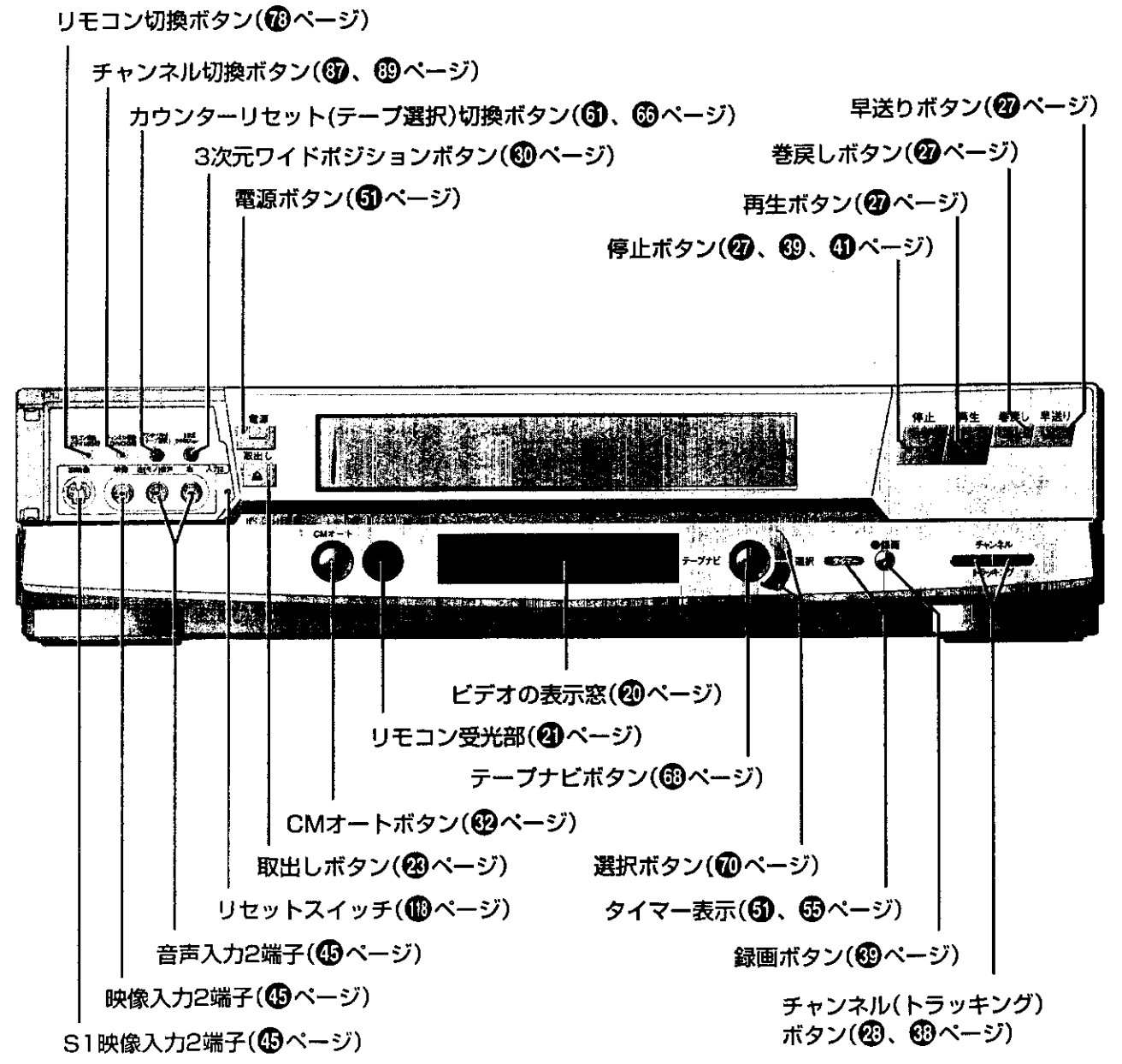
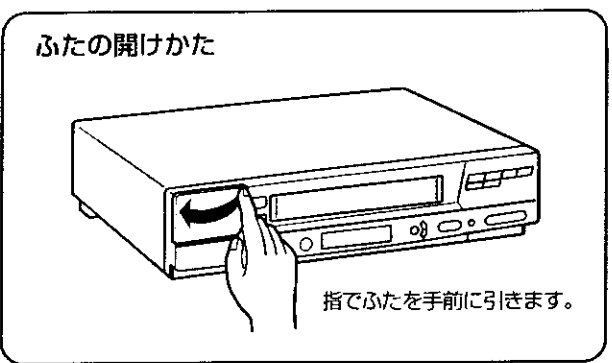


各部のなまえ(つづき)

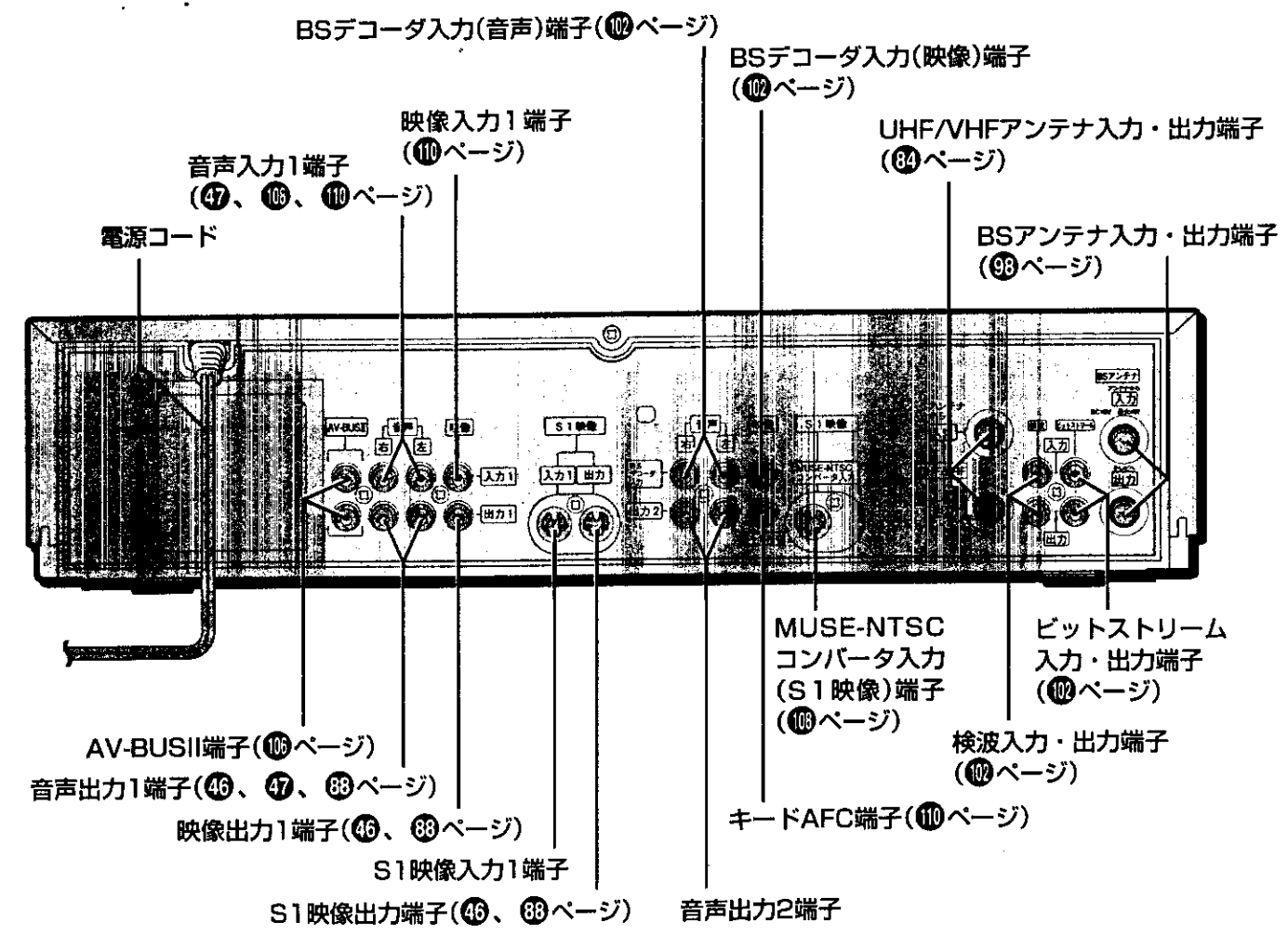


はじめて

ビデオ(正面)

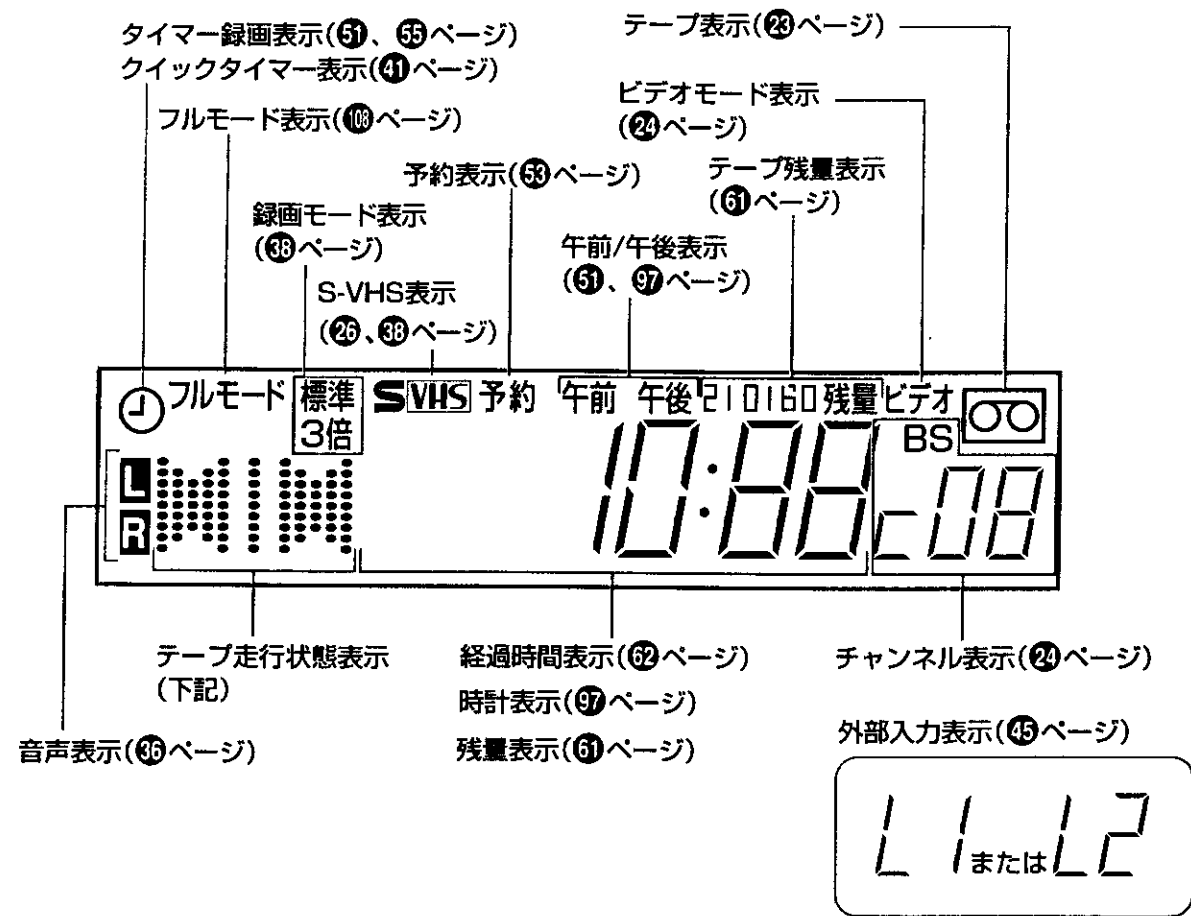


ビデオ(後面)





ビデオの表示窓



お知らせ

- 電源を切ると、表示窓は暗くなります。
- 表示窓は上記以外にもいろいろなメッセージを表示します。(119ページ参照)

テープ走行状態表示

	再生すると点灯		録画一時停止中およびオートカット中点灯
	早送りすると点灯、早送り再生すると点滅		一時停止中点灯
	巻戻しすると点灯、巻戻し再生すると点滅		スロー再生すると点灯

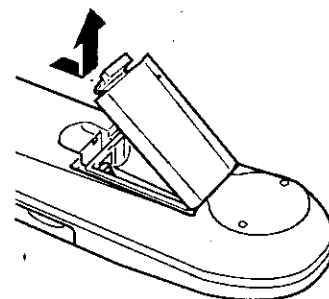


ビデオは主にリモコンで操作します。ご使用前に付属の乾電池を入れてください。

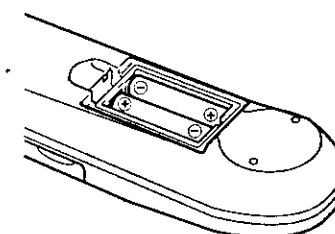
- ⚠ 注意
- 指定以外の乾電池は使わないでください。指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
 - 乾電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
 - 火の中に入れてない
 - 加熱しない
 - 充電・分解しない
 - ショートさせない
 - 鍵などの金属物と接触させない
- これらの点を守らないと発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

乾電池を入れる

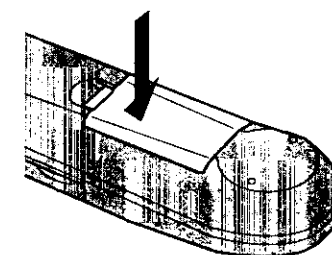
1 つまみを押しながら、ふたを開ける



2 乾電池(単3形)2本の⊕⊖を正しく入れる

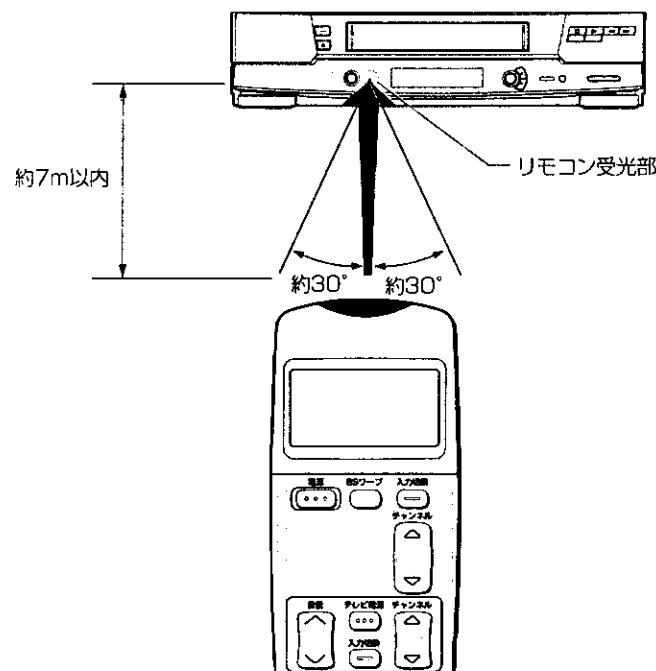


3 ふたを閉じる



リモコンの操作範囲

ビデオとリモコンの間に障害物が無いときに、次の範囲で操作できます。

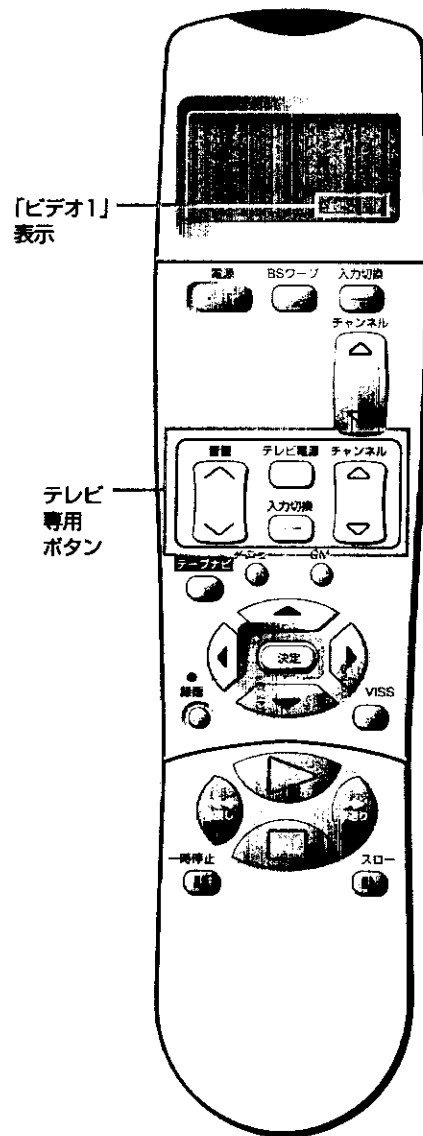


お知らせ

- 乾電池が消耗したとき
- ①から⑥の症状が出ます。このときは、新しい乾電池に交換してください。
 - ① リモコン操作後、表示窓に⊗マークが出る
 - ② リモコンの到達距離が短くなったり、リモコンでビデオを操作できない
 - ③ 表示窓の時計表示が“--:--”になった
 - ④ 表示が薄くなったり、異常な表示が出る
 - ⑤ 時計が動かない
 - ⑥ 表示がすべて消えた
- ⊗マークについて
乾電池の特質上、一度点灯してもまた消灯する場合があります。
- 乾電池を交換するとき
古い乾電池を取りはずし、電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください。その後、リモコンの時計を合わせ直してください。(リモコンの時計合わせは66ページ参照)

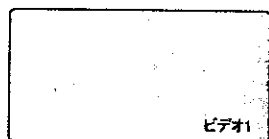
リモコンの使いかた(つづき)

付属のリモコンは、ビデオ(本機)とテレビを操作できます。
1985年以降に発売された日立製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどを操作
できます。
また、日立製以外の9社のテレビも操作できます。(詳しくは79ページを参照)



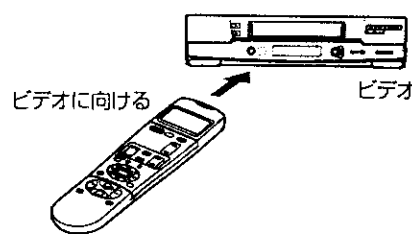
ビデオを操作する

1 リモコンの表示窓に「ビデオ1」が出ていることを確かめる



「ビデオ2」や「ビデオ3」が出ているときは、リモコンのふたをあけてビデオ1/2/3ボタンを押してください。

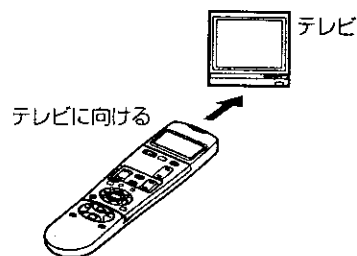
2 リモコンをビデオに向けて、ボタンを押す



ビデオとリモコンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓にビデオのリモコンコードが数秒間点滅します。
このときは、ビデオのリモコン切替ボタンをつまようじなどで押して、表示窓に「R-1」を出してください(78ページ参照)。

テレビを操作する

リモコンをテレビに向けて、テレビ専用ボタンを押す



テレビ専用ボタン
・テレビ電源ボタン
・入力切替ボタン
・チャンネルボタン
・音量ボタン

お知らせ

- 工場出荷時は、リモコンの表示窓に「ビデオ1」が表示されているときビデオの操作ができますよう、設定してあります。設定を変えて使うには、78ページをご覧ください。

テープを入れる・取り出す

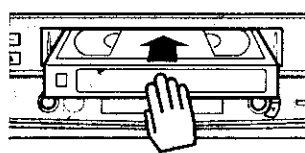
電源コードをコンセントにつないでおけば、電源の入/切に関係なく、テープの出し入れができます。



ビデオテープ挿入口から内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

入れかた

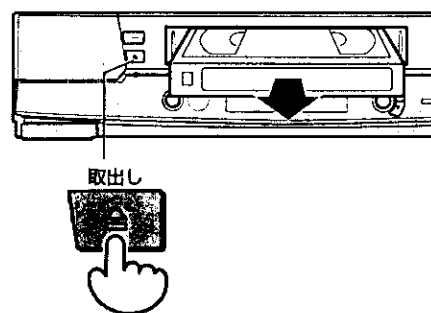
テープの中央部を押しながら入れる



- 電源が自動的に入ります。
- ビデオの表示窓に④が点灯し、経過時間表示になります。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。

取り出しかた

テープが止まっているとき、取出しボタンを押す

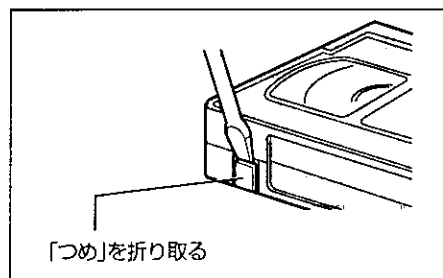


電源を入れなくてもテープを取り出せます。

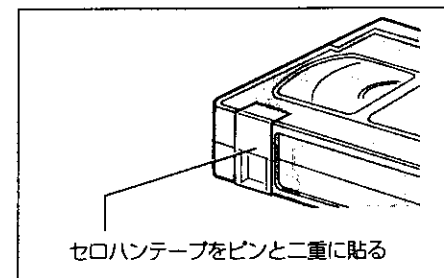
テープの「つめ」について(誤消去防止)

■ 録画を誤って消さないために

■ ふたたび録画するとき



「つめ」を折り取る



セロハンテープをピンと二重に貼る

「つめ」の折れたテープを入れたまま録画ボタンを押したり、タイマー予約後にビデオの電源を切ったりすると、自動的にテープが出てきます。

お知らせ

テープを入れると

- ビデオの表示窓が自動的に経過時間表示になります。時計や残り時間表示にするには、画面表示ボタンを押します(61ページ参照)。

テープを取り出すと

- ビデオの表示窓が自動的に時計表示になります。

テープの種類と録画時間

- 録画モードを「標準」にすると、テープの表示と同じ時間、「3倍」にするとその3倍の時間、録画できます。

テープの種類	モード	録画時間
T-210	標準	3時間30分
	3倍	10時間30分
T-180	標準	3時間
	3倍	9時間
T-160	標準	2時間40分
	3倍	8時間
T-140	標準	2時間20分
	3倍	7時間
T-120	標準	2時間
	3倍	6時間
T-90	標準	1時間30分
	3倍	4時間30分
T-60	標準	1時間
	3倍	3時間
T-30	標準	30分
	3倍	1時間30分

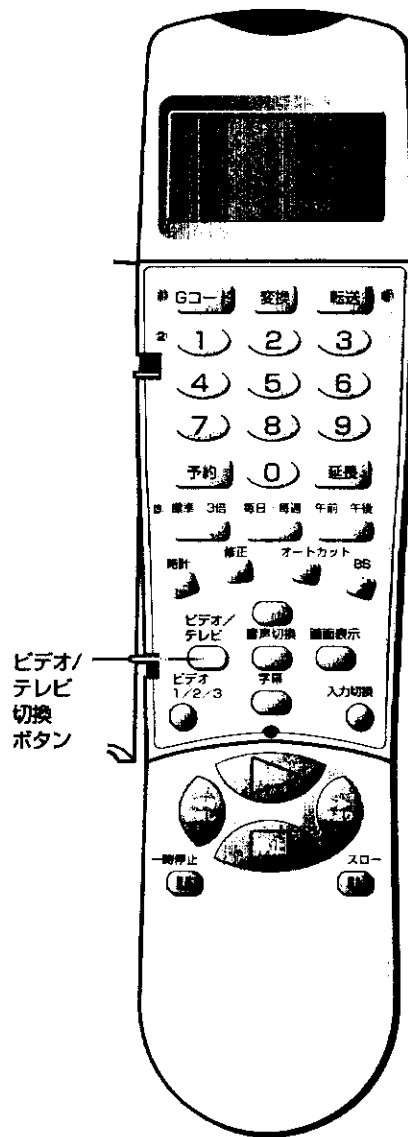
電源の入・切や再生などの「ピッ」という操作音を消すとき

- ビデオの電源を切る。
- ビデオの停止ボタンを押す。ビデオの表示窓に「b-off」と出て音が出なくなります。(ただし、タイマー予約や時刻の転送時は音が出ます。)

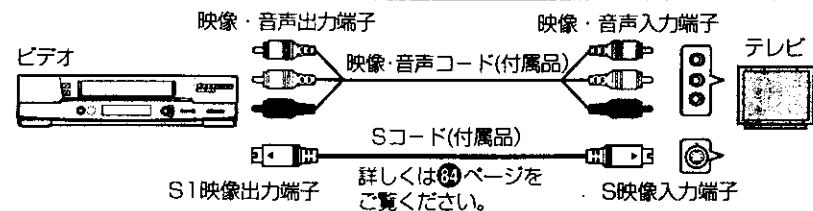
もう1回ビデオの停止ボタンを押すと、「b-on」と出て、音が鳴るように設定されます。

ビデオの画をテレビに映す

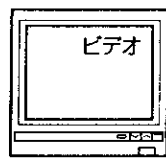
ビデオテープの再生画や録画中の番組をテレビで見するには、テレビの準備が必要です。テレビとビデオの接続を確かめてから、次のように設定してください。



映像・音声入力端子つきテレビにつないでいるとき



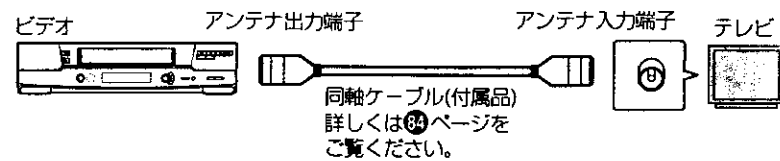
テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする



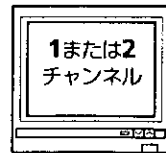
ビデオの表示窓
例：10チャンネルが映る

テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

アンテナ端子だけのテレビにつないでいるとき



1 テレビの電源を入れ、テレビをビデオチャンネル(1または2)に合わせる



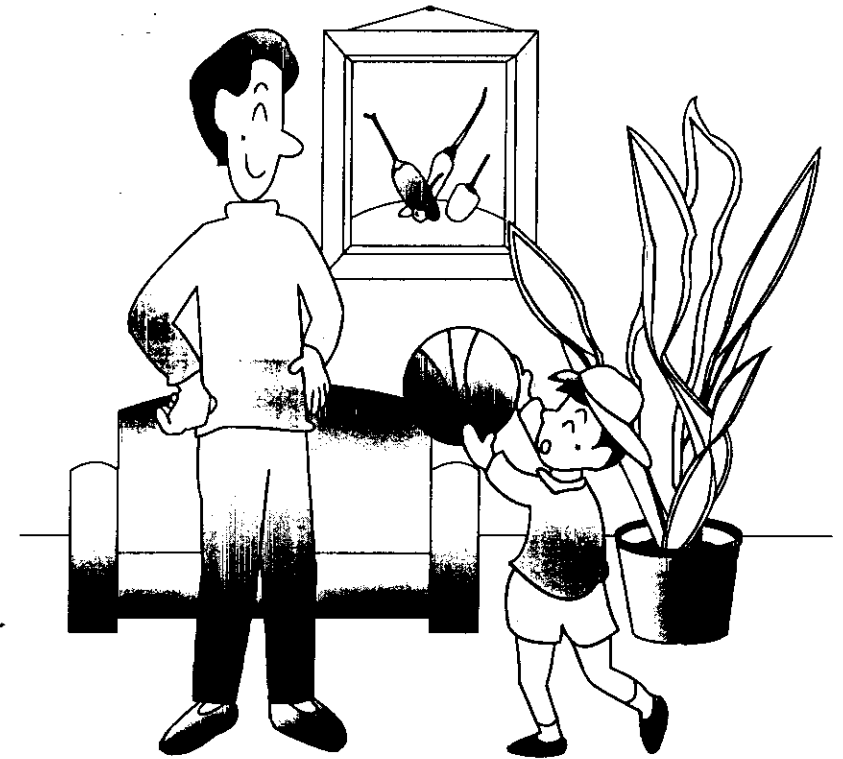
⑧ページで選んだビデオ専用チャンネルに合わせてください。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押す



ビデオの表示窓
例：10チャンネルが映る

- ビデオの表示窓に「ビデオ」を出します。
- テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。



操作編

見る

録る

便利な使いかた

S-VHSについて

S-VHS方式は、従来のVHS方式に比べ、より美しく鮮明な画像が楽しめます。S-VHS方式の高解像度、高画質を十分にお楽しみいただくためには、S映像入力端子やS1映像入力端子付きのテレビと接続することをお勧めします。これらの端子の付いていないテレビでは、S-VHSの高画質を十分にお楽しみいただけません。

お知らせ

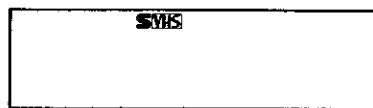
- VHSテープの何も録画されていない部分を再生したとき「**SVHS**」を表示することがあります。
- お好みセレクトの「S-VHS」を「オート」に合わせていると、テープを取り出しても「**SVHS**」が表示されつづけます。ビデオの電源を切ると、**SVHS**表示は消えます。

使用するテープと記録方式

お好みセレクトの「S-VHS」を「オート」に合わせていると、使用するテープの種類に合った記録方式で録画されます。「切」に合わせてると、テープの種類に関係なくVHS方式で録画されます。(65ページ参照)

S-VHSの設定	使用するテープ	記録方式	SVHS表示
オート	S-VHS	S-VHS	表示する
	VHS	VHS	表示しない
切	S-VHS	VHS	表示しない
	VHS	VHS	表示しない

ビデオの表示窓



SVHS表示は、S-VHS方式で録画中と再生中に自動的に表示されます。

記録したテープの再生

テープを再生するときは、記録方式を自動的に判別し、記録方式に合わせて再生します。

記録したテープ	記録方式	再生できるビデオ	SVHS表示
S-VHS	S-VHS	● S-VHSビデオ	表示する
	S-VHS	● SQPB*付きビデオ	表示しない
VHS	VHS	● S-VHSビデオ	表示しない
	VHS	● SQPB付きビデオ ● SQPB無しビデオ	

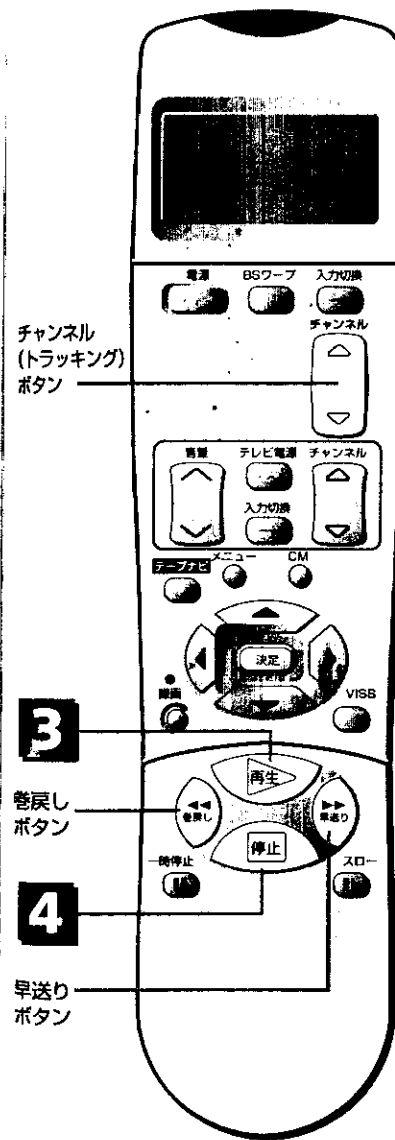
* SQPBは、S-VHS Quasi Playback (S-VHS簡易再生)の略です。

テープを見る(再生)

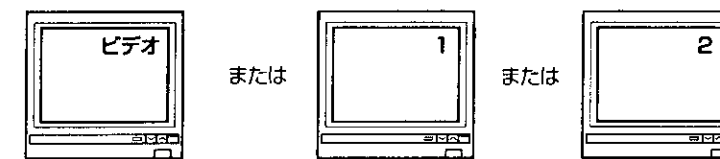
テープに録画した番組をテレビで見ることを、「再生」といいます。

重要

冬など寒い時期は、テープを十分に部屋の温度になじませてから再生してください。テープが冷えたまま再生すると、テープが結露し、テープが切れたりビデオヘッドを傷つけることがあります。



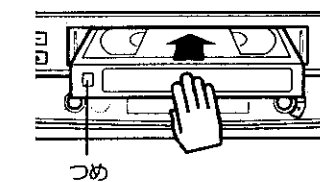
1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換、またはチャンネルを選ぶ



テレビに「ビデオ」を表示させる。

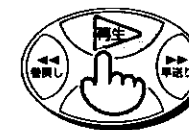
「1チャンネル」または「2チャンネル」にする。

2 録画したテープを入れる



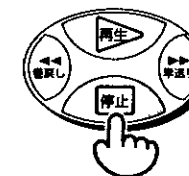
- 自動的に電源が入ります。
- レンタルテープなど、「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始め、テレビ画面に「再生」が数秒間出ます。

3 再生ボタンを押す



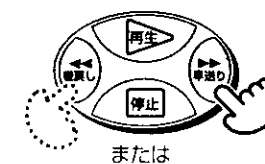
再生が始まります。

4 再生をやめるときは、停止ボタンを押す。



テープを早送り、または巻戻したいとき

停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押す。



または

見る



- テープによっては、再生を始めてオートトラッキングが働いたとき、一時的に画像や音声の質が悪くなる(ノイズが入る)ことがあります。オートトラッキング調節が終わるときれいになります。
- 高速の早送りまたは巻戻しのときは、テープ保護のため停止ボタンを押してからテープが止まるまでに約5秒かかります。早く止めたいときはふつうの早送り/巻戻しの速さに戻してから停止ボタンを押してください。

お知らせ

オートトラッキングについて

- 再生を始めると、オートトラッキングが働いて、画面がきれいになるように自動的に調節します。
- 再生中にリモコンの再生ボタンを押しても、オートトラッキングが働きます。
- 次のようなテープでは、オートトラッキングが正常に働かないことがあります。
 - 傷がついたテープ
 - 録画状態の悪いテープ
 - 本機以外で録画したテープ

オート機能について

- テープを最後まで再生するとテープの最初まで自動的に巻戻します。(オートリwind)
- テープを巻戻し中に電源を切ると、テープを最初まで巻戻したあと、自動的に電源が切れます。(オートリwindシャットオフ)

音声について

- 二重音声番組やステレオ番組を再生するときは、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(65ページ参照)。

3次元DNRについて

- 動きの速い場面で残像が出たり輪郭がぼけるときは、3次元DNRを「弱」にすると軽減できます(65ページ参照)。

きれいな再生画にする(トラッキング調節)

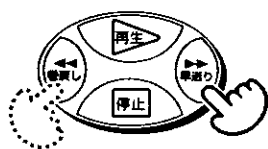
再生中に、チャンネル(トラッキング)ボタンを押す



- オートトラッキングがうまく働かないときに調節してください。
- チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、もっとも画像がきれいになるところに調節してください。
- ビデオのチャンネル(トラッキング)ボタンでも調節できます。

テープを高速(260倍速)で送る

早送りまたは巻戻しボタンを押したあと、もう1回早送りまたは巻戻しボタンを押す

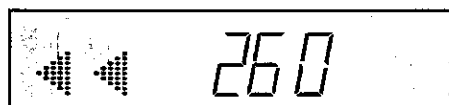


高速の早送りまたは巻戻し中、早送りまたは巻戻しボタンを押すと、ふつうの早送り/巻戻しの速さに戻ります。

テレビ画面



ビデオの表示窓



テープに録画した場面を止めて見たり、速く見たり、ゆっくり見たりすることができます。



- 静止画、サーチ、CMとばしワザ、スロー再生中は音声が出ません。
- スロー再生や静止画再生中にノイズを調節してもノイズが消えないことがあります。また、静止画、サーチ、スロー再生の切り換わる部分では、画像に乱れやノイズが出たまま消えないことがあります。故障ではありません。
- スロー再生中、テープの録画モード(標準/3倍)が切り換わる場所では、一時的に画像が乱れます。
- S-VHS方式で録画したテープは、静止画、サーチ、スロー再生中はノイズや乱れが出ることがありますが、故障ではありません。

ある場面を止めて見る(静止画)

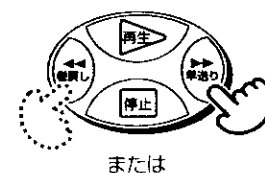
再生中に、一時停止ボタンを押す



- 一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- 静止画が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ)

再生中に、早送りまたは巻戻しボタンを押す



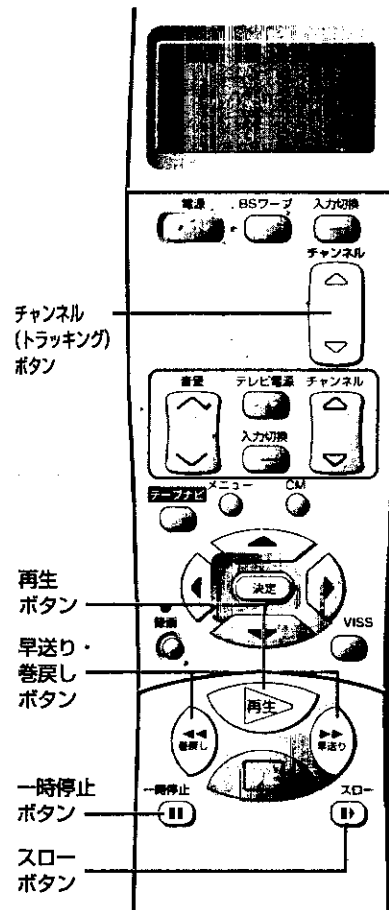
- 見たい場面が出たら、再生ボタンを押します。
- サーチ再生中は、画面に数本のノイズが出ます。
- CMとばしワザを設定していると、CM部分の終わりで再生に戻ります(62ページ参照)。

ゆっくりした速さで見る(スロー)

再生中に、スローボタンを押す



- 再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- スロー再生が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。



お知らせ

静止画が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、揺れを最小にするよう調節してください。
- テレビとの組み合わせによっては、揺れを抑えられないことがあります。

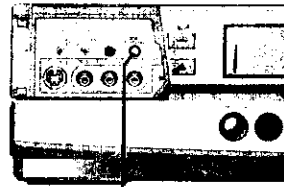
スロー再生中や静止画再生中にノイズが出るときは

- スロー再生にしてから、チャンネル(トラッキング)ボタンでノイズが少なくなるように調節してください。スロー再生時のノイズを少なくすると静止画再生時のノイズも少なくなります。

いろいろな再生

重要

テープをダビングするときは、3次元ワイドポジション機能を解除して「ワイド オフ」を表示してください(④ページ参照)。



3次元ワイドポジションボタン

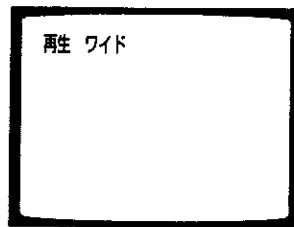
お知らせ

- 再生中に3次元ワイドポジションボタンを押すと、画面にノイズが出る場合がありますが故障ではありません。

映像をクッキリさせる(3次元ワイドポジション)

ビデオのふたをあけ、3次元ワイドポジションボタンを押す

ワイドポジション



- テレビ画面に「ワイド」と出ます。
- 3次元ワイドポジションボタンを押すと、デジタル処理技術により、再生した画面の輪郭を強調します。
- 3次元ワイドポジションボタンをもう1回押すと、3次元ワイドポジションは解除されます。テレビ画面に「ワイドオフ」と出て、ノイズを抑えた画質で再生します。
- 録画状態の悪いテープを再生する場合は、「ワイドオフ」をおすすめします。

再生中、CM(コマーシャル)だけを早送り再生でとばして見るには、CMオートとステレオCMスキップの2つの方法があります。CMオートは番組とCMの切り換え部分の画像と音声を認識することで動作させています。

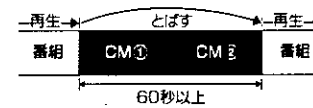
重要

衛星放送番組中のCMや、ライン入力につないだ機器から録画した番組中のCMは、CMオートやステレオCMスキップでとばすことができません。

CMオート

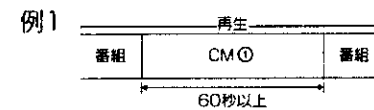
複数のCMが集まった合計60秒以上の部分を「CM部分」と判断してとばします。ステレオ放送のCMもとばしますので、ステレオCMスキップではとばさないCMをとばせません。ただし、このビデオでテープナビを「入」に設定して録画した番組だけに使えます。

■ CMオートで正しくとばされる例



- CMが2本、合わせて60秒以上続くと正しくとばされます。

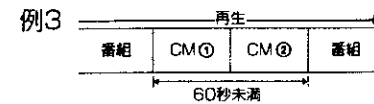
■ CMオートで正しくとばされない例



- 1本が60秒以上のCMはとばされません。(テレビショッピングなど)



- 1本が15秒以内のCMはとばされません。



- 2本以上続いても60秒未満のCM部分はとばされません。

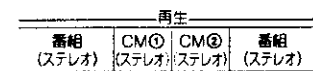
ステレオCMスキップ

ステレオ放送部分を「CM部分」と判断してとばします。他の日立製のステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオで録画したテープでも使えますが、CMの前後の本番組がステレオ放送のときはCM部分がとばされません。

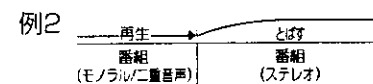
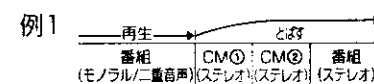
■ ステレオCMスキップで正しくとばされる例



■ ステレオCMスキップでとばされない例



■ ステレオCMスキップで正しくとばされない例



お知らせ

CMオートとステレオCMスキップの切り換えについて

- CMオートとステレオCMスキップは、ビデオのCMオートボタンを押して切り換えます。
- CMオートボタンが点灯しているとCMオートに、消灯しているとステレオCMスキップになります。

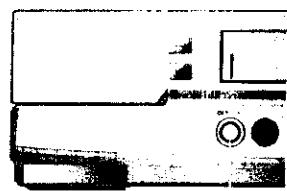
CMオートとステレオCMスキップの使い分けについて

CMのほとんどはステレオ放送のため、ステレオ放送の番組では「CMオート」、モノラルまたは二重音声放送の番組では「ステレオCMスキップ」をお使いいただくことで、より効果的にCMをとばすことができます。

いろいろな再生

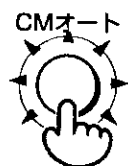
CMをとばして見る(CMとばしワザ)(つづき)

- ビデオのCMオートボタンはテープ停止中に押してください。テープが動いているときは操作できません。
- CMオートができるのは、このビデオでテープナビを「入」にして録画した番組だけです。録画前にテープナビが「入」に設定されていることを確認してください(69ページ参照)。再生時にビデオのテープナビボタンが点灯していることを確認してください。
- テープナビでテープデータの登録内容を取り消したテープは、CMオートが使えません(72ページ参照)。
- 他のビデオで録画したテープを再生すると、CMオートボタンが自動的に消灯します。



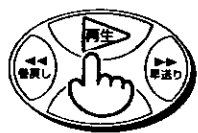
CMオートを使う

1 停止状態のとき、ビデオのCMオートボタンを押して点灯させる



出荷時はボタンが点灯しています。

2 再生ボタンを押す

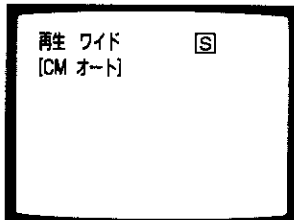


- 再生が始まります。
- このビデオ以外で録画したテープを再生すると、CMオートボタンが消え、CMオートが使えません。

3 リモコンのCMボタンを押す



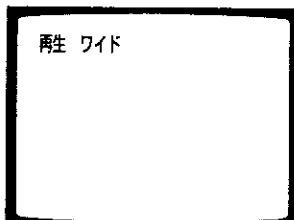
テレビ画面



- テレビ画面に数秒間[CMオート]が出ます。
- CMが始まると、スキップ(早送り再生)され、そのCM部分が終わると再生に戻ります。
- CMスキップ中、ビデオのCMオートボタンが点滅します。
- 「ワイド」表示については30ページを参照してください。

CMオートを解除するには

再生中にリモコンのCMボタンを押して、[CMオート]を消します。また、再生中に停止ボタンを押してテープを止めても、CMオートは解除されます。

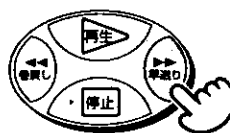


番組の途中から次のCM部分の終わりまで、またCMの途中からそのCM部分の終わりまでをとばすことができます。

1 再生中にリモコンのCMボタンを押して[CMオート]を表示する



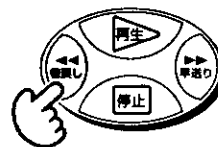
2 早送りボタンを押す 早送り再生が始まります。 CM部分の終わりまでとばすと再生に戻ります。



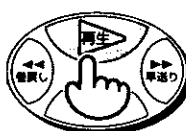
CM部分の戻り

CMオートを解除しなくても、とばした部分に戻って再生できます。

1 巻戻しボタンを押す 巻戻し再生でとばした部分の頭まで巻戻します。



2 再生ボタンを押す



お知らせ

CMオートとは

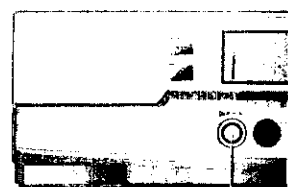
テレビ放送は、ふつう、番組と番組の間に複数のCMが続きます。このビデオは、録画するときに番組とCMの切り換わる点を検出し、再生時にCM部分をとばします。CMオートは、CMが2本以上連続し、その合計が約60秒以上のところをCM部分と判断してとばします。

- 録画開始部分や終了部分では正しくとばせないことがあります。
- 番組によっては、CMオートが正しく動作しないことがあります。
- CMによっては、CMの途中からとばしたり、CMの途中で再生に戻ることがあります。
- 番組予告がとばされることがあります。
- 番組および電波の状態によっては、番組の一部がとばされることがあります。
- 録画中に電源コードが抜かれたり、停電が起きたりすると、CMオートは正しく動作しません。

いろいろな再生

重要

- ビデオのCMオートボタンはテープ停止中に押ししてください。テープが動いているときは操作できません。
- ステレオCMスキップができるのは、このビデオや日立製のステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオで録画したテープだけです。



1

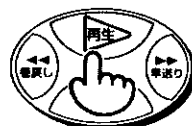
ステレオCMスキップを使う

1 停止状態のとき、ビデオのCMオートボタンを押して消す



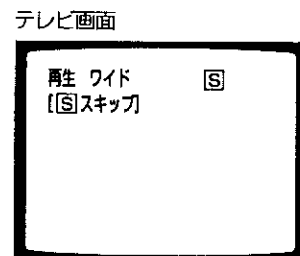
- 出荷時はボタンが点灯しています。
- ボタンを点灯させると、CMオートになります。

2 再生ボタンを押す



- 再生が始まります。
- このビデオ以外で録画したテープを入れて再生すると、CMオートボタンは消えます。

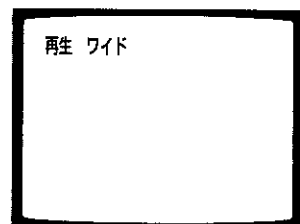
3 リモコンのCMボタンを押す



- テレビ画面に数秒間[S]スキップが出ます。
- CMが始まると、スキップ(早送り再生)され、そのCM部分が終わると再生に戻ります。
- 「ワイド」表示については③ページを参照してください。

ステレオCMスキップを解除するには

再生中にリモコンのCMボタンを押して、[S]スキップを消します。また、再生中に停止ボタンを押してテープを止めても、ステレオCMスキップは解除されません。



お知らせ

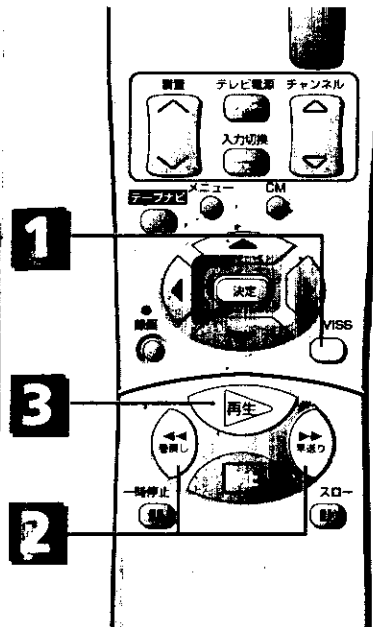
ステレオCMスキップとは

ステレオ放送とモノラル/二重音声放送の違いを検出し、ステレオ放送の部分のみをとばします。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、とばすことができます。

ステレオ放送の番組や、モノラルまたは二重音声放送のCMをスキップすることはできません。

- ステレオCMスキップのできるテープは、日立製のステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオで録画したテープです。

テープに記録されている頭出し信号(VISS信号)を使って、見たい番組の頭出しができます。

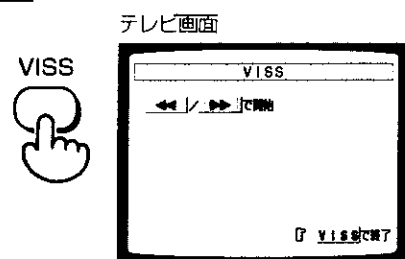


1

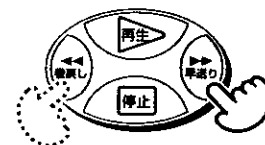
3

2

1 停止状態のとき、VISSボタンを押す

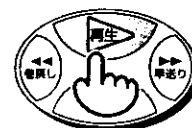


2 1の画面が出ている間に、早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 番組の頭(VISS信号の部分)まで早送り、または巻戻されたあと、自動的に約15秒間再生します。
- 番組ごとに、早送り(または巻戻し)と15秒間の再生を繰り返します。

3 見たい番組になったら、再生ボタンを押す



再生になります。

お知らせ

VISS*(頭出し)信号について

- 本機は、録画するたびに、自動的に頭の部分にVISS信号を記録します。
- VISS信号は、録画ボタンを押すと記録されますが、録画一時停止から録画に戻ったときは記録されません。ただし音声だけ録音するときやチャンネルを変えたときは、記録されます。

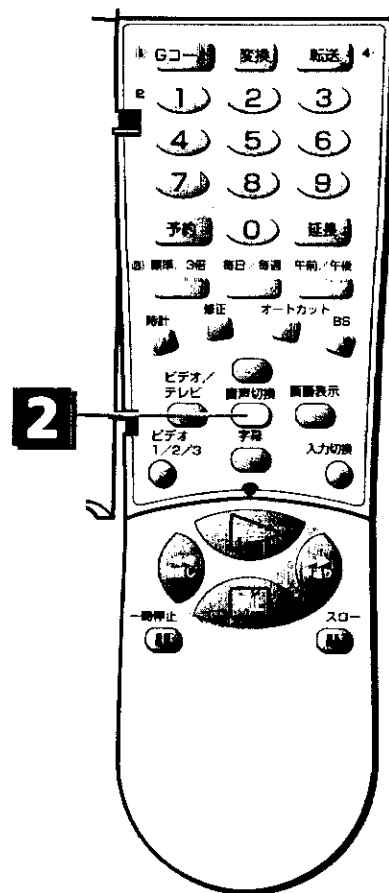
次のような場合、VISS信号が検知されず、頭出しができないことがあります。

- 録画時間が10分以内の番組
- VISS信号が記録されている付近で操作したとき
- 本機以外のVISS機能のないビデオで録画したテープ

バイエッチエス インデックスサーチ システム
*VISSはVHS Index Search Systemの略です。

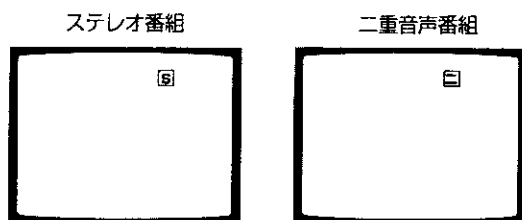
二重音声やステレオ音声を選ぶ

二重音声やステレオ音声のテレビ番組を見ているときや、テープを再生しているとき、お好みに合わせて聞きたい音声を選ぶことができます。



1 テープを再生する、またはテレビ番組を見る

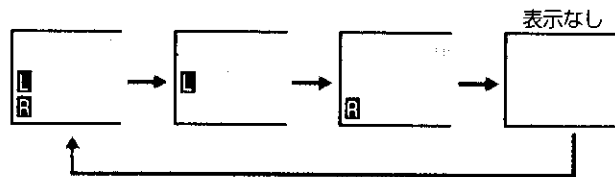
テレビ画面に音声表示がしばらく出ます。



2 音声切替ボタンを押して、聞きたい音声を選ぶ



- ボタンを押すたびにビデオの表示窓の **[L/R]** の表示が下図のように変わります。聞きたい音声の表示を選んでください。
- 「表示なし」以外はHi-Fiサウンドです。



聞きたい音声		表示
ステレオ番組	二重音声番組	
ステレオ	主音声と副音声	[L/R]
左の音声(Lチャンネル)	主音声だけ	[L]
右の音声(Rチャンネル)	副音声だけ	[R]
モノラル(ノーマルサウンド)	主音声だけ(ノーマルサウンド)	なし

お知らせ

再生オートについて

- 一度音声を選ぶと、次に選び直すまでは前に選んだ音声がかかります。日立製の再生オート機能付きビデオで録画したテープを再生すると機能します。

映像・音声入力端子のないテレビとつないでいるとき

- **[L]** または **[R]** を選んでください。**[L/R]** を出すと左右の音声か混じって聞こえます。

英語の字幕を見る Closed Caption

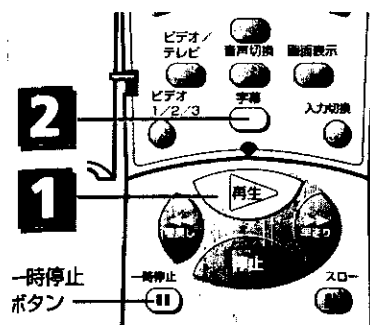
クローズド キャプション

クローズド・キャプション信号の入ったビデオテープを再生したとき、英語の字幕を表示させることができます。

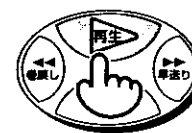
重要

字幕を表示できるのは、 または マークの付いたクローズド・キャプション信号の入ったテープだけです。これ以外のテープでは表示できません。

* はナショナル・キャプションング・インスティテュート・インク社のサービスマークおよび商標です。



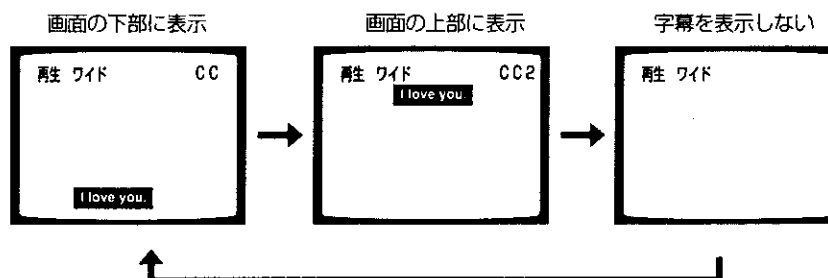
1 クローズド・キャプション信号の入ったテープを再生する



2 字幕ボタンを押す



ボタンを押すたびに、下ののように字幕表示が切り換わります。



お知らせ

または マークの付いたテープ以外で字幕表示ができるもの

- クローズド・キャプション信号の入ったテープをダビングしたテープ
- 外部入力につないだ、クローズド・キャプション信号の入ったレーザーディスクなど(ただし、デジタルメモリー機能付きのレーザーディスクプレーヤーをお使いのときは字幕表示ができないことがあります)。

字幕が出ないとき

- 早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が消えます。
- テープに傷がついていたり、録画状態の悪いテープでは字幕を正しく表示できないことがあります。

字幕が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンで字幕と画像の揺れを最小に調節してください。
- テレビとの組み合わせによっては揺れを抑えられないことがあります。

字幕を止めて見るとき

一時停止ボタンを押す



一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと、再生に戻ります。

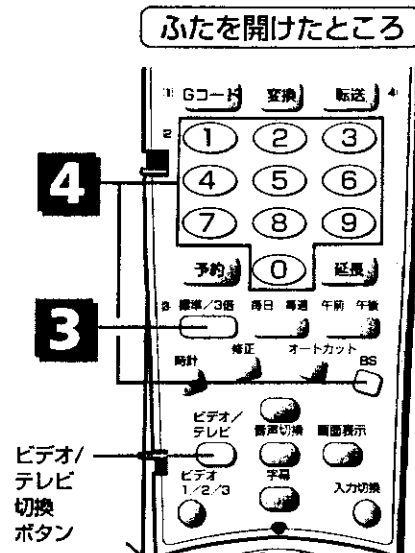
いろいろな再生

テレビ番組を録画する

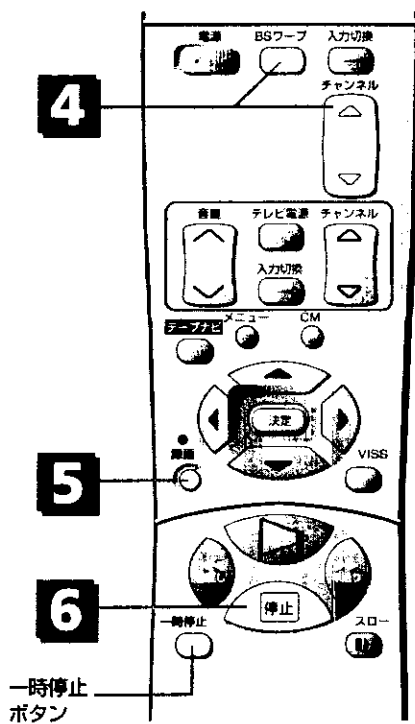
テレビで見ていた番組をテープに録画します。

重要

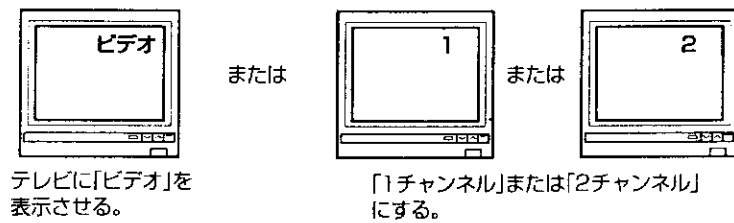
- テープを入れると、ビデオのテープナビボタンが数秒間点滅してから点灯します。点滅している間は録画ボタンや他の操作ボタンを押さないでください。
- S-VHS方式で録画するときは、S-VHSテープを入れたあと、ビデオの表示窓に「S-VHS」が出ていることを確かめてください。出ていないときは④ページをご覧ください。ビデオモード設定画面の「S-VHS」を「オート」に合わせてください。



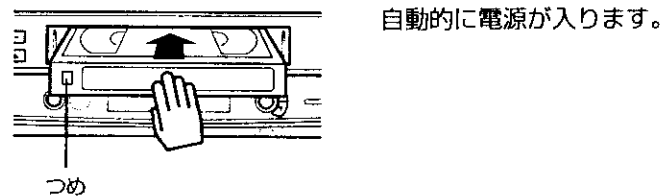
ふたを閉じたところ



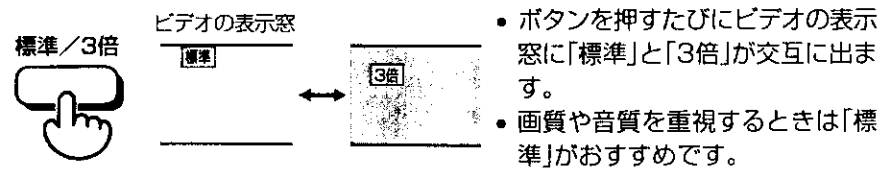
1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換、またはチャンネルを選ぶ



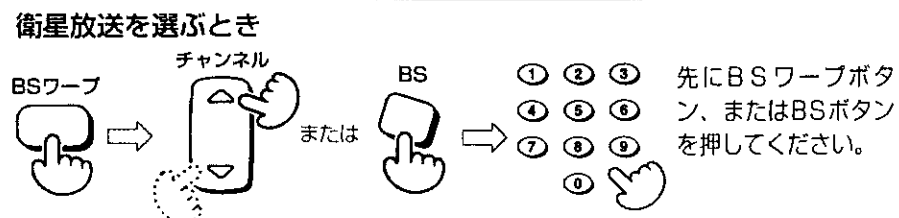
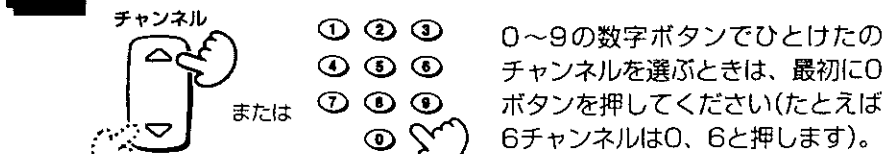
2 「つめ」の折れていないテープを入れる



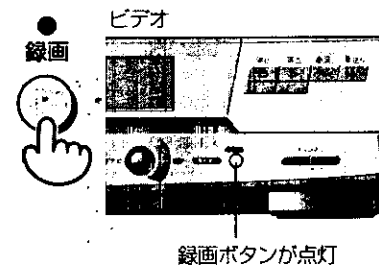
3 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ



4 録画したいチャンネルを選ぶ

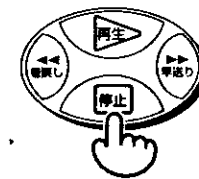


5 録画ボタンを押す



- ビデオの録画ボタンが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、ビデオの表示窓に「Tab」が数秒間点滅し、自動的にテープが出てきます。
- テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

6 録画をやめるときは、停止ボタンを押す



録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

録画中に不要な場面を飛ばすには

1 録画中に一時停止ボタンを押す



2 録画したい場面になったら、もう1回一時停止ボタンを押す



録画中に別の番組に切り換えるには

1 録画中に一時停止ボタンを押す



2 チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶ



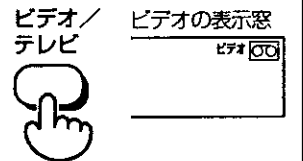
3 一時停止ボタンをもう1回押す



お知らせ

テレビでビデオチャンネル1または2を選んでるとき

- 録画したいチャンネルがテレビに出ないときは、ビデオ/テレビ切換ボタンを押してビデオの表示窓に「ビデオ」を表示させてください。



オート機能について

- テープの最後まで録画すると、自動的に巻戻されます(オートリwind)。
- 録画一時停止を約5分間続けると、テープとヘッド保護のため、自動的に停止します。

音声について

- ステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声(日本語)と副音声(英語など)が自動的に録音されます。
- 録画中は、録音される音声には影響なく、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(④ページ参照)。

オートカット機能について

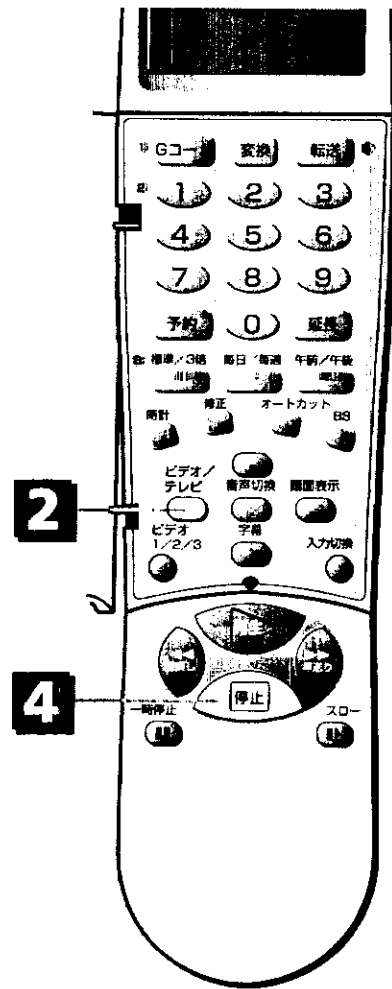
- CMをカットしながら番組を録画することができます(④ページ参照)。

3次元Y/C分離回路について

- 動きの速い場面で残像が出るときは、3次元Y/Cを「切」にすると軽減できます(⑤ページ参照)。

録画しながら別の番組を見る

録画しながら別の番組を見るとき、衛星放送の番組を選ぶことはできません。ただし、BSチューナー内蔵テレビと接続すれば、衛星放送の番組も選べます。



1 録画を始める

38、39ページの1～5の操作をして録画を始めてください。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押して、ビデオの表示窓の「ビデオ」表示を消す



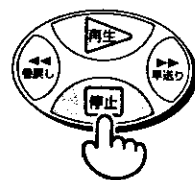
ビデオのチャンネル切換ボタンを押して「RF-OFF」を選んだときは、この操作が不要です(39 ページ参照)。

3 テレビの入力切換を「テレビ」にして、見たいチャンネルを選ぶ



テレビのチャンネルボタンで選んだ番組が画面に出ます。ビデオで録画しているチャンネルは、そのまま録画されます。

4 録画をやめるときは、停止ボタンを押す



録画した内容を見るには、巻戻しボタンを押してテープを巻戻し、テレビの入力切換を「ビデオ」(またはビデオチャンネル1または2)にしてから再生ボタンを押してください。

テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶとき

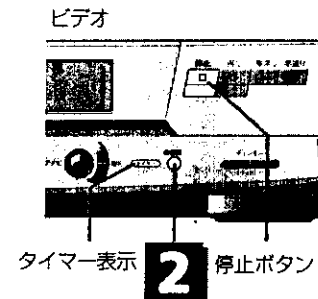
- ビデオの表示窓の「ビデオ」表示を消すと、ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶことができます。

選んだ時間だけ録画する(クイックタイマー)

録画する時間を選んで、自動的に録画を終わらせることができます。



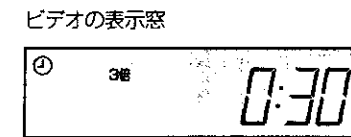
- ビデオの時計を合わせておかないと、録画時間を選べません。(時計の合わせかたは36ページ参照)
- リモコンの録画ボタンでは操作できません。ビデオの録画ボタンで操作してください。



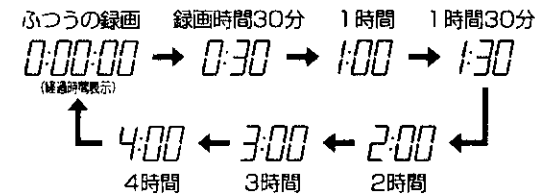
1 録画を始める

38、39ページの1～5の操作をして録画を始めてください。

2 ビデオの録画ボタンを押して、録画したい時間を合わせる



- ボタンを押すたびに、表示窓の録画時間が変わります。
- ビデオ前面の(タイマー)表示と表示窓の⓪(タイマー録画表示)が点灯します。
- 合わせた時間だけ録画したあと、電源が切れます。



お知らせ

- クイックタイマー録画中は、ビデオの表示窓に録画の残り時間が出ます。
- クイックタイマー録画中にビデオの録画ボタンを押すと、録画時間を変更することができます。

途中で録画をやめるには

停止ボタンを押す



録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

いろいろな録画

CMをカットしながら録画する(オートカット)

録画の途中で、CM(コマーシャル)の部分だけ録画をカットできます。



- 番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ、何も録画することができません。ステレオ放送の番組はオートカット機能を使わないでください。
- 外部入力(L1、L2)で見ている番組およびBSチャンネルは、オートカット機能が働きません。

お知らせ

オートカット機能とは

テレビ放送の音声には、二重音声放送・モノラル放送・ステレオ放送があります。この音声の違いを利用して、二重音声放送とモノラル放送を録画し、ステレオ放送を自動的にカットすることをオートカット機能といいます。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、CMを自動的にカットしながら録画することができます。

- 番組表の例は、説明のためのもので実際のものとは異なります。

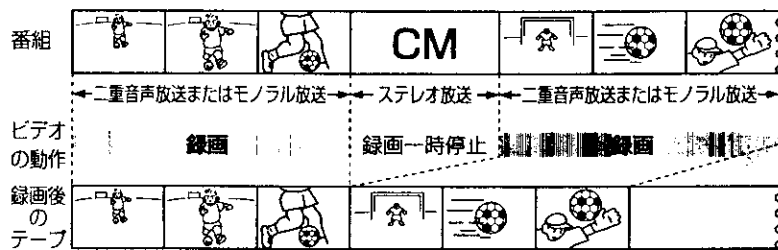
番組の音声を知る方法

番組の音声は、新聞などでご確認ください。

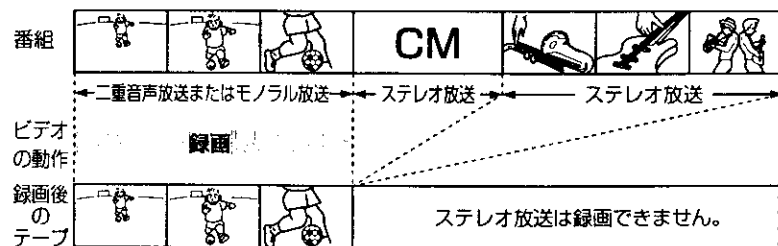
番組表の例

7	00	多	HITACHIニュース	多	: 二重音声放送 : 解説などを聞くことができます。
8	05	二	海外スペシャルドラマ 「HITACHI street」	二	: 二重音声放送(二か国語放送) : 日本語と英語を聞くことができます。
9	00	S	ヒットソングタイム ゲスト: H&H	S	: ステレオ放送
	30		トークショー		: 表示なし: モノラル放送

オートカット機能で正しく録画される例



オートカット機能で正しく録画できない例

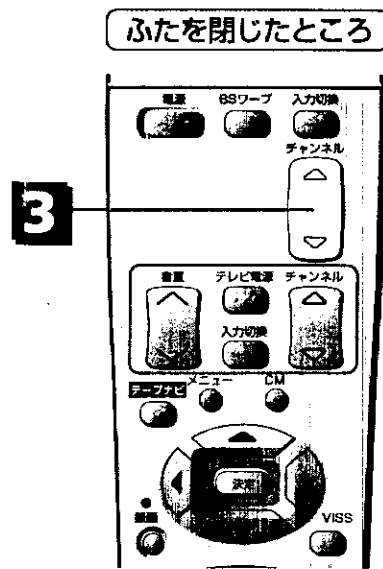
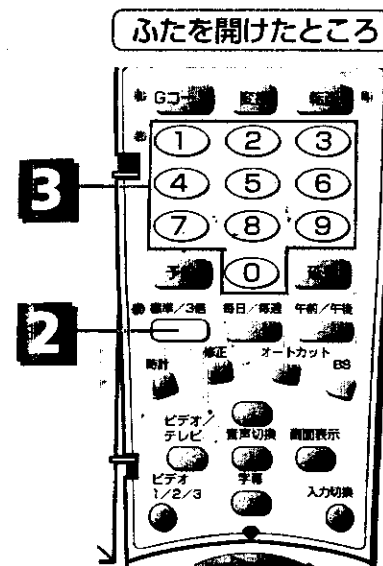


オートカット機能についてのご注意

- 「オートカット機能を使ったら、録画できなかった」などの誤りを防ぐために、録画する番組の音声(放送)を確認してからオートカット機能を使うことをおすすめします。
- NHK総合テレビ、NHK教育テレビを録画するときはオートカット機能を使わないでください。オートカット機能を使うと録画されない番組があります。
- 文字多重放送(多と表示)は、番組が二重音声放送やモノラル放送のときは録画されますが、ステレオ放送のときは録画できません。
- 番組表によっては、ステレオ放送の番組でも[S](ステレオ放送)の表示がないことがあります。ご注意ください。
- 電波の弱い地域では、オートカット機能が正しく働かないことがあります。

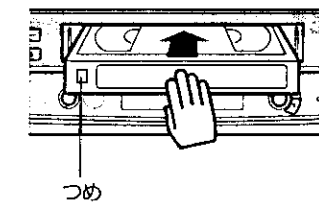


オートカット機能を使って録画しているときは、一時停止ボタンを押しても録画一時停止にはできません。



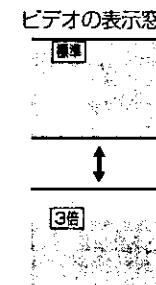
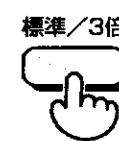
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 「つめ」の折れていないテープを入れる



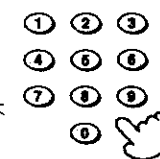
自動的に電源が入ります。

2 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ



- ボタンを押すたびにビデオの表示窓に「標準」と「3倍」が交互に出ます。
- 画質や音質を重視するときは「標準」がおすすめです。

3 録画したいチャンネルを選ぶ



- 0~9の数字ボタンでひとけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください(たとえば6チャンネルは0、6と押します)。
- 衛星放送のチャンネルを選ぶときは、先にBSボタンを押してから数字ボタンを押してください。

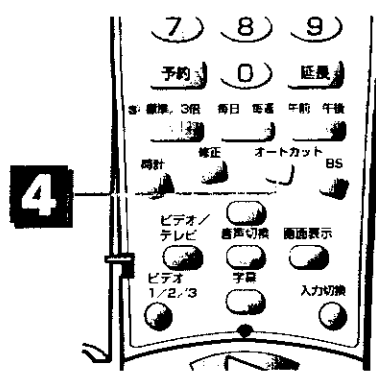
(つづく)

50分間の録画

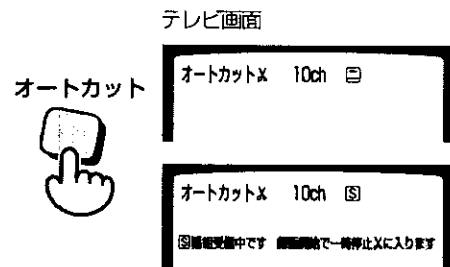


- オートカット機能でCMをカットした部分には、わずかにCMが録画されることがあります。
- CMカット「一時停止」の状態が6分以上続くと、ビデオ内部でテープ保護動作が働くため、録画を再開した部分の画が少し乱れることがあります。

ふたを開けたところ

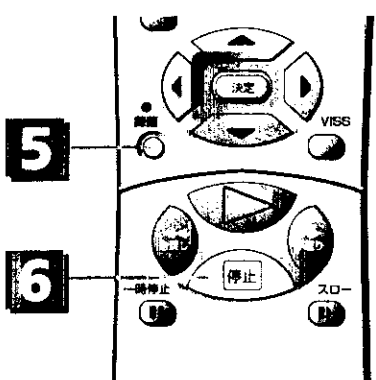


4 オートカットボタンを押して「オートカット」を出す

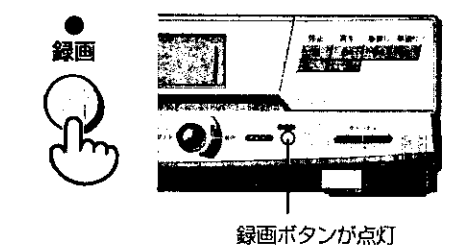


ステレオ番組を見ているときは左の表示が出て、オートカット機能が使えないことを知らせます。

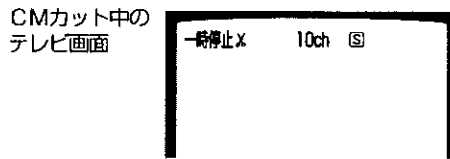
ふたを閉じたところ



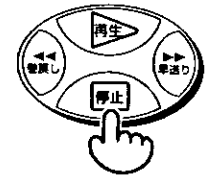
5 「オートカット」表示中(8秒以内)に録画ボタンを押す



- ビデオの録画ボタンが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
- ステレオ放送のCMを自動的にカットしながら録画します。
- ステレオ放送のCMをカットしているとき、「一時停止」が出ます。



6 録画をやめるときや、別の番組に切り換えるときは停止ボタンを押す



- 録画が終了すると、オートカット機能は解除されます。
- 別の番組に切り換えたあとオートカット機能を使って録画するとき、43、44ページの3～5を行ってください。

お知らせ

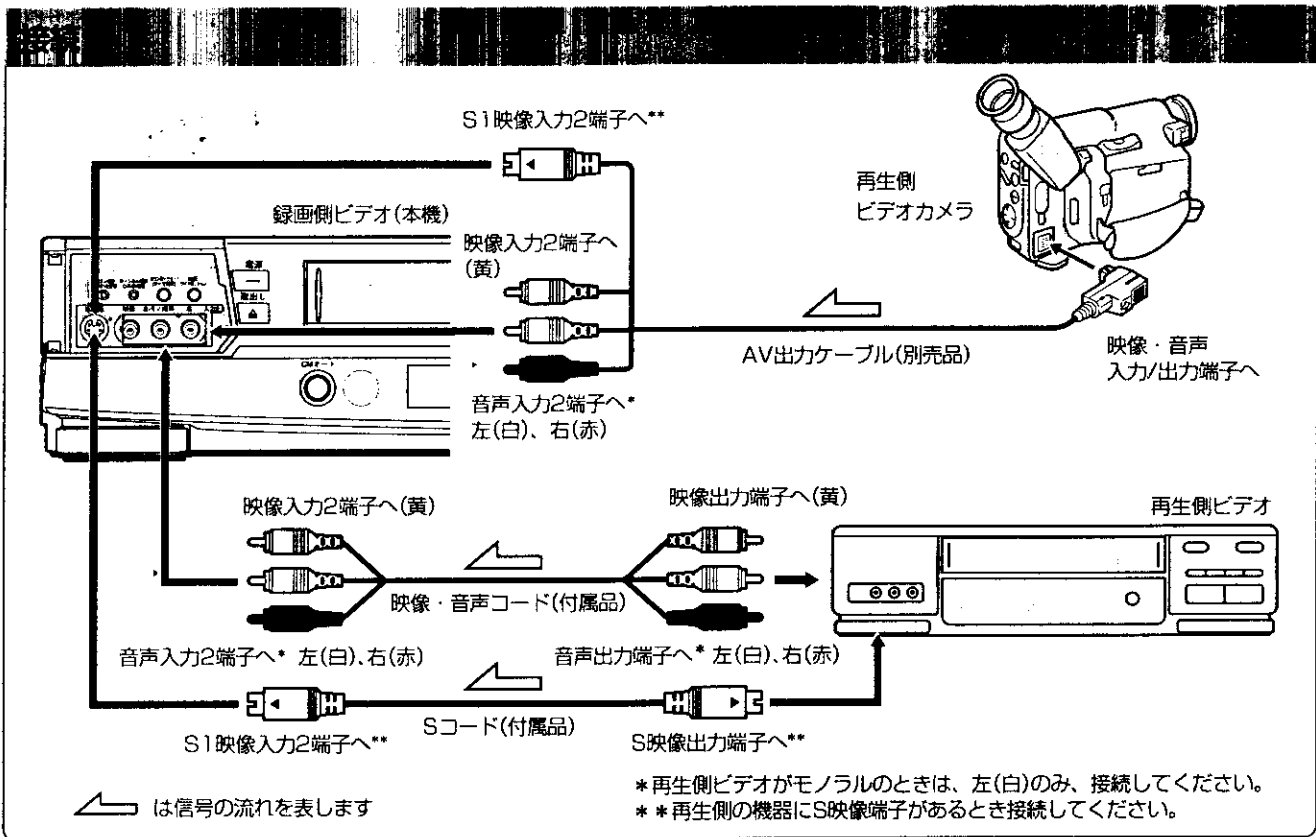
- オートカット機能を解除するとき
- 停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。
- CMカット中に「一時停止」が表示されているときは、一時停止ボタンを押すとオートカット機能を解除できます。

テープの映像と音声を別のテープにダビングできます。



- 再生側のビデオに画面表示機能がある場合は、画面表示を消してください。消していないと、画面表示まで録画されます。
- 外部入力「L1」、「L2」を飛ばして設定していると、チャンネルボタンを押しても「L1」、「L2」を表示できません。42ページの「チャンネルを飛ばす/元に戻す」をご覧ください。

ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする



お知らせ

- 画質を重視するときは、本機の録画モードを「標準」にすることをオススメします。
- 本機にテレビをつなぐと、ダビングの画像を確認することができます。
- 再生側ビデオは本機の後面の入力端子につなぐこともできます。このときは入力切換ボタンで「L1」を選びます。
- Sコードを接続したときは、S1映像入力が映像入力より優先します。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ダビングする

- 1 (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L2」を表示させる
 入力切換 ボタンを押すごとにチャンネル番号 → L1 → L2 → チャンネル番号と切り換わります。
- 2 (再生側で)再生を始める
- 3 (本機で)録画ボタンを押す

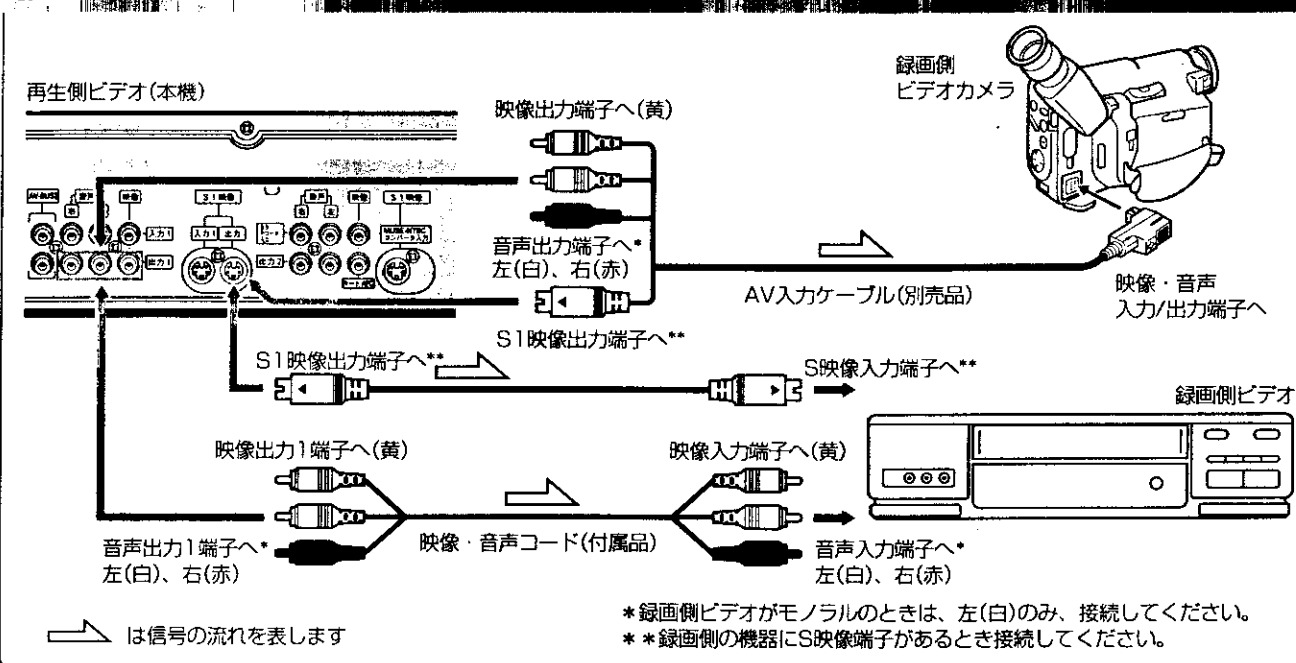
ダビングする(つづき)



本機を再生側ビデオにしてダビングするときは、3次元ワイドポジションボタンを押して、テレビ画面に「ワイドオフ」を表示させてください。3次元ワイドポジションのままお使いになると、接続する機器によっては、画面が乱れたり色が抜けることがあります。

本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする

接続



お知らせ

- 画質を重視するときは、録画側ビデオの録画モードを「標準」にすることをおすすめします。
- 録画側ビデオにテレビをつなぐと、ダビングの画像を確かめることができます。
- 本機で記録したテープを他のビデオでダビングすると、テープナビのデータも同時に記録されます。このため、これらのテープでテープナビ操作をすると、記録されている内容とテープナビ画面の表示が一致しないことがあります。

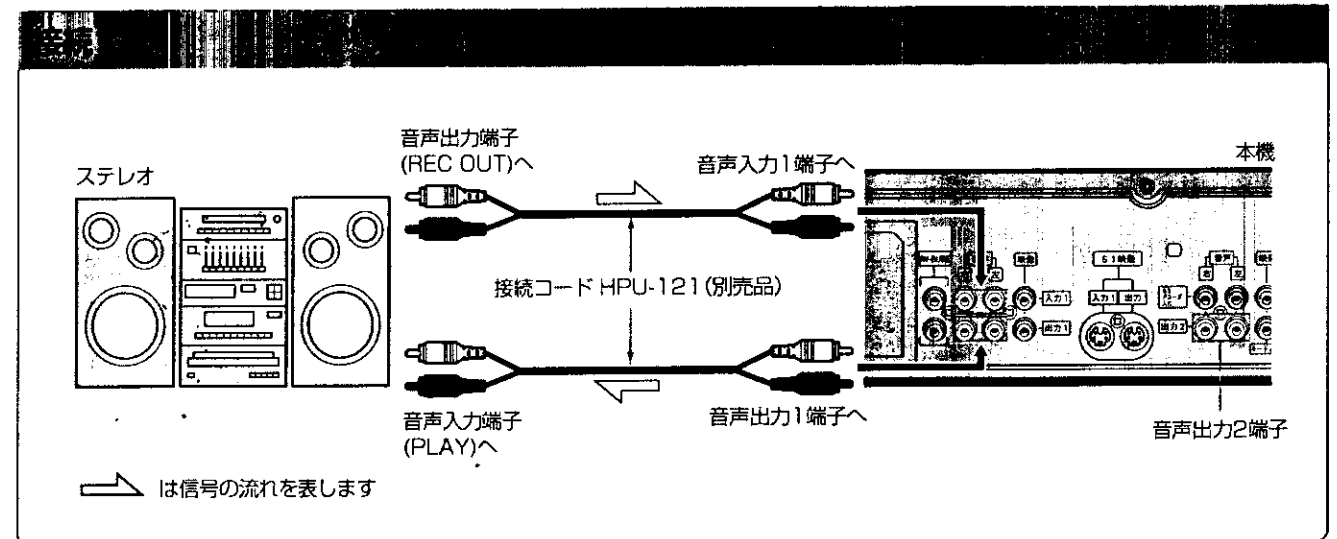
ダビングする

- 1 (録画側で)入力切換で「外部入力」を選ぶ
- 2 (本機で)OSD表示モードを[切]にする

設定のしかたは、64ページ「ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)」をご覧ください。
- 3 (本機で)3次元ワイドポジションボタンを押して、画面に「ワイドオフ」を出す
- 4 (本機で)再生ボタンを押す
- 5 (録画側で)録画を始める

ステレオから音声を録音する(オーディオ録音)

ビデオをステレオのテープデッキの代わりに使って、音声を録音することができます。



お知らせ

録音した音声を聞くとき

- ステレオの入力切換を「音声入力」にして、テープを再生します。
- リモコンの音声切換ボタンでHi-Fiサウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます(66ページ参照)。
- 音声だけを録音するときは、テープナビ機能は動きません。

音声出力2端子について

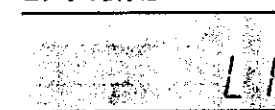
音声出力2端子から出力される音声は、音声出力1端子から出力される音声と同じです。

オーディオ録音

- 1 (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる



ビデオの表示窓



ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→チャンネル番号と切り換わります。

- 2 (本機で)録画ボタンを押す



録音が始まります。Hi-Fi サウンドとノーマルサウンドの両方が録音されます。

タイマー録画予約の前に

タイマー録画予約をしておく、指定した時刻に自動的に録画が始まり、自動的に終了します。
8番組まで予約することができます。毎日のドラマや、毎週1回の映画も予約することができます。

お知らせ

- 付属のリモコンは当社製ビデオ専用です。当社製以外のGコード対応の機器には使えません。

本機でできるタイマー録画予約の方法

次の2とおりの方法で予約できます。

Gコード予約する (49ページ)

新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード(番組予約番号)をリモコンに入力するだけで、簡単に予約ができます。

リモコン予約する (54ページ)

開始時刻や終了時刻、チャンネル、日付をリモコンの表示窓で合わせて予約する方法です。Gコードがわからない場合などにご利用ください。

Gコードシステムについて

- このビデオは、現在掲載されているGコード、および将来このコードを応用したサービス(Gコード・インフォ)にも対応しています。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

Gコードの掲載例

4	00	昼下がりのサスペンス 「乱心」(再)	458182
	55	楽しいクッキング	83521
5	00	ぼくの旅日記(再) サン ゴの海から(前)	347
	30	鉄腕アトム(再)	80057
6	00	イブニングニュース 円高への軌跡 世界の街から「パリ」 明日をになう人々ほか	2434

Gコード
80057

Gコード予約する

現在より1カ月先までの番組を予約することができます。

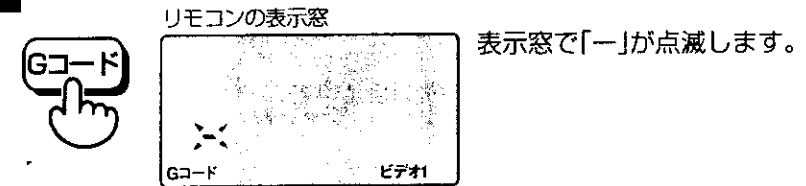
重要

- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください。(時計の合わせかたは49ページ参照)
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。Gコードボタンを押してやり直してください。

Gコード予約する

ビデオで「つめ」の折れていないテープを入れる

1 Gコードボタンを押す

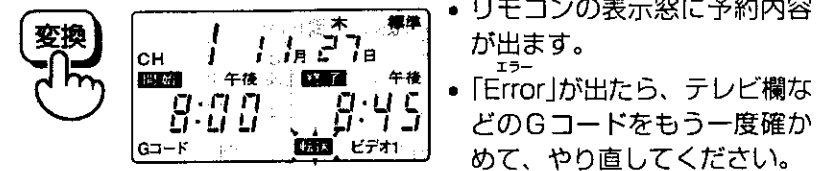


2 Gコードを入力する

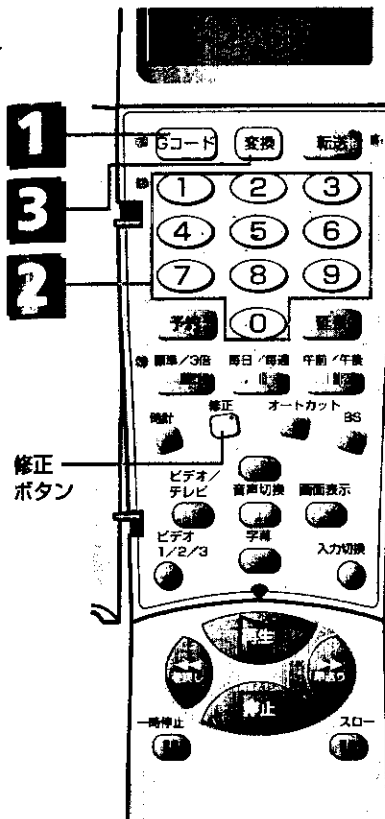
例えば、Gコード「85089」を入力します



3 変換ボタンを押す



(つづく)



お知らせ

途中でGコード予約をやめるとき

- Gコードボタンを押してください。

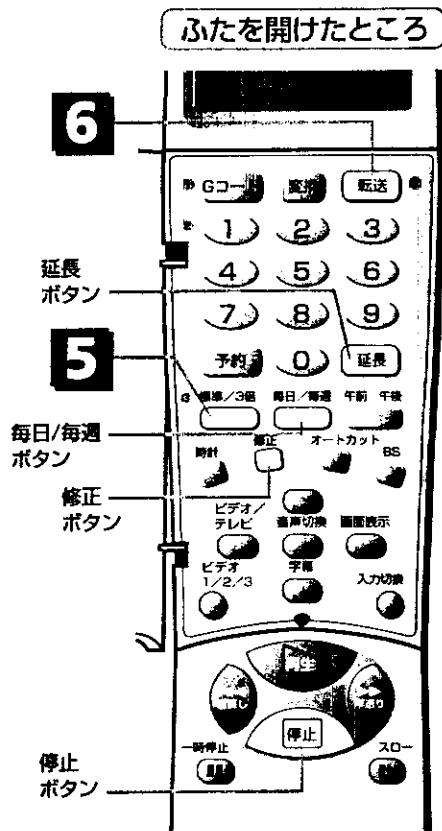
予約内容について

- 番組により、録画時間が実際より長め、または短かめに設定されることがあります。
- 放送が終了した番組のGコードを入力すると、まったく違った予約内容か、または「Error」が表示されません。

Gコード予約する(つづき)



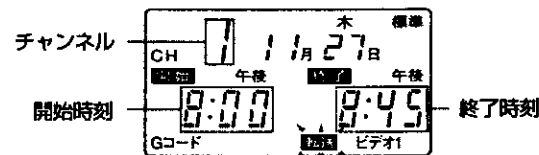
タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。



4 表示窓の予約内容を確認する

次のようなときは⑤、⑥ページを見て、予約内容を修正してください。

- 録画したいチャンネル、開始時間、終了時刻が違っているとき ⇒ ⑥ページ
- 終了時刻を延長したいとき ⇒ ⑤ページ
- 毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画したいとき ⇒ ⑤ページ



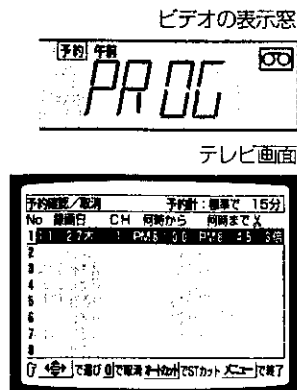
5 録画モードを合わせる



標準→3倍→オート→表示なし

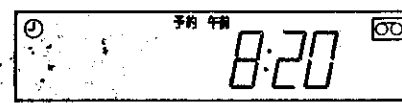
- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(⑤ページ「録画モードをオートに合わせたとき」参照)。
- 「表示なし」にすると、ビデオの表示窓に出ている録画モードで録画されます。

6 転送ボタンを押す



- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」と「PRDG」が出ます。
- テレビ画面に予約内容が出ます。
- 続けて別の番組を予約するときは、①～⑥を繰り返してください。

7 ビデオの電源を切る

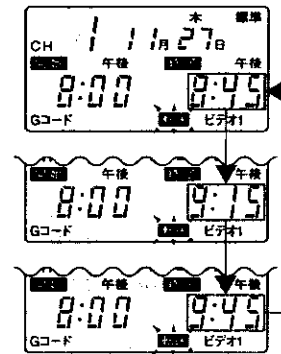


- ビデオ前面の(タイマー)表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。
- テープが入っていないと、(タイマー)と①が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

終了時刻を延長するには

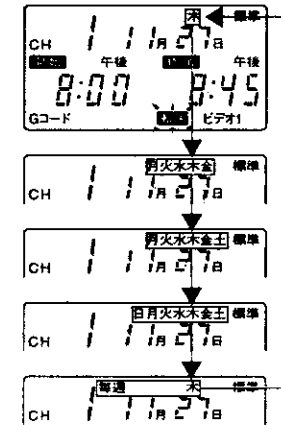
④ページの手順③のあとで、延長ボタンを押して希望の終了時刻を選ぶ



- ボタンを押すたびに、終了時刻が30分、60分と延長されます。
- 希望の終了時刻を選んだら、⑤ページの⑤へ進んでください。

毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

④ページの手順③のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ



- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- 希望の曜日を選んだら、⑤ページの⑤へ進んでください。
- 曜日表示の見かた
水……この日だけの1回録画
月～金…月曜日から金曜日
月～土 月曜日から土曜日
日～土 日曜日から土曜日まで毎日
同し時間に録画
毎週水…毎週同じ曜日のこの時間に録画

お知らせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとはビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

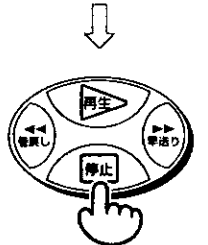
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切ってください。

タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

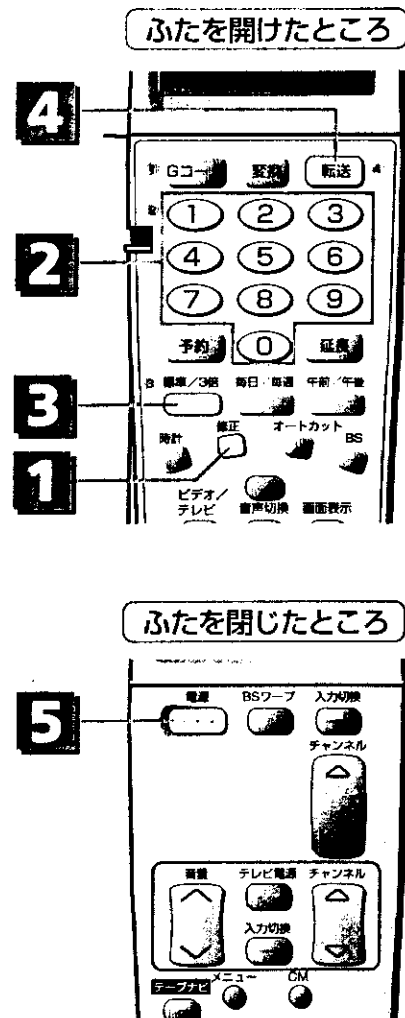


10秒以内に



オートカット機能について

- CMをカットしながら番組を録画することができます(④ページ参照)。



ふたを開けたところ

ふたを閉じたところ

お知らせ

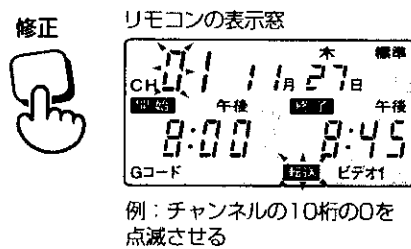
●「0」で始まるGコード(Gコード・インフォ)の場合、修正できる内容はチャンネルと録画モードだけです。開始時刻や終了時刻は修正できません。

チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する

Gコードを入力して変換ボタンを押したとき、リモコンの表示窓に出る予約内容のチャンネルが違っていることがあります。これは、各地のテレビ局の番組編成によるものです(たとえば26チャンネルの番組をGコード予約したら、1チャンネルが表示されたなど)。また、一部の地域では、異なる放送局の番組に同じGコードが掲載されている場合があります(たとえば、静岡県の一部の地域で、テレビ静岡と中京テレビの番組が同じGコードで掲載されることがあります)。

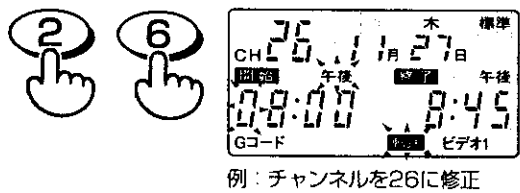
④⑤⑥⑦ 50ページの④で、26チャンネルを予約したはずなのに1チャンネルが表示されたとき(1チャンネルから26チャンネルに修正したい)

1 修正ボタンを繰り返し押し、修正する部分を点滅させる



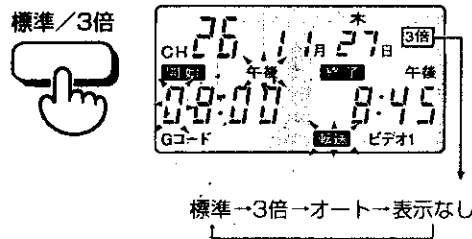
開始時刻や終了時刻を修正したいときも、同様に修正する部分を点滅させます。

2 0~9ボタンを押してチャンネルを修正する



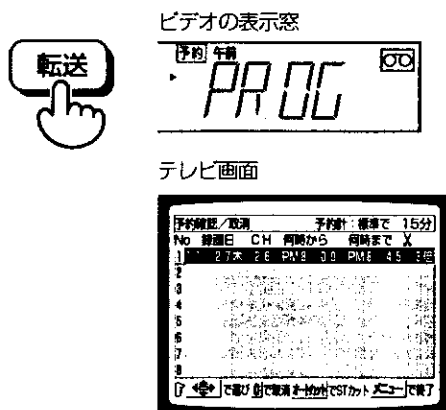
●修正したチャンネルはリモコンに記憶されます。予約のたびにチャンネルを合わせ直す必要はありません。
●外部機器からタイマー録画するときは、入力切替ボタンを押して、チャンネル番号の代わりに「L1」または「L2」を出してください。

3 録画モードを合わせる



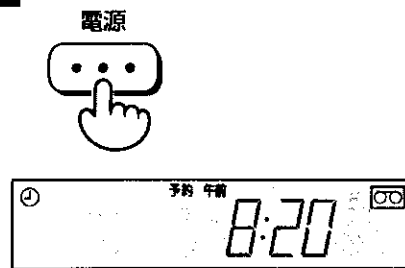
●ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
●「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(詳しくは59ページ「録画モードをオートに合わせたとき」)。
●「表示なし」にすると、ビデオの表示窓に出ている録画モードで録画されます。

4 転送ボタンを押す



●「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」と「PRG」が出ます。
●テレビ画面に予約内容が出ます。
●続けて別の番組を予約するときは、49、50ページの①~⑥を繰り返してください。

5 ビデオの電源を切る



●ビデオ前面の(タイマー)表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。
●テープが入っていない、(タイマー)と①が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

お知らせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

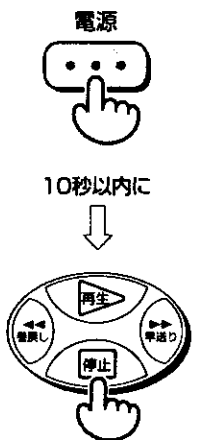
●ビデオの電源を入れると、再生や録画ができます。使い終わったあとはビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

●ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切ってください。

タイマー録画を途中でやめるとき

●電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



オートカット機能について

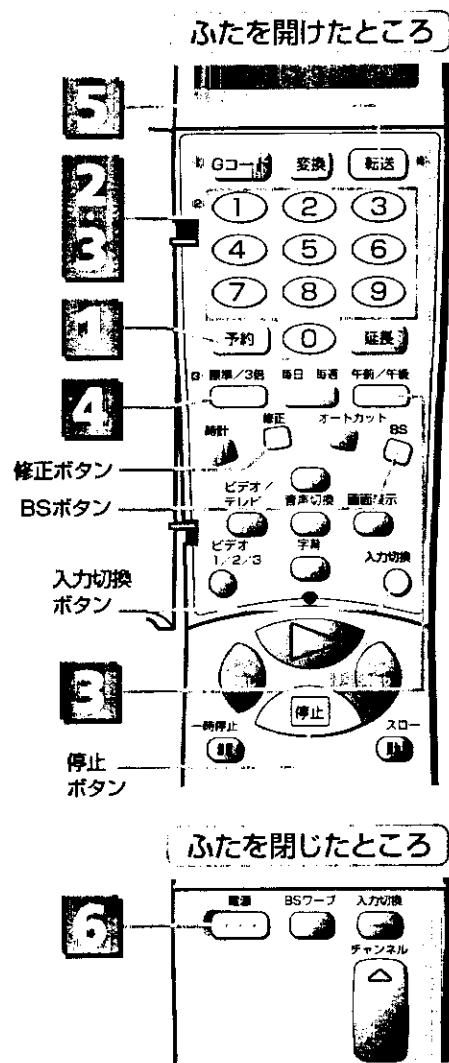
●CMをカットしながら番組を録画することができます(42ページ参照)。

リモコン予約する

録画したいチャンネル、開始・終了時刻、開始日などをリモコンで予約します。毎日のドラマや毎週1回の映画も予約することができます。現在より1年先までの番組を予約することができます。

- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください。(時計の合わせかたは④6ページ参照)
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。予約ボタンを押してやり直してください。

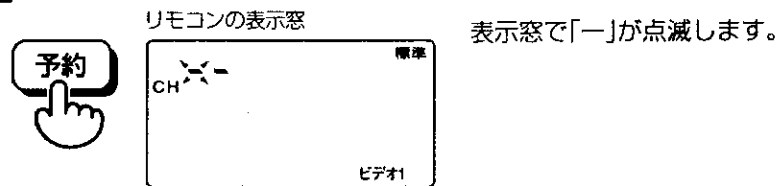
重要 タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。



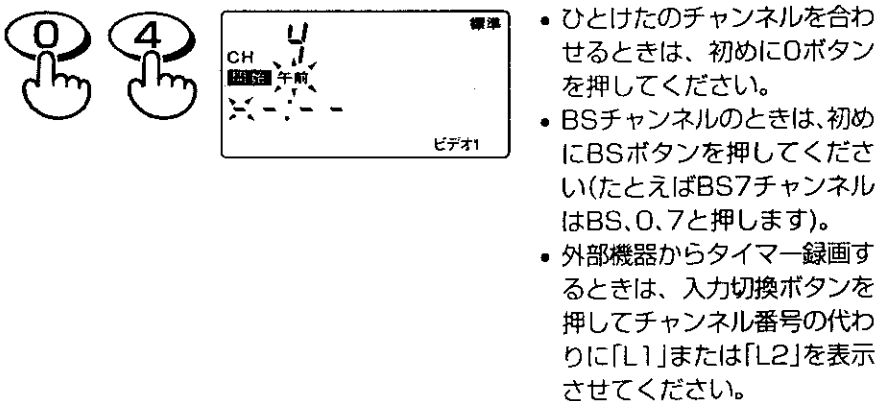
①②③④ 4チャンネルを、午後9時00分から午後10時55分まで、11月6日に、3倍モードで録画するとき

ビデオで 「つめ」の折れていないテープを入れる

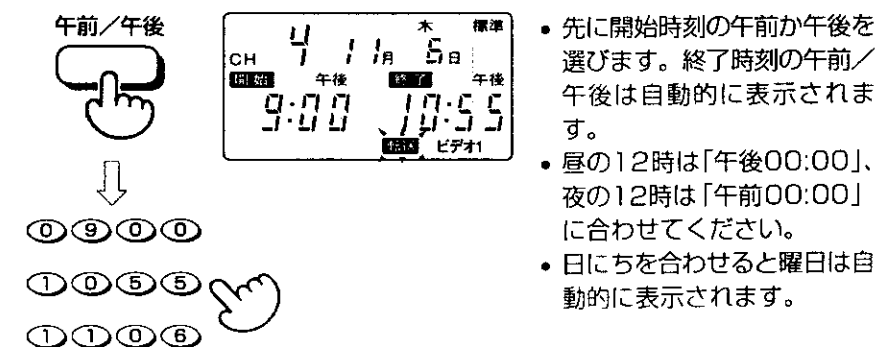
1 予約ボタンを押す



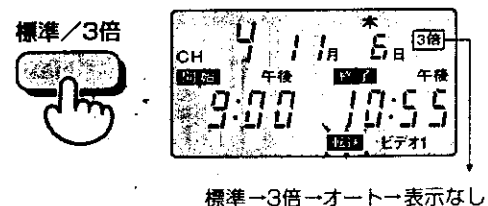
2 録画したいチャンネルを合わせる



3 開始時刻、終了時刻、日にちの順に合わせる

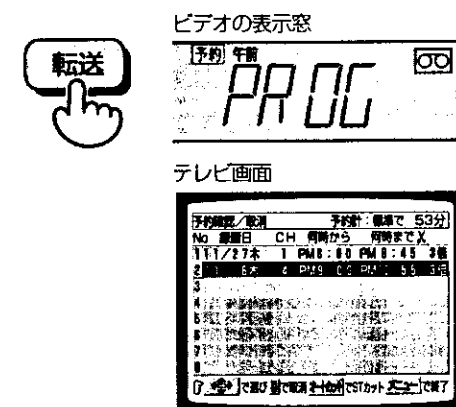


4 録画モードを合わせる



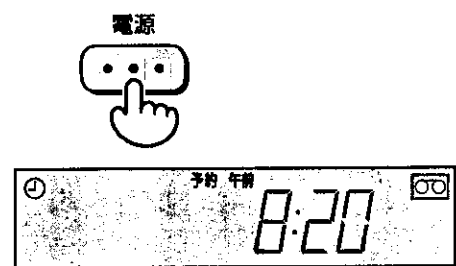
- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが自動的に切り換わります(④9ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」参照)。
- 「表示なし」にするとビデオの表示窓に出ている録画モードで録画されます。

5 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。
- 続けて別の番組を予約するときは、①～⑤を繰り返してください。

6 ビデオの電源を切る



開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

お知らせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

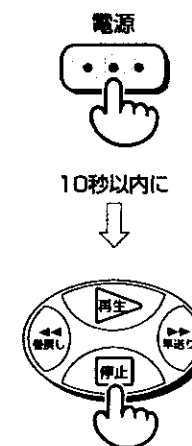
- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとはビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切ってください。

タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



オートカット機能について

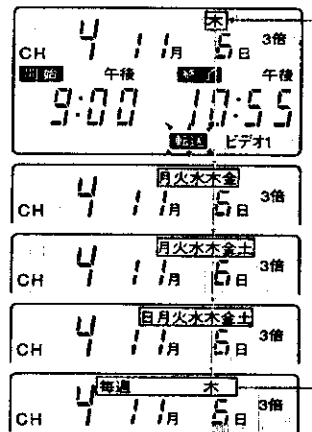
- CMをカットしながら番組を録画することができます(④2ページ参照)。

Gコード予約した内容も、リモコン予約した内容も次の方法で確かめたり、取り消したりできます。

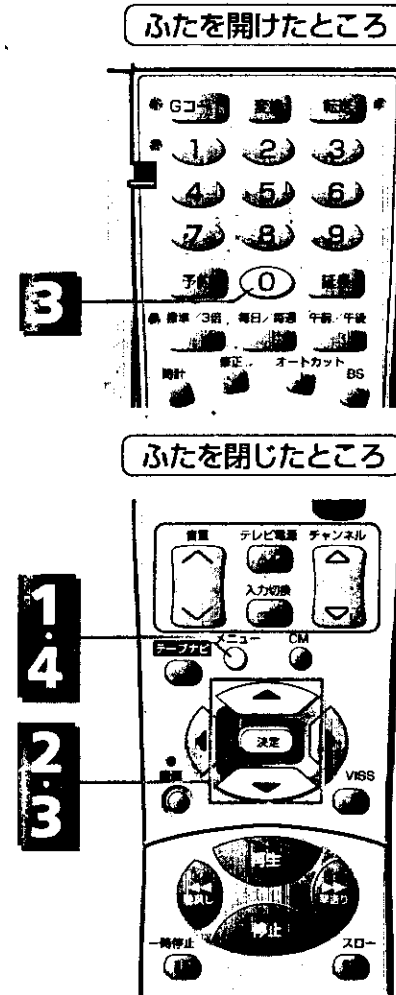
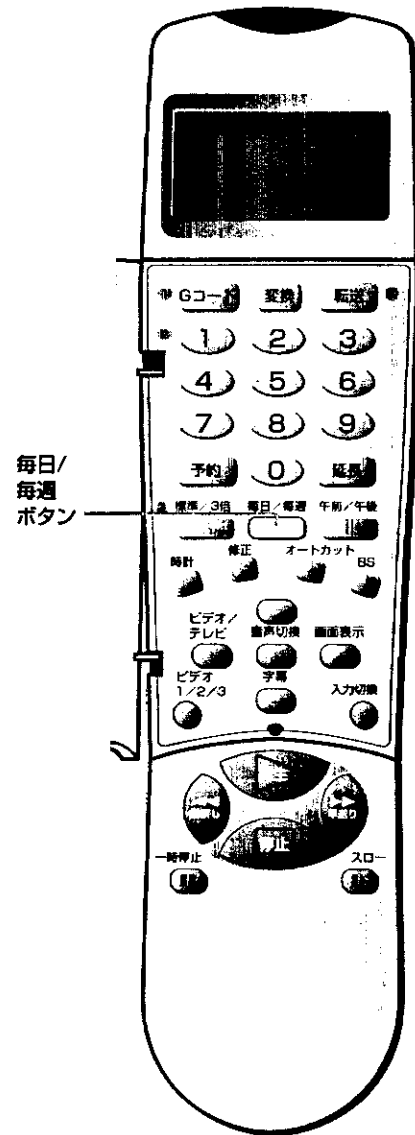
毎日、または毎週同じ時刻の番組を予約するには

64ページの手順Eのあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ

毎日/毎週



- ボタンを押すごとに左のように切り換わります。
- 曜日表示の見かた
 水 …… この日だけの1回録画
 月～金 …… 月曜日から金曜日
 月～土 …… 月曜日から土曜日
 日～土 …… 日曜日から土曜日まで毎日同じ時間に録画
 毎週水 …… 毎週同じ曜日のこの時間に録画



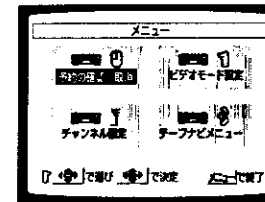
お知らせ

- メニュー画面や予約内容の画面は約1分たつと、自動的に元の画面に戻ります。
- 予約の合計時間は、標準で210分まで表示されます。211分以上は「—」になります。

- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

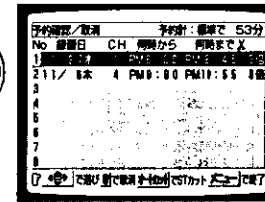
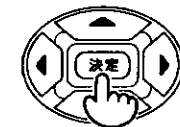
1 メニューボタンを押す

メニュー



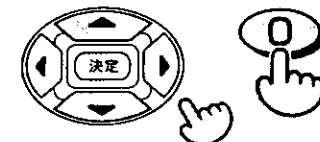
メニュー画面が出ます。

2 「予約の確認/取消」が選ばれていることを確かめ、決定ボタンを押す



- 予約内容が一覧表示されます。
- 予約の合計時間は、3倍予約のときでも標準に換算して表示されます。

3 予約を取り消したいときは、▼、▲ボタンで取り消したい内容を選び、0ボタンを押す



- 予約内容が消えます。
- 続けて別の予約も取り消したいときは、Eを繰り返してください。

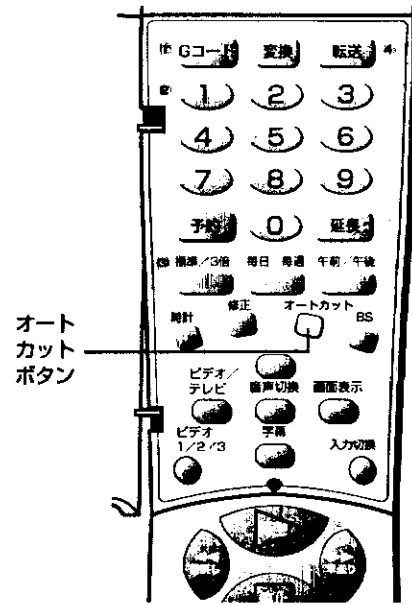
4 確認・取り消しが終わったら、メニューボタンを押す

メニュー



元の画面に戻ります。

Gコード予約とリモコン予約に共通の内容です。



- テレビで**
 - ・テレビの電源を入れる
 - ・テレビの入力切替を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで**
 - ・ビデオの電源を入れる

1 タイマー録画予約する

④9～⑤6 ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニュー画面を出し「予約の確認/取消」が選ばれていることを確かめ、決定ボタンを押す

メニュー

予約内容が一覧表示されます。

3 オートカットボタンを押して✕マークを出す

オートカット

続けて別の番組もCMカットして録画したいときは、▼、▲ボタンを押して別の予約内容を選んでからオートカットボタンを押して✕マークを出してください。

4 メニューボタンを押す

メニュー

元の画面に戻ります。

お知らせ

- リモコンのタイマー録画予約をビデオに転送したとき、テレビ画面に予約の内容が約1分出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。

オートカット機能を解除するとき
録画が始まる前なら

- ①、②を行ってから、オートカットボタンを押して✕マークを消してください。

録画が始まったあとなら

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。

■ 予約を転送したとき、ビデオの表示窓に「--:--」や「Err」、「FULL」が出たら

- 「--:--」: ビデオの時計が「--:--」になっています(約5秒点滅)ます。時計を合わせてから予約してください。
- 「Err」: リモコンをビデオに向けずに転送しています(約5秒点滅)ます。ビデオに向けて転送してください。
- 「FULL」: すでに8つの番組が予約されています(約5秒点滅)ます。予約はできません。不要な予約を取り消してください(⑤7ページ参照)。

■ タイマー録画中のボタン操作

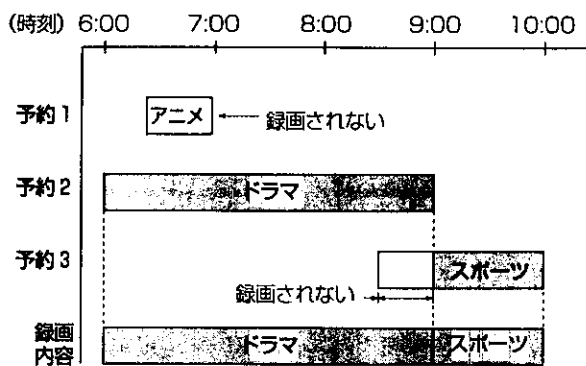
一時停止や、録画モードの変更などのボタン操作はできません。

■ 60分以上の停電があったとき

ビデオの表示窓が「--:--」に変わり、時計と予約内容が消えてしまいます。時計合わせと予約をやり直してください(時計合わせは④9ページ、予約は④9～⑤6ページ参照)。

■ 予約内容が重なったとき

先に始まった番組が最後まで録画されたあと、次の番組が途中から録画されます。



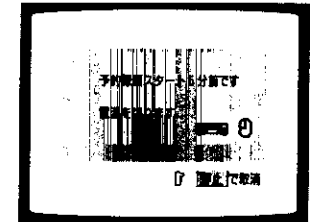
■ タイマー録画中にテープがなくなったとき

自動的にビデオの電源が切れ、テープがビデオから出てきます。

■ 日立製の他のビデオのリモコンを使うとき

時計表示窓付きリモコンは、リモコンの予約内容をそのまま本機に転送することができます。

■ タイマー録画予約後、電源を切り忘れたとき



電源が「入」になっていると、タイマー録画開始5分前にテレビ画面に上の警告表示が現れ、ビデオの電源が自動的に切れます。

■ 録画モードを「オート」に合わせたとき

テープの残り時間に応じて自動的に録画モードが切り換わります。

- 「標準」で録画を始めて、途中でテープがなくなりそうになると録画モードを自動的に「3倍」に切り換えます。
- 最初から「3倍」で録画を始めても、録画時間が足りないときは、最後まで録画されません。
- 録画モードの切り換わった部分を再生すると、画像が乱れます。
- 2つ以上の番組を「オート」でタイマー録画予約すると、テープの残り時間と番組の録画時間によっては、2つ目以降の番組が録画されないことがあります。たとえば、T-120のテープの巻始めから、1つ目の2時間番組を「オート」でタイマー録画予約すると「標準」で2時間(最後の約5分は「3倍」)録画されます。このため、2つ目以降の番組は録画されません。

■ 衛星放送をタイマー録画するとき

衛星放送のTV(テレビ)/独立音声の切り換えは、必ずタイマー録画が始まる前に番組に合わせて切り換えておいてください(④3ページ参照)。

■ ケーブルテレビの衛星放送番組をGコード予約するとき

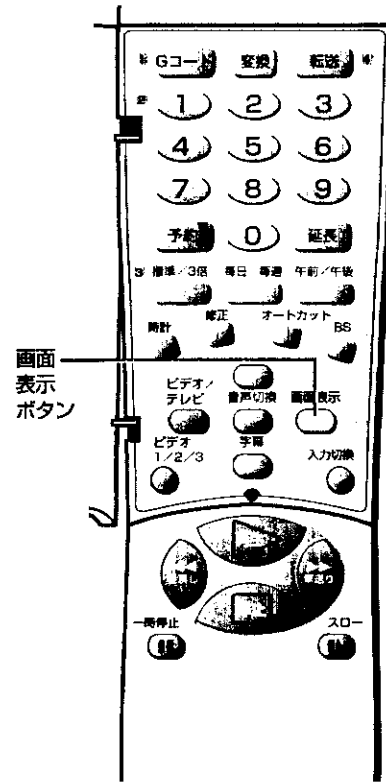
リモコンの表示窓に「BS」表示が自動的に出ます。このときは、修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させたあと、BSボタンを押して「BS」表示を消してからケーブルチャンネルに合わせてください。

■ ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき

「CATV」の設定が「入」になっているとき、UHF放送の番組をタイマー録画するときは、UHF放送のチャンネルを変更し、その変更したチャンネル番号を予約してください(④9ページ参照)。

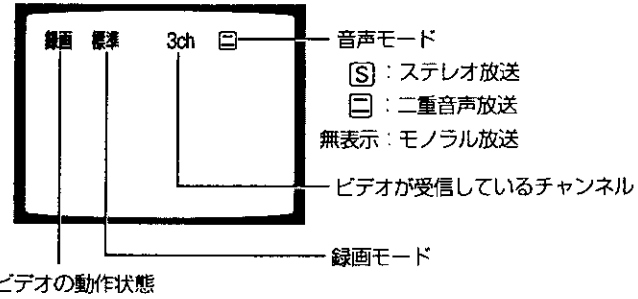
画面表示を見る

テレビ画面にビデオの動作状態や、チャンネル、時計、テープの走行経過時間などを表示することができます。



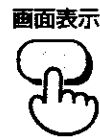
画面表示

ビデオを操作するたびに、下の表示がテレビの画面に約8秒間出ます。



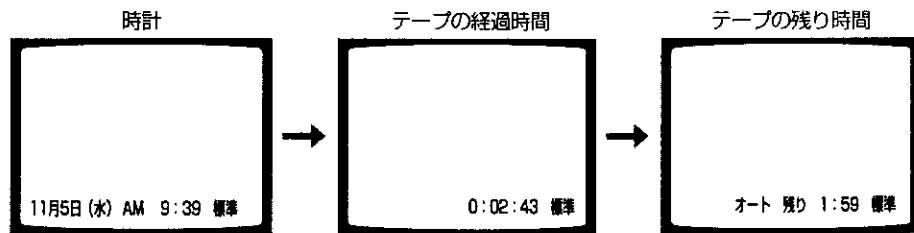
時計、経過時間、テープの残り時間を切り換える

画面表示ボタンを押す

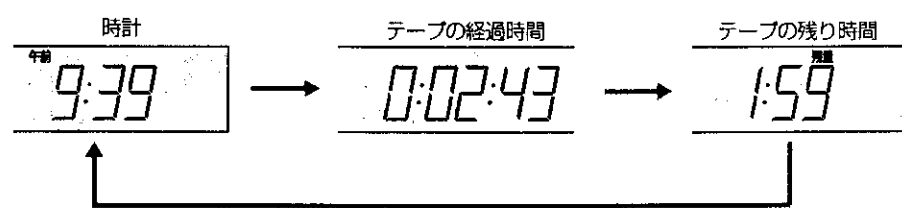


画面表示が出ている間にボタンを押すと、ビデオの表示窓も同時に切り換わります。

テレビ画面



ビデオの表示窓



お知らせ

- 時計が表示されているときにテープを再生すると、自動的にテープの経過時間に切り換わります。
- 時計またはテープの残り時間に切り換えるときは、画面表示ボタンを押してください。

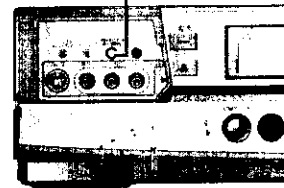
残り時間・経過時間を表示する

テープの走行中、テープの残り時間を「時・分」で表示できます。また、走行の経過時間を「時・分・秒」で表示することもできます。

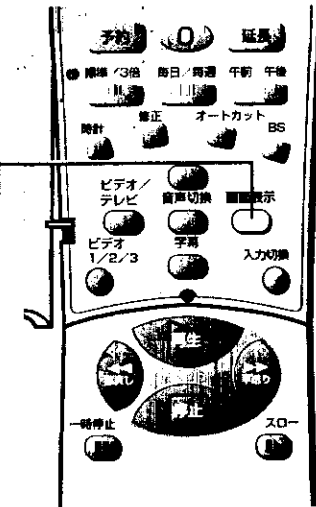
重要

テープの残り時間は、録画や再生を始めて約1分後に表示されます。テープが動き始めてしばらくは、「—：—」の表示が出ます。

2

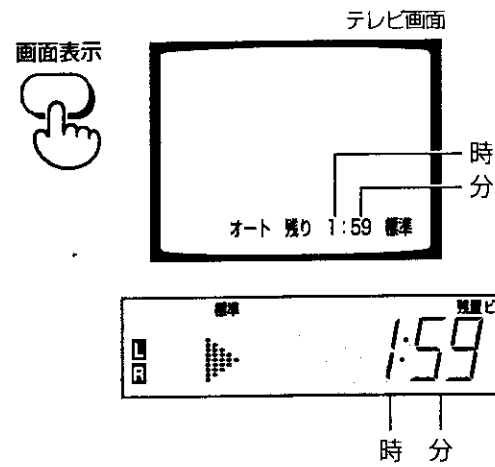


1



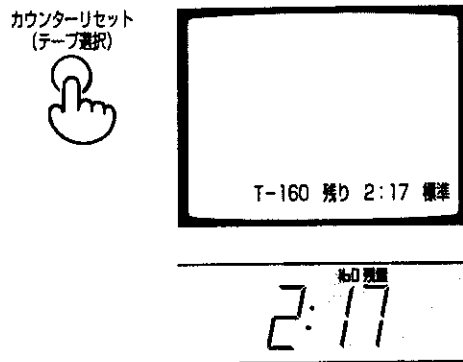
テープの残り時間を表示する

1 画面表示ボタンを押して、残り時間を出す



テープを入れたばかりのときは、「—：—」が表示されます。再生または録画を始めると、約1分後に残り時間が出ます。

2 カウンターリセット(テープ選択)ボタンを押して、テープの長さを選ぶ



テープの長さ	画面表示
T-120以下	オート
T-140、T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

- テープの長さに合わせて表示を選んでください。これで正しい残り時間が表示されます。
- 画面表示が「オート」のとき、ビデオの表示窓は「表示なし」になります。

お知らせ

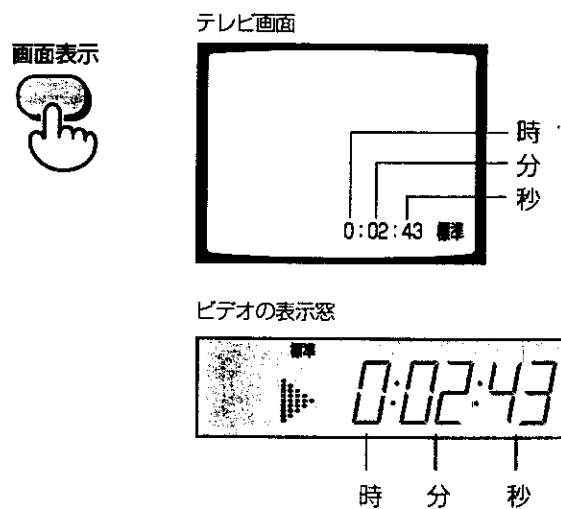
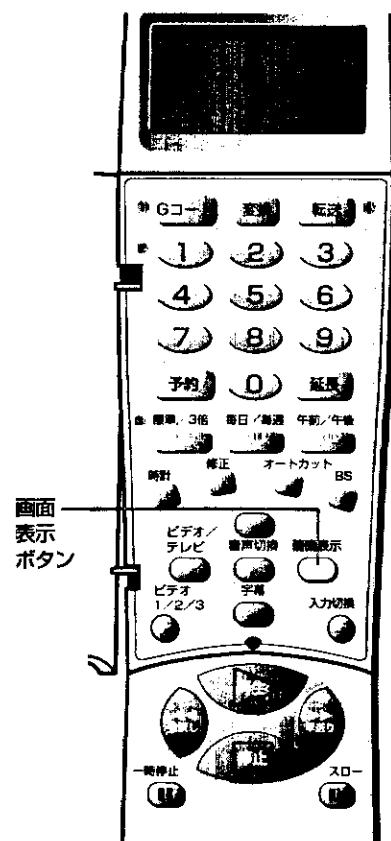
テープの残り時間について

- 何も録画していないテープやT-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、残り時間が正しく表示されません。
- 早送りや巻戻しの際はテレビ画面に正しく表示ができません。

便利な使いかた

経過時間を表示する

画面表示ボタンを押して、テープの走行経過時間を表示する



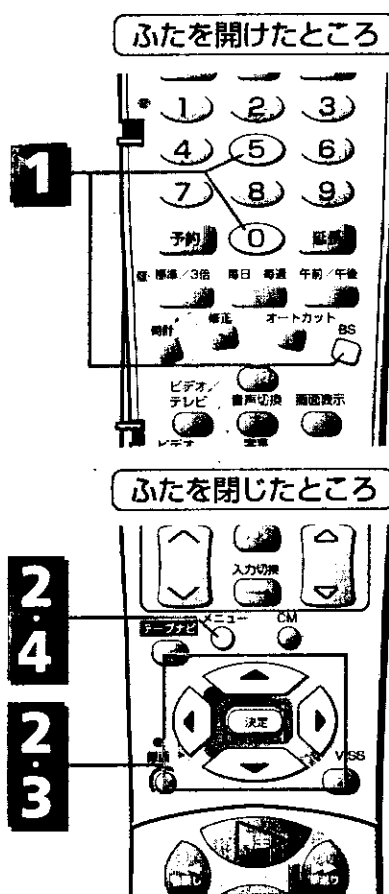
お知らせ

経過時間表示について

- テープを取り出すと、経過時間は自動的に「0:00:00」に戻ります。
- テープに何も録画されていない部分では、経過時間の数字は変わりません。
- 録画または再生中に、ビデオのカウンターリセット(テープ選択)ボタンを押すと、経過時間が「0:00:00」になります。録画や再生が終わってから見たい場面を探すとき便利です。

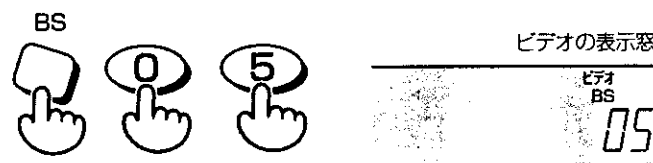
衛星放送では、同じチャンネルにテレビ音声と同時に独立音声とよばれる別の音声を放送しているチャンネルがあります。

平成9年7月現在、独立音声放送が行われているのは、BS5チャンネルのセントキガ St.GIGA放送だけです。St.GIGAを聞くには受信契約が必要です。

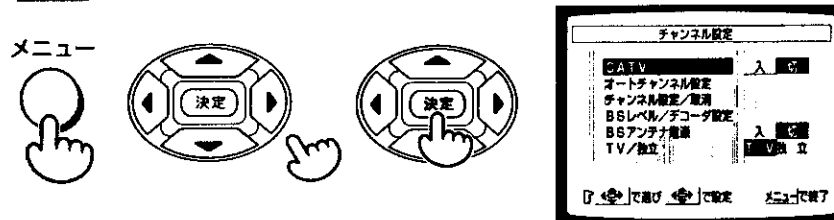


- テレビで
 - ・テレビの電源を入れる
 - ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ・ビデオの電源を入れる

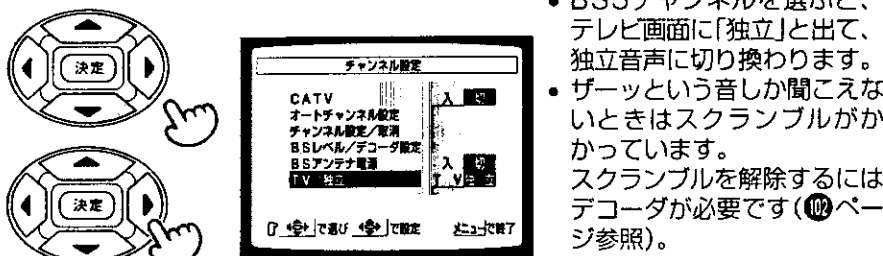
1 BS5チャンネルを選ぶ



2 メニュー画面を出し、「チャンネル設定」を選ぶ



3 ▼、▲ボタンで「TV/独立」を選び、▶ボタンで「独立」を選ぶ



- BS5チャンネルを選ぶと、テレビ画面に「独立」と出て、独立音声に切り換わります。
- ザーッとという音しか聞こえないときはスクランブルがかかっています。スクランブルを解除するにはデコーダが必要です(10ページ参照)。

4 メニューボタンを押す



お知らせ

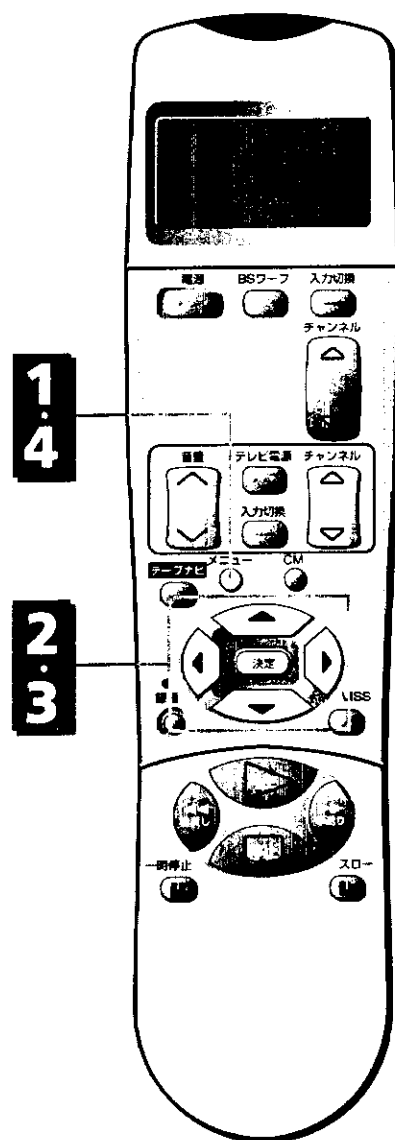
衛星放送の音声について

- 衛星放送の音声にはAモードとBモードがあります。Aモードはテレビ音声と独立音声と一緒に送られてきます。Bモードはテレビ音声のみが送られてきます。AモードとBモードは、自動的に切り換わります。Bモードのときはテレビ画面に「Bモード」と出ます。

便利な使いかた

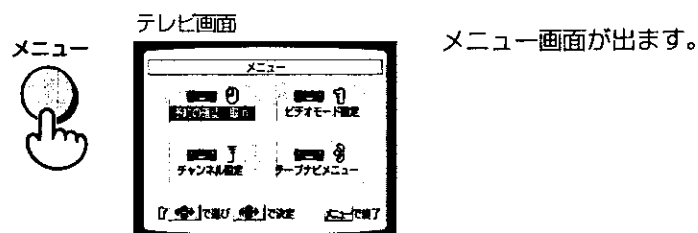
ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)

ビデオの動作や機能を、お好みに合わせて選ぶことができます。

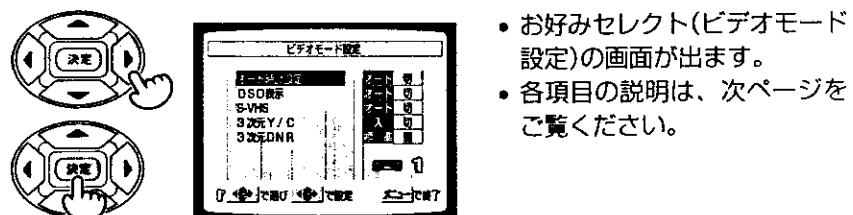


- テレビで**
 - ・テレビの電源を入れる
 - ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで**
 - ・ビデオの電源を入れる

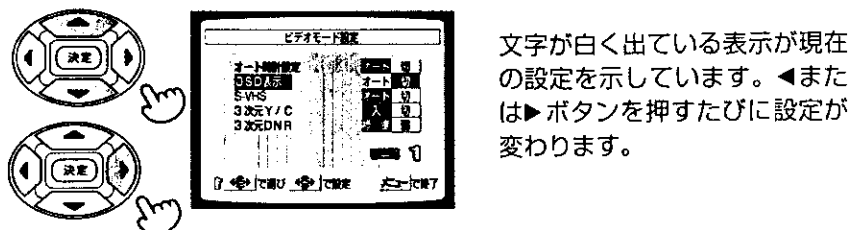
1 メニューボタンを押す



2 ▶ボタンを押して「ビデオモード設定」を選び、決定ボタンを押す



3 ▼、▲ボタンで合わせたい項目を選び、◀、▶ボタンで設定を変える



4 メニューボタンを押す



- メニュー画面やお好みセレクトの画面は約1分たつと、自動的に元の画面に戻ります。
- 工場出荷時は「**入**」の画面に合わせてあります。

「ビデオモード設定」画面の説明

オート時計設定 **オート** または **切**

- オート** 本機の時刻が現在時刻とずれているときは、NHK教育テレビまたはNHK総合テレビの時報に合わせて1日に1または2回(午前7時、午後0時)自動的に時刻を修正します(ジャストクロック)。
- 切** ジャストクロック機能は動きません。
●詳しくは、97ページ「時計を正確に合わせるには(ジャストクロック)」をご覧ください。

OSD表示 **オート** または **切**

- オート** ビデオを操作するたびに動作表示などがテレビ画面に出ます。
●詳しくは60ページ「画面表示を見る」をご覧ください。
- 切** ビデオを操作しても、テレビ画面に動作表示などは出ません。
ただし、画面表示ボタンやメニューボタンを押したとき、またはテープナビ機能やオートカット機能などをお使いのときは、表示が出ます。

S-VHS **オート** または **切**

- オート** **S-VHS**のテープを入れると、S-VHS方式で記録し、**VHS**のテープを入れるとVHS方式で記録します。ふつうは**オート**に合わせます。
- 切** 入れたテープの種類に関係なくVHS方式で記録します。
●詳しくは、26ページ「S-VHSについて」をご覧ください。

3次元Y/C **入** または **切**

- 入** 3次元Y/C分離回路が、放送局から送られてくる輝度信号(Y)と色信号(C)を分離し、両信号の混じり合いによって起こるクロスカラーやドット妨害を大幅に改善します。ふつうは**入**に合わせます。
- 切** 電波の状況やつないだテレビによって、動きの速い場面で残像が出るとき、3次元Y/C分離回路を切ると残像が軽減されます。

3次元DNR **標準** または **弱**

- 標準** テープの再生時、3次元DNR(YNR、CNR)が動き、映像を劣化させる輝度ノイズと色ノイズを取り除きます。ふつうは**標準**に合わせます。
- 弱** 動きの速い場面で残像が出たり、輪郭がぼけると、3次元DNRを**弱**にすると症状が軽減されます。

* DNRはDigital Noise Reductionの略です。

便利な使いかた

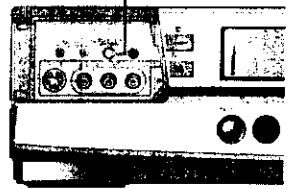
テープナビを使う

このビデオでは、テープを入れて録画すると、そのテープに整理番号を付け、録画データ(録画日、録画時刻、チャンネル、録画モードなど)を登録してテープごとに管理します。録画データを活用してテープの中身を一目で見たり、番組の頭出しをする機能をテープナビといいます。



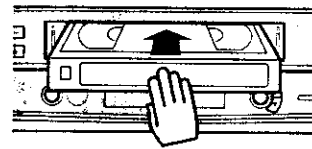
- テープの種類を間違えて選ぶと、5分以上録画してもデータを正確に登録できません。
- 他機で録画したテープを初めてこのビデオで録画するときも、テープの種類を正しく選んでから録画やタイマー録画をしてください。
- テープを入れると、ビデオのテープナビボタンが点滅したあと点灯します。点灯後に操作してください。点滅中に操作すると、同じテープに複数のテープ番号が登録されてしまい、誤動作の原因となります。

2

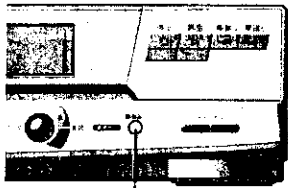


録画データを登録する

1 テープを入れる

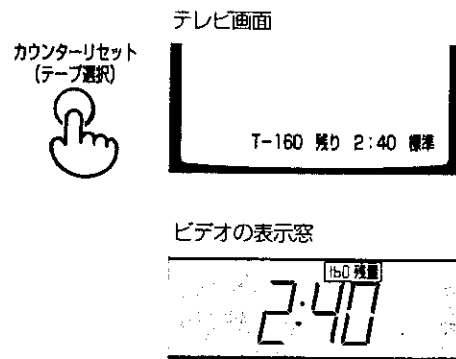


このビデオに初めて入れたテープのときは、ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから消えます。そのあと、ビデオの表示窓の残量表示が約10秒間点滅します。点滅している間に2の操作をしてください。



3

2 140分以上のテープのときは、テープの種類を切り換える



テープの種類	表示
T-140、T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

- テープの種類に合わせて表示を選んでください。これでテープナビが正しく動きます。
- 120分以下のテープでは、切り換える必要ありません。

3 録画、またはタイマー録画する



標準モードで約5分以上(3倍モードでは約15分以上)録画すると、録画データが自動的に登録されます。



オートカット機能を使って録画した番組の録画時間は、録画予約した時間よりCMをカットした分だけ短く表示されます。また、CMをカットした分だけ録画時間が短くなるため、30分以内の番組は、録画データが登録されないことがあります。

テープナビ画面、タイムナビ画面の見かた

登録されたデータを次のように表示します。テープナビ画面の出し方は66ページ、タイムナビ画面の出し方は76ページをご覧ください。

■ テープナビ画面

テープバー
現在選択されている番組のテープ上の位置と長さを示します。

テープ番号
(本機がテープにつけた整理番号)

カラーバー
選択されている番組表示に、色がついていきます。

〇〇見たマーク
番組を、続けて半分以上見たとき表示されます。

録画日*

録画チャンネル

ブランク
(録画した番組と番組の間のあき時間)

録画開始時刻*

ステレオ放送表示
番組の半分以上がステレオ放送のとき表示されます。

録画時間(分)

CMカット表示
オートカット機能を使って録画したとき、または録画中に一時停止した番組のとき表示されます。

テープに録画された番組数

録画モード**

残り
(テープの残り時間)

二か国語放送表示
番組の半分以上が二か国語放送のとき表示されます。

No	録画日	CH	何時から	何分
1	11/5水	4	PM8:00	42分
2	11/6木	6	PM7:00	27分
3	11/15土	11	PM8:00	23分
4	11/26水	8	PM8:00	27分
5	11/30日	1	PM8:00	15分

* 時計を設定していないと「-」で表示されます。
** 録画中にモードが変わったときは、「-」と表示されます。このときは、標準モードに置き換えた時間が示されます。

■ タイムナビ画面

現在位置
再生中に、その場面が録画された時刻を示します。

カーソル
(現在位置)

カーソル
(再生/停止位置)

録画開始時刻

テープバー
現在選択されている番組を示します。

録画終了時刻

再生/停止位置の時刻
タイムナビで探して再生/停止する場面の録画時刻を示します。

お知らせ

- 番組の登録数について
- 「ブランク」「残り」も含めて約200番組を登録できます。
- テープ番号の登録数について
- 100以上は登録されません。
- 録画時間の精度について
- 表示される録画時間と実際の録画時間には、約3分の誤差があります。
- 録画データの保持について
- 登録された録画データは、停電や電源プラグをコンセントから抜いたときも消えません。
 - 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。
- 〇〇見たマークについて
- 見たマークは、番組を、続けて半分以上見た(再生した)とき表示されます。番組の半分以上で再生をやめたり、テープナビ画面を出すと、見たマークは表示されません。

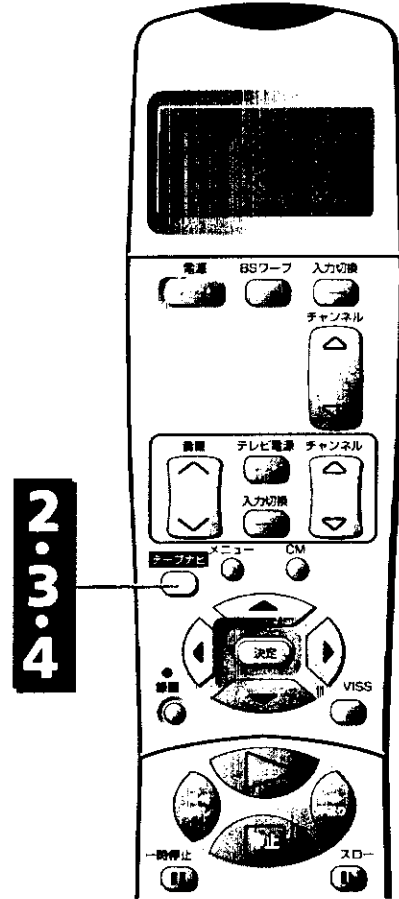
便利な使いかた



テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、本機で録画したテープだけです。

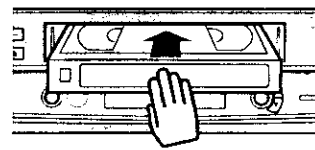


テープナビ機能、タイムナビ機能を入/切するときは、テープを取り出してください。テープが入っていると、切り換えることができません。



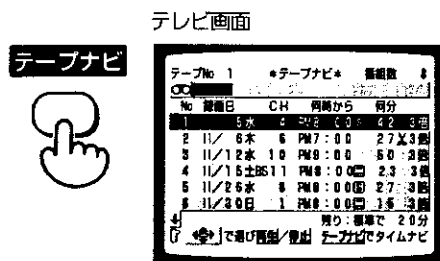
テープの録画データを見る

1 本機で録画したテープを入れる



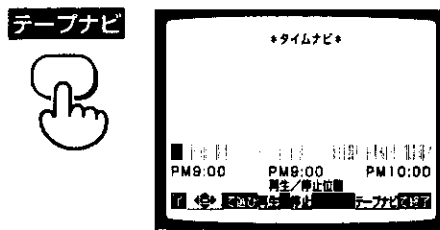
ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



- テープナビ画面が出ます。画面の見かたは(7)ページをご覧ください。
- この画面のデータを使って、番組を頭から再生したり、頭出しして停止したりできます。(70ページ「録画データを使って番組の頭出しをする」参照)。

3 テープナビボタンを押す



- タイムナビ画面が出ます。
- この画面で、番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、選んだ時刻を探して停止したりできます。(76ページ「タイムナビで見たい場面を探す」参照)。

4 テープナビボタンを押す



元の画面に戻ります。

お知らせ

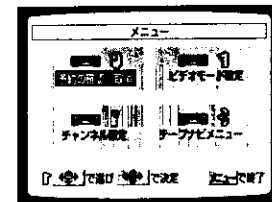
本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき

- テープを最初から約2分間再生したあとテープナビボタンを押してください。
- 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。
- タイムナビ「切」のとき、またはテープナビ画面で「ブランク」「残り」を選んだときには、(7)の画面が出ません。

テープナビ機能とタイムナビ機能を入/切する

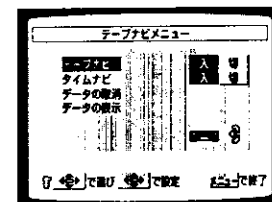
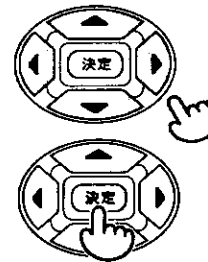
1 テープを取り出す

2 メニューボタンを押す



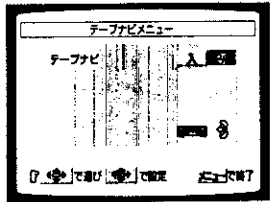
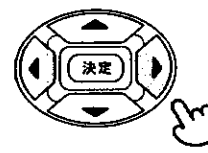
メニュー画面が出ます。

3 ▼、▲、◀、▶ボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す



テープナビメニューが出ます。

4 ◀、▶ボタンで「テープナビ」の「入」か「切」を選ぶ



- 工場出荷時は「入」です。
- テープナビ機能を使わないときは「切」にしてください。
- タイムナビ機能を「入/切」するには、テープナビ「入」のとき、▼、▲ボタンで「タイムナビ」を選び、◀、▶ボタンで「入」、「切」を選んでください。

5 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

お知らせ

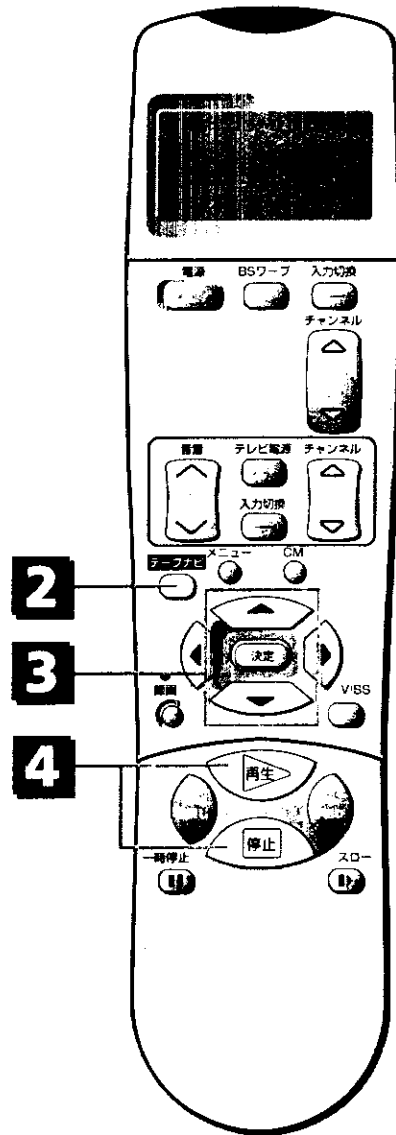
- 「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。また、CMオートが動作しません。

便利な使いかた

録画データを使って見たい番組を探したり、テープの録画されていないところ(ブランク)を探すことができます。

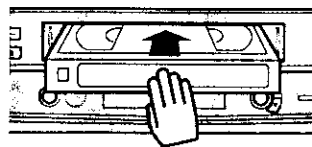


テープを入れてもビデオのテープナビボタンが緑に点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。
69ページをご覧ください。



録画データを使って番組の頭出しをする

1 本機で録画したテープを入れる



ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



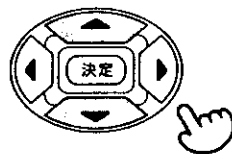
テレビ画面

テープナビ

No.	録画日	CH	何時から	何分
1	11/15	5	PM7:00	27分
2	11/15	5	PM7:00	42分
3	11/15	5	PM7:00	27分
4	11/15	5	PM7:00	42分
5	11/15	5	PM7:00	27分
6	11/15	5	PM7:00	42分

テープナビ画面が出ます。

3 ▼、▲ボタンを押して、見たい番組(またはブランク)を選ぶ



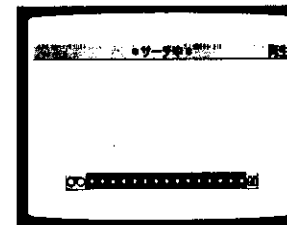
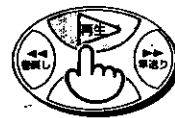
No.	録画日	CH	何時から	何分
1	11/15	5	PM7:00	42分
2	11/15	5	PM7:00	27分
3	11/15	5	PM7:00	42分
4	11/15	5	PM7:00	27分
5	11/15	5	PM7:00	42分
6	11/15	5	PM7:00	27分

- カラーバーが選んだ番組に移動します。
- テープバーが選んだ番組の位置と長さを示します。
- 6番目以降の番組を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押し、表示します。
- 番組の途中を探すときは「タイムナビで見たい場面を探す」(70ページ)をご覧ください。

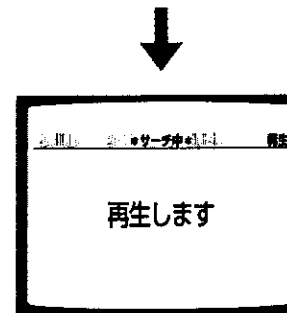
- テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき、ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。

4 番組の頭から再生する、または頭出しして停止する

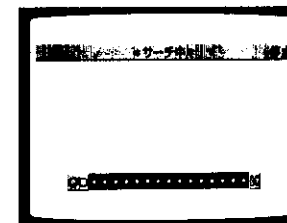
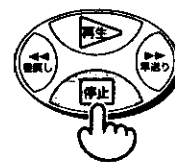
再生するとき



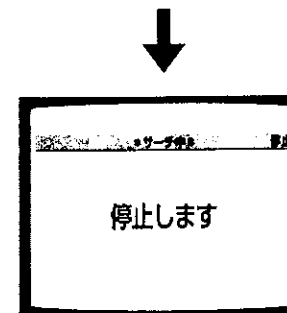
番組の頭を探して自動的に再生します。



頭出しして停止するとき



番組の頭を探して自動的に停止します。



お知らせ

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき

- テープを最初から約2分間再生したあとテープナビボタンを押してください。
- 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

自動的に電源を切るとき

- Eで見たい番組(または残り)を選んだあと電源ボタンを押すと、番組を頭出ししてから自動的に停止し、電源が切れます。

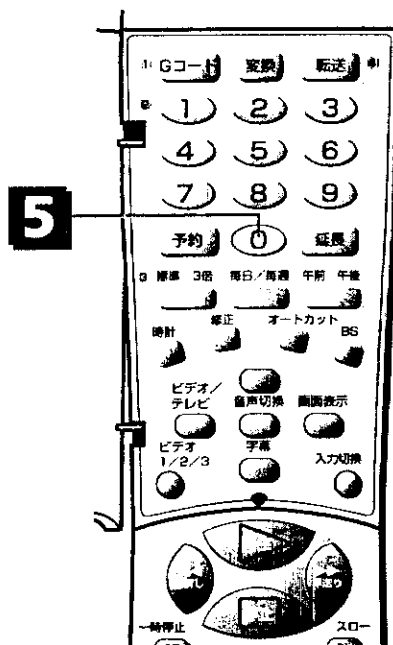
テープナビを使う(つづき)

登録できるデータ数が残り少なくなったときや、いらなくなったテープのデータを
取り消したいときに行います。

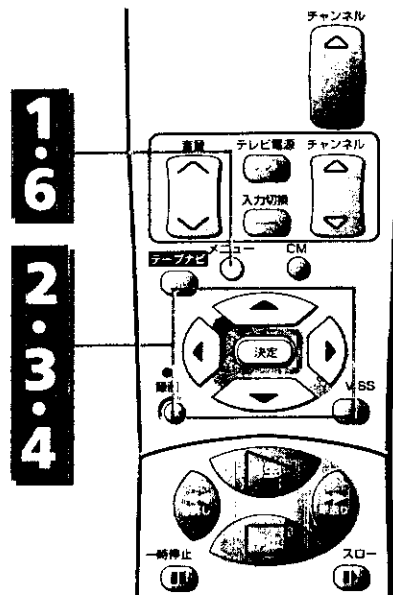


- ビデオの中にテープが入っているときは、入っているテープのデータを取り消すことはできません。テープを取り出してから操作してください。
- データの取り消しをすると、1本のテープに登録されているテープデータ全てが取り消されます。データの一部(番組データ)を取り消すことはできません。

ふたを開けたところ

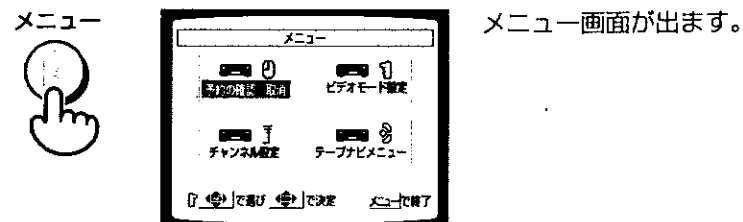


ふたを閉じたところ

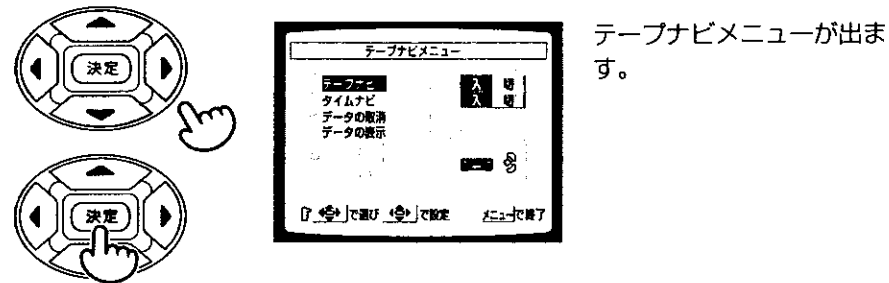


登録内容を取り消す

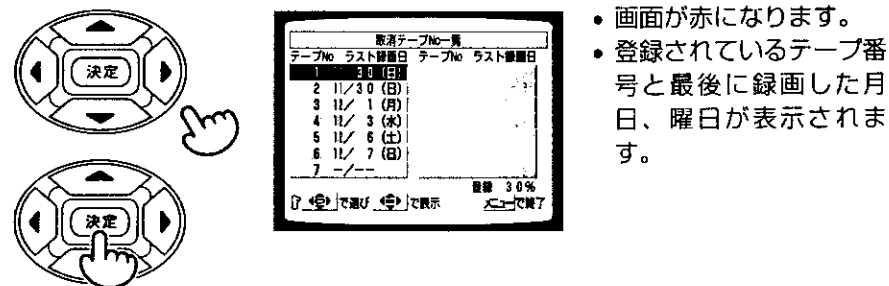
1 メニューボタンを押す



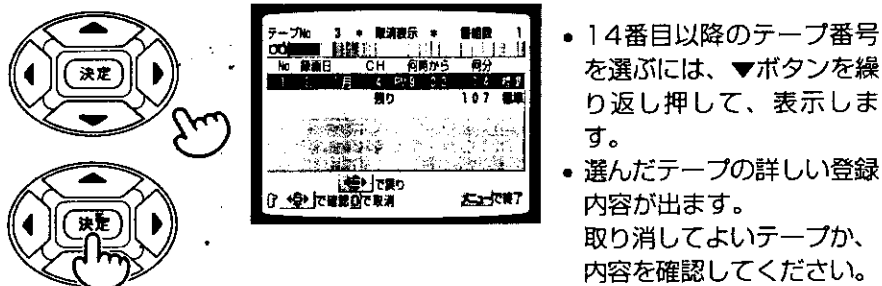
2 ▼、▲、◀、▶ボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す



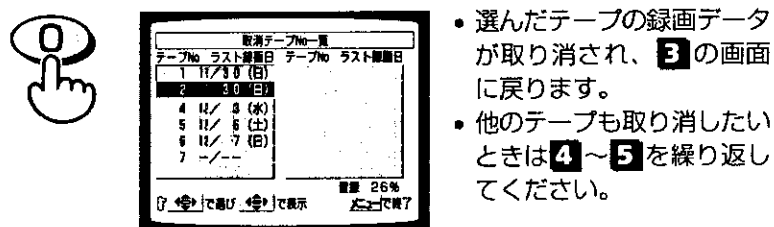
3 ▼、▲ボタンで「データの取消」を選び、決定ボタンを押す



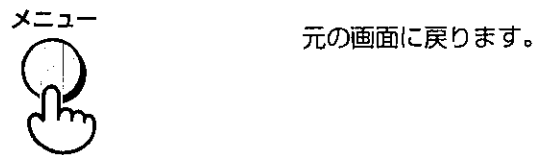
4 ▼、▲ボタンで取り消したいテープ番号を選び、決定ボタンを押す



5 0ボタンを押して取り消す



6 メニューボタンを押す



お知らせ

- 「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。
- 一度このビデオで録画したテープに再度録画するときは登録内容を取り消す必要はありません(録画すると新しいデータが自動的に登録されます)。

登録パーセント表示について

- パーセント表示は、テープ番号の数ではなく、登録されている番組数や内容によって変わります。

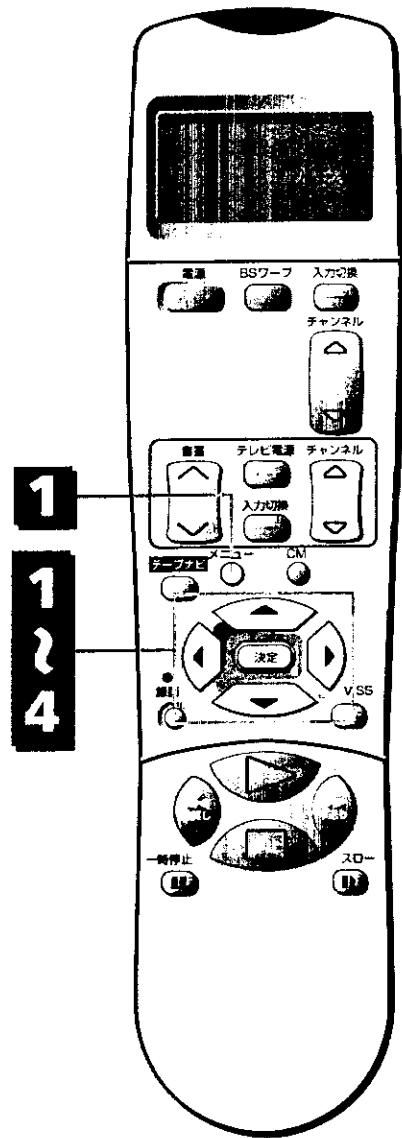
ラスト録画日の表示について

- 時計を設定していないときにデータが登録されたとき、または登録時間(録画時間)が短いとき(標準モードで約5分以内、3倍モードで約15分以内)は、ラスト録画日は「-/-」と表示されます。

便利な使いかた

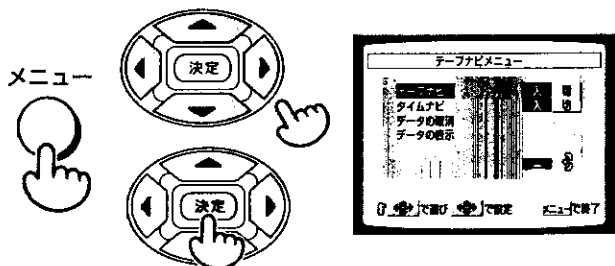
テープナビを使う(つづき)

テープを入れずに、このビデオに登録されている全テープの登録内容を確かめることができます。
お手持ちのテープのラベルに、登録されたテープ番号を付けておくと、テープを探すのに便利です。

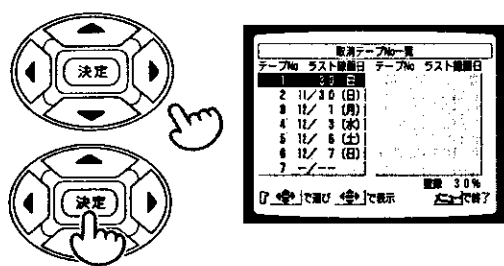


登録内容を確認する

1 メニューボタン、▼、▲、◀、▶ボタンと決定ボタンで「テープナビメニュー」を出す

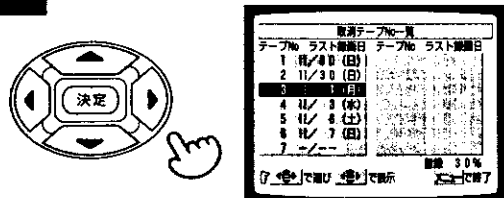


2 ▼、▲ボタンで「データの表示」を選び、決定ボタンを押す



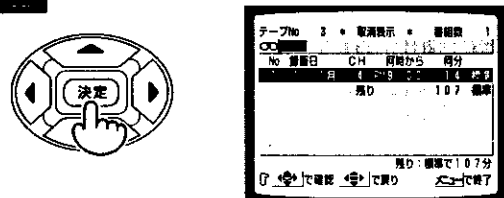
登録されているテープ番号と最後に録画した月日、曜日が表示されます。

3 ▼、▲ボタンで確認したいテープ番号を選ぶ



14番目以降のテープ番号を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押し表示します。

4 決定ボタンを押す



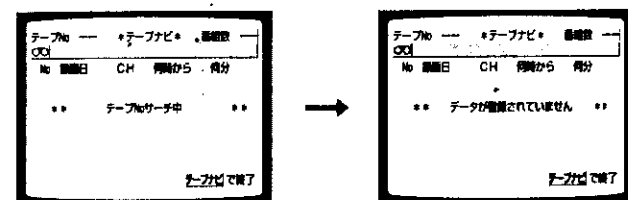
- 選んだテープの詳しい登録内容が出ます。
- 他のテープの内容も確かめたいときはもう1回決定ボタンを押してから3、4を繰り返ししてください。
- 元の画面に戻すには、メニューボタンを押してください。

●「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。

テープナビのご注意

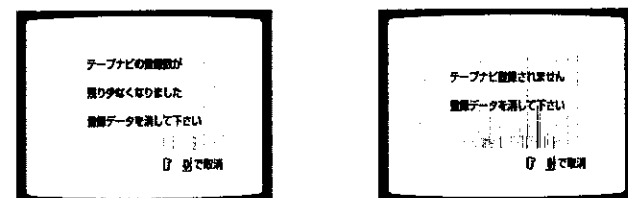
■ 次の①～⑤のテープが入っているときテープナビボタンを押すと、下の画面が出ます。

- ①何も録画していないテープ
- ②本機以外のビデオで録画したテープ
- ③テープナビを「切」にして本機で録画したテープ
- ④登録内容を取り消したテープ
- ⑤市販のソフトテープ



■ 登録の数には限りがあります。

- 録画を始めたときに下の画面が出たときは、いらぬテープの登録内容を消してください。



- 上の画面が出ている間に0ボタンを押すと②ページの「登録内容を取り消す」のEの画面になります。④～⑥の操作を行い、登録を取り消してください。

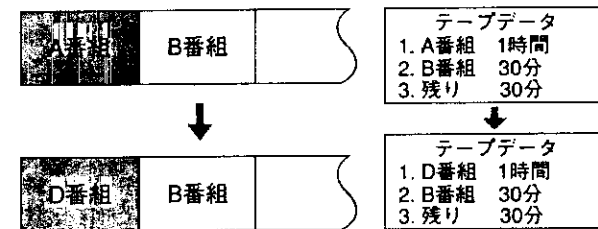
■ ダビング編集について

- 音声だけを録音したときやCDV(コンパクトディスクビデオ)から録画したときは、テープナビ機能は動きません。

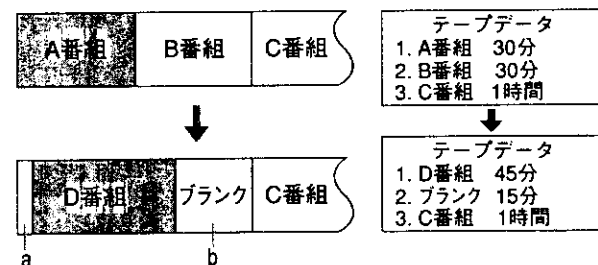
■ 市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください(⑨ページ参照)。

■ 一度録画したテープに再度録画したときのテープデータについて

例1) テープナビを使ってA番組、B番組を録画したテープに、D番組をA番組と同じ時間録画したとき

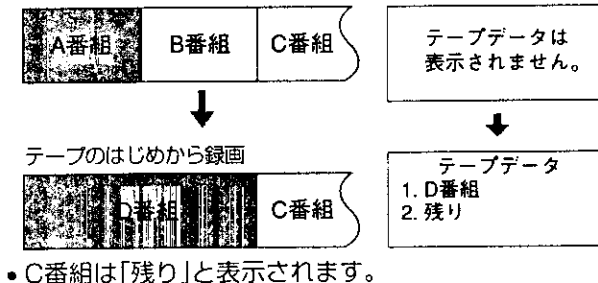


例2) テープナビを使ってA番組、B番組、C番組を録画したテープに、D番組を録画したとき



- aの時間が5分(3倍モードで15分)未満のときは何も表示されません。約5分以上のときは、「A番組」と表示され、録画時間はaの時間に変わります。
- bの時間が約5分(3倍モードで約15分)以上のときは「ブランク」と表示されます。5分未満のときは、何も表示されません。

例3) 他の機器でA番組、B番組、C番組を録画したテープに、テープナビを使ってD番組を録画したとき



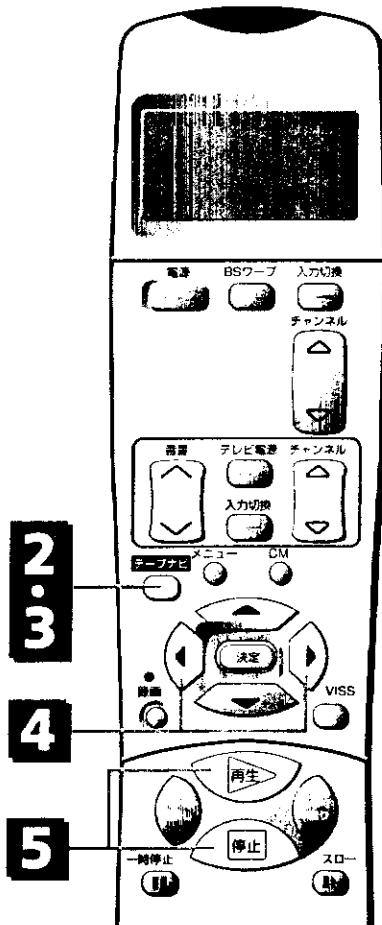
- C番組は「残り」と表示されます。

便利な使いかた

タイムナビで見たい場面を探す

このビデオには、ある番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、その場面で停止したりするタイムナビ機能がついています。テープナビ機能が「入」になっているときお使いください。

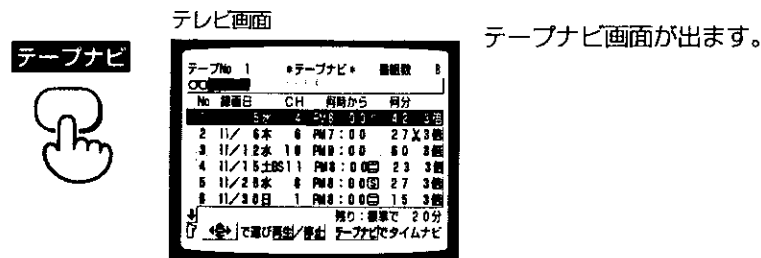
- テープを入れてもビデオのテープナビボタンが緑に点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。69ページをご覧ください。
- テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、テープナビが「入」で録画したテープだけです。



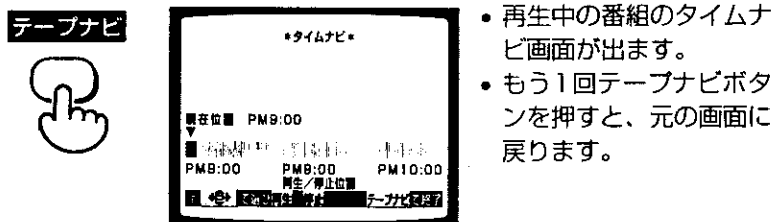
1 テープナビメニューの「タイムナビ」を「入」にする

操作のしかたは69ページをご覧ください。

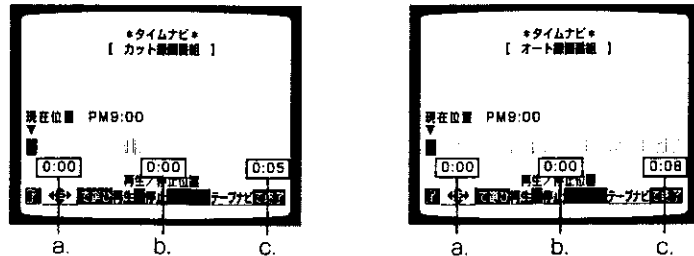
2 再生中、テープナビボタンを押す



3 もう1回テープナビボタンを押す

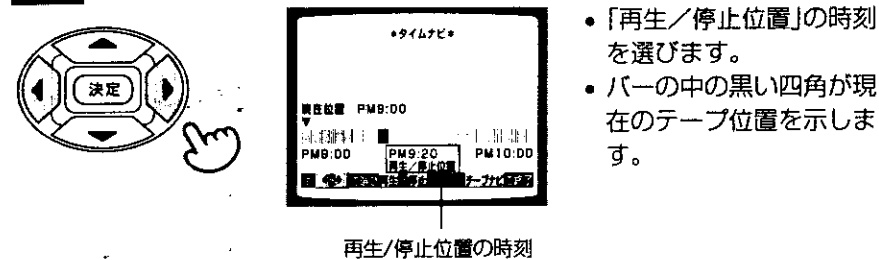


オートカット機能を使って録画した番組、または録画中に一時停止した番組のとき

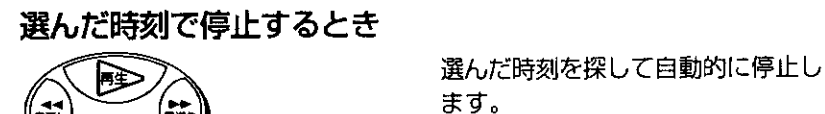
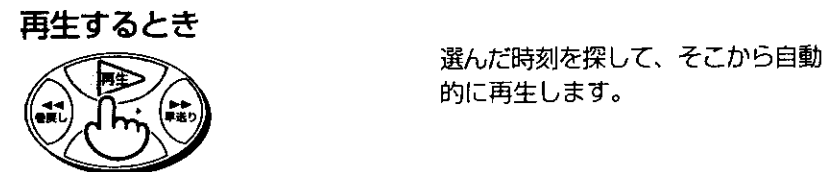


- 録画開始時刻の代わりに「0:00」が表示されます。
 - 「再生/停止位置」には、録画開始からの経過時間が表示されます。
 - 録画終了時刻の代わりに録画時間が表示されます。
- [オート録画番組]の場合、3倍モードで録画された部分も、録画時間および経過時間は標準モードに置き換えた時間になります。

4 ◀、▶ボタンで見たい場面の時刻を選ぶ



5 選んだ時刻の場面から再生する、またはその時刻を探して停止する



お知らせ

- 本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
- テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。
 - 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

- タイムナビ機能が使えないとき
- テープの現在位置が「残り」または「ブランク」にあるとき、またはテープナビ画面で▼、▲ボタンを押して「残り」または「ブランク」の部分を選んだときは、タイムナビ機能が動きません。

- 自動的に電源を切るとき
- 4の操作のあと、電源ボタンを押すと、選んだ時刻を探してから自動的に停止し、電源が切れます。

便利な使いかた

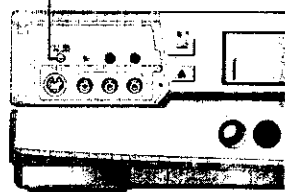
リモコンで2台のビデオを操作する

付属のリモコンは、日立製のビデオを3台まで、別々に操作できます。ビデオが並べて置いてあるときなど、1台ずつ違う動作をさせることができますので便利です。



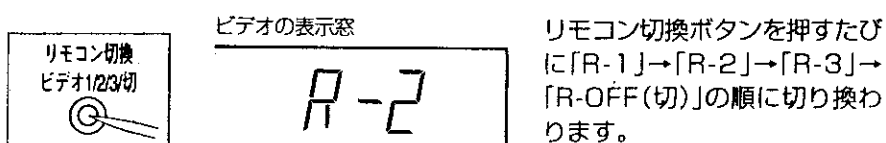
- ビデオのリモコン切換ボタンを「R-OFF」にすると、リモコンをまったく受け付けなくなります。
- ビデオ側のリモコン切換ボタンとリモコン側のビデオ1/2/3切換ボタンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓でビデオのリモコンコードが点滅します。

リモコン切換
ビデオ1/2/3/切ボタン

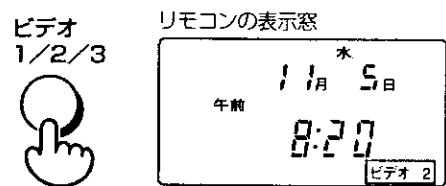


本機を操作するとき

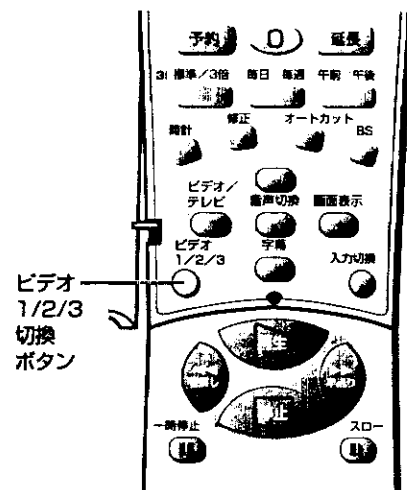
1 ビデオのリモコン切換ボタンをつまようじなどで押して、表示窓に「R-2」を出す



2 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ2」を表示させる



3 リモコンを本機に向けて操作する



お知らせ

3台のビデオを操作するとき

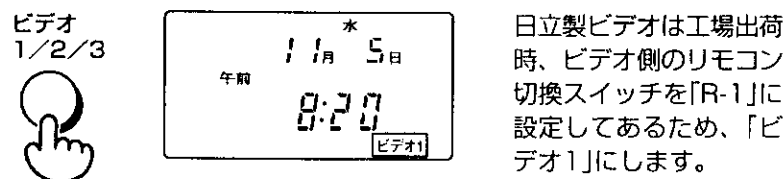
- 本機のリモコン切換ボタンを「R-3」に合わせ、他のビデオを「R-1」または「R-2」にしてください。

付属のリモコンで操作できるビデオ

- VT-6800/VT-9700/VT-17以外の日立製ワイヤレスリモコン対応のビデオ
- ビデオによっては、リモコンのタイマー予約や時計合わせができないことがあります。

もう1台のビデオを操作するとき

1 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ1」を表示させる



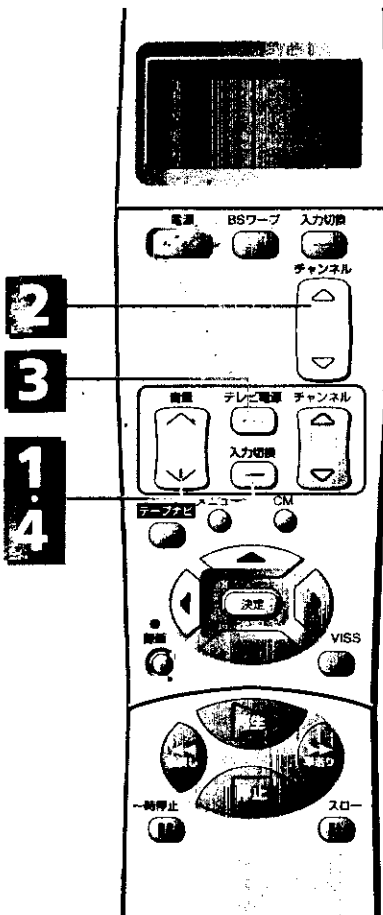
2 リモコンをもう1台のビデオに向けて操作する

リモコンで他社のテレビを操作する

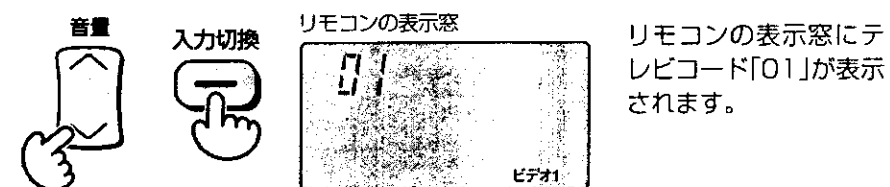
本機のリモコンで、日立製以外にも他社9社のテレビを操作できます。使い始めるとき、次のようにテレビコードを設定してください。操作するたびに設定し直す必要はありません。



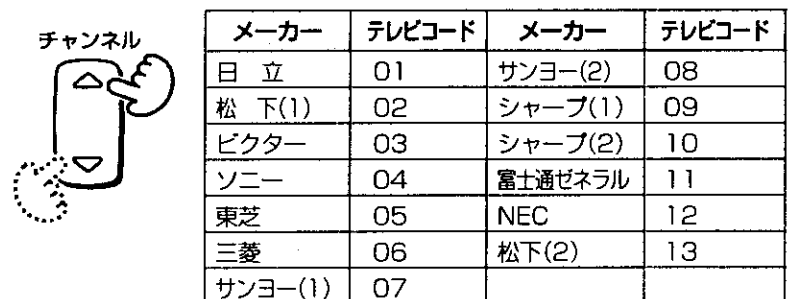
お手持ちのテレビの製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが動かないことがあります。



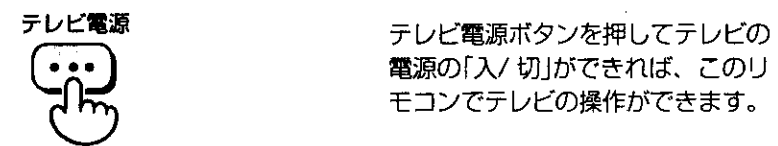
1 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタンの∨側を同時に押す



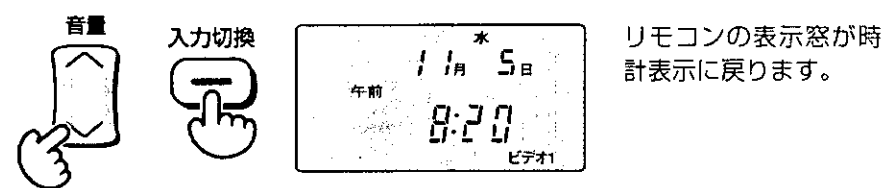
2 チャンネルボタンを押して、テレビのメーカーに合ったテレビコードを設定する



3 テレビ電源ボタンを押す



4 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタンの∨側を同時に押す



お知らせ

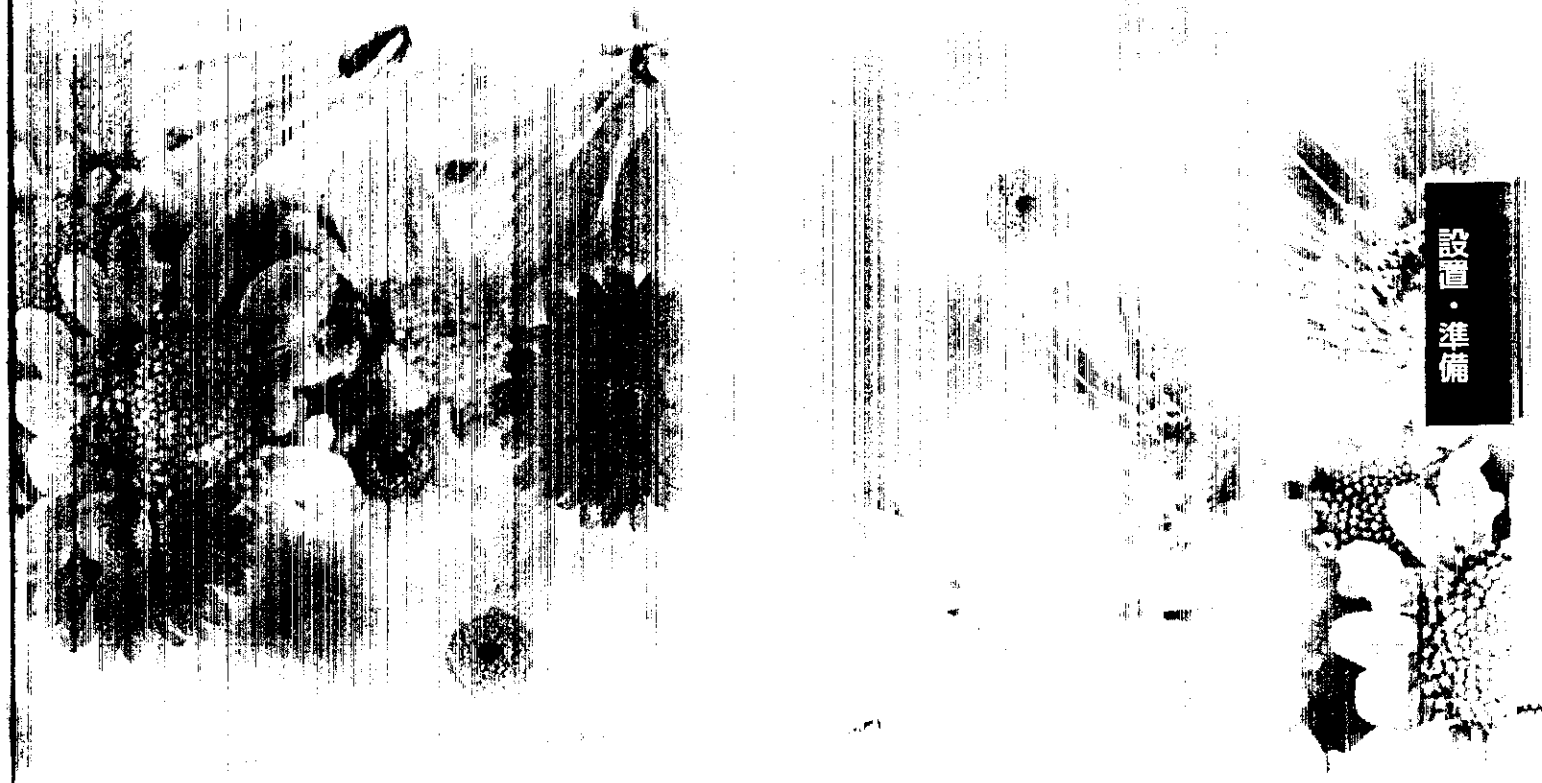
- 松下、サンヨー、シャープはテレビコードが2種類あります。松下、シャープは電源の「入/切」できるコードを選んでください。サンヨーはチャンネルボタンが正しく動くコードを選んでください。
- 数字ボタンでテレビチャンネルを選ぶことはできません。

便利な使いかた

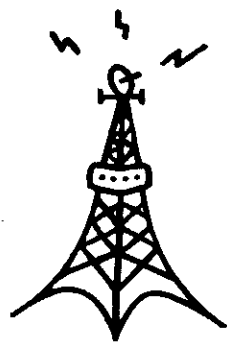


設置・準備編

ご自分で設置するには



設置・準備



設置を始める前に

ふつうのテレビ放送(VHF,UHF放送)を見たり録画するには、基本の設置・準備を行うだけでビデオをお使いになれます。それ以上の使いかたをするときは、接続する機器や目的に合わせて必要な設置や準備をしてください。

ふつうのテレビ放送
(VHF/UHF放送)を
見る・録画するとき

基本の設置・準備

- 1 ビデオにアンテナとテレビをつなぐ 84
- 2 (アンテナ端子だけのテレビをつないだときは)
ビデオ専用チャンネルを設定する 87
- 3 (テレビに映像・音声入力端子があるときは)
テレビとビデオを映像・音声コードでつなぐ 88
- 4 受信チャンネルを合わせる
チャンネルを設定する 90
チャンネルを飛ばす/元に戻す 92
チャンネルを微調節する 93
受信チャンネルの表示を変える 94
- 5 時計を合わせる 96

これでビデオが使えます。



CATV
ケーブルテレビ
見るとき

ケーブルテレビ
のチャンネルを
設定する 95



BS
衛星放送を
見るとき

BSアンテナを
つなぐ 98

BSアンテナ電源を
切り換える 99

BSアンテナの方向
を調整する 100



WOWOW
ワウワウ
WOWOWを
見るとき

BSデコードを
つなぐ 102

WOWOW(BS5チャ
ネル)を見るための
設定をする 104



日立製AV-BUS
テレビをつないだとき

イーファイバス
AV-BUSII端子と
つなぐ 106

テレビをコントロール
する 107



Hi-Vision
ハイビジョン放
送を見るとき

ミュージック
MUSE-NTSC内蔵の
ワイドテレビを
つなぐ 108

MUSE-NTSCコン
バータをつなぐ 110

ハイビジョン放送
(BS9チャンネル)を見る
ための設定をする 112

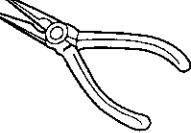
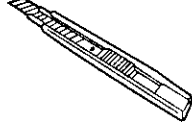
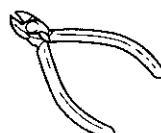
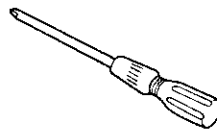
設置するときに必要な工具

● プラスドライバー

● ニッパ

● ナイフ

● ペンチ



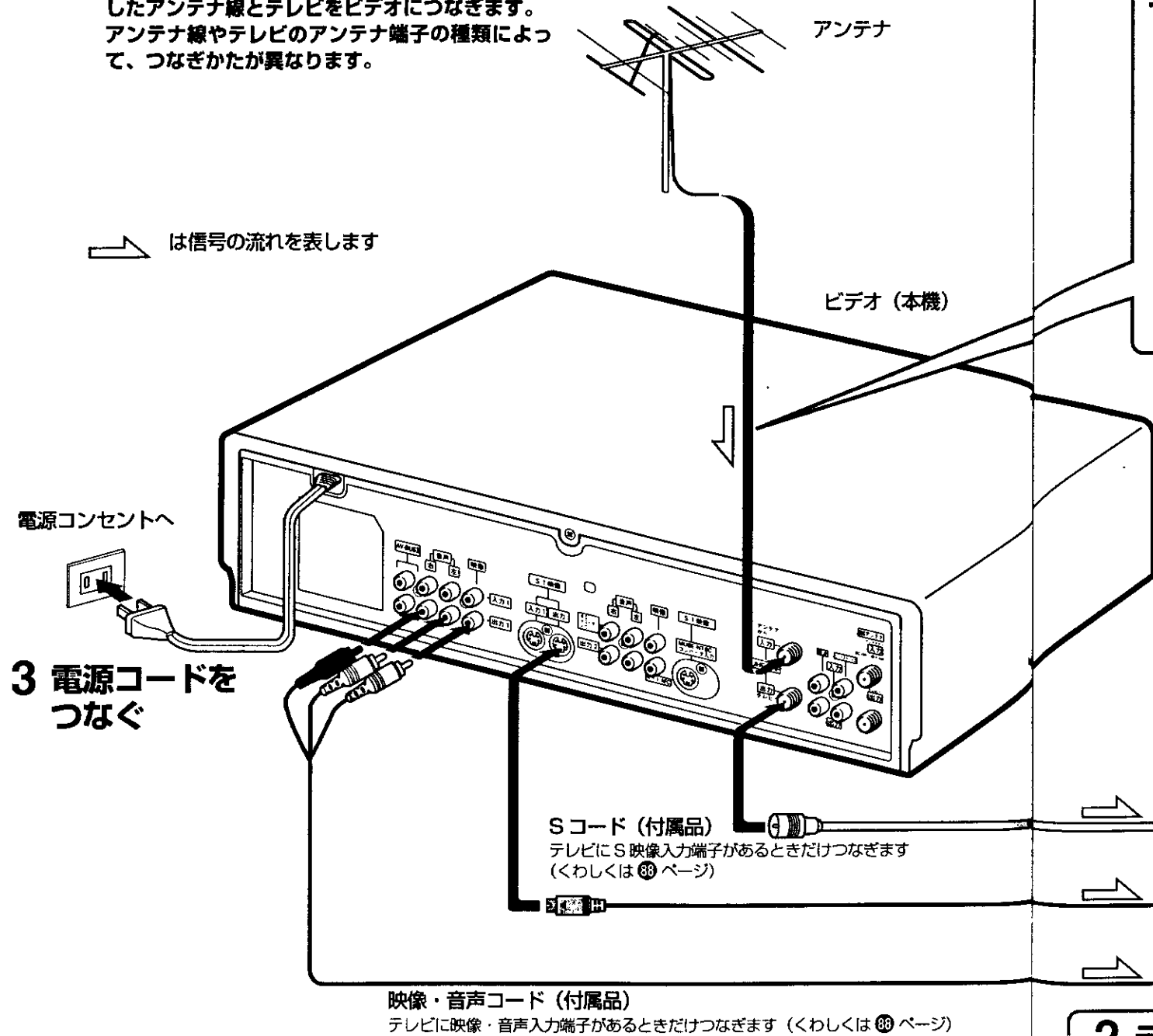


アンテナとテレビをつなぐ



テレビにつながつているアンテナ線ははずし、はずしたアンテナ線とテレビをビデオにつなぎます。アンテナ線やテレビのアンテナ端子の種類によって、つなぎかたが異なります。

➡ は信号の流れを表します



3 電源コードをつなぐ

Sコード (付属品)
テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます (くわしくは 86 ページ)

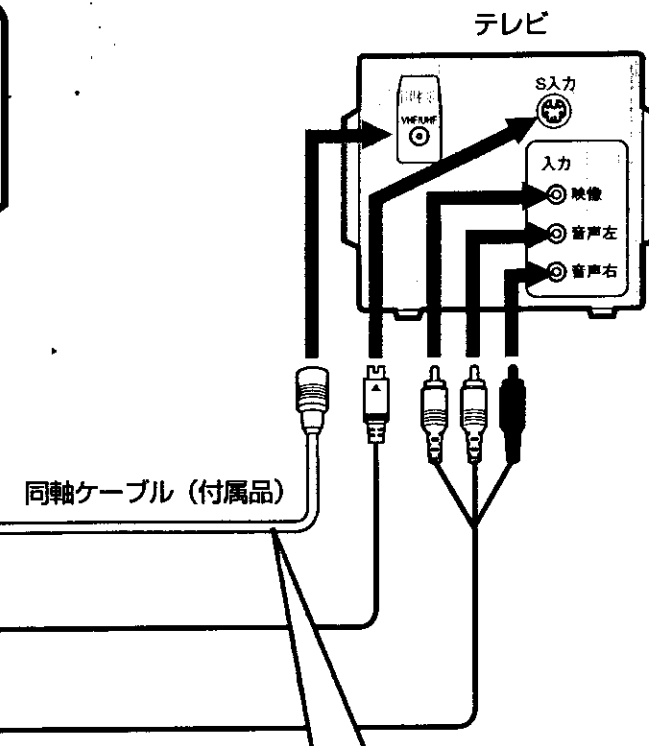
映像・音声コード (付属品)
テレビに映像・音声入力端子があるときだけつなぎます (くわしくは 86 ページ)

接続に使う部品 — 必要に応じてお使いください。

- 同軸ケーブル (付属品)
- マッチングアダプター VT-BF11086 (別売品)
- 分波器VT-BF11096 (別売品)
- 混合器VT-MIX1 (別売品)
- ブースター(別売品)
電波が弱い地域でテレビの映りが悪いときにおすすめします。

1 アンテナ線をつなぐ — アンテナ線の種類によってつなぎかたが異なります。

- UHF/VHF混合またはVHF単独のアンテナ線 (プラグ付き)
そのままつなぎます
- VHFとUHFが別々のとき
混合器を取り付けます
- VHF単独のアンテナ線 (先バラ)
マッチングアダプターを取り付けます (くわしくは 86 ページ C)
- UHF単独のアンテナ線 (フィーダー線)
マッチングアダプターを取り付けます



ご注意
分波器をお使いの場合は、UHF放送しか受信しない方も必ず、VHF、UHFの両方の端子に接続してください。

2 テレビのアンテナ端子とつなぐ

付属の同軸ケーブルを使ってつなぎます。アンテナ端子の種類によってつなぎかたが異なります。

- UHF/VHF端子のとき
そのままつなぎます
- UHF/VHF端子が別々のとき
分波器を取り付けます (くわしくは 86 ページ A、B)
- VHFとUHF端子が別々でVHF端子がネジ式のとき
分波器を取り付けます。プラグを切る (くわしくは 86 ページ A、B)

設置・準備

アンテナとテレビをつなぐ (つづき)

ケーブル先端の加工の仕方や、分波器やマッチングアダプターに同軸ケーブルを取り付ける方法を説明します。

A 分波器の先端の加工

<p>1 黒いビニール線にすじを入れ、切り取る</p> <p>黒いビニール線</p> <p>約12 mm</p>	<p>2 網線を折り返す</p> <p>網線</p> <p>12 mm</p>	<p>3 白いビニール線に切り込みを入れ、切り取る</p> <p>白いビニール線</p> <p>約8 mm</p>	<p>4 芯線を出す</p> <p>芯線</p> <p>10 mm 4 mm 8 mm</p>
---	--	--	--

B 分波器(別売品、VT-BF11 096)に同軸ケーブルを取り付ける

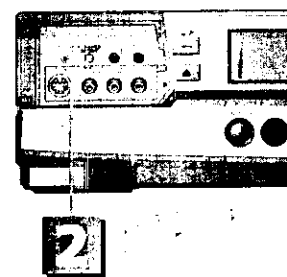
<p>1 つめを開きながらふたを外す</p> <p>つめ</p> <p>ふた</p>	<p>2 同軸ケーブルの芯線を差し込み、しっかりと取り付ける</p> <p>芯線</p> <p>ペンチでしめる</p>	<p>3 ふたを元通りに付ける</p>
---	--	----------------------------

C マッチングアダプター(別売品、VT-BF11 086)に同軸ケーブルを取り付ける

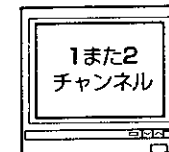
<p>1 つめを開きながらふたを外す</p>	<p>2 接続線を端子から外し、プラスチックにはさむ</p> <p>端子から外す</p> <p>接続線</p> <p>プラスチック</p>
<p>3 同軸ケーブルを差し込み、しっかりと取り付ける</p> <p>芯線ははさみ込んで巻き付ける</p> <p>端子</p> <p>ペンチでしめる</p>	<p>4 ふたを元通りに付ける</p>

ビデオ専用チャンネルを設定する

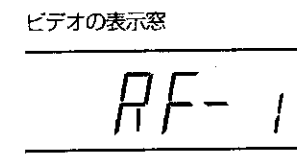
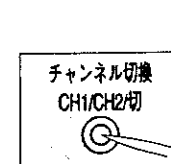
映像・音声入力端子のないテレビをアンテナ線だけでつないだときは、ビデオチャンネルの設定が必要です。ビデオで選んだ番組を見るときや、テープを再生するときは、テレビのチャンネルをこのビデオチャンネルに合わせてください。



1 テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル(1または2)を選ぶ

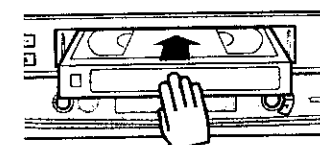


2 チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、テレビで選んだチャンネルを出す



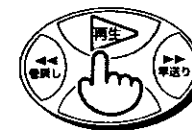
- ボタンを押すたびに「RF-1」(1チャンネル)→「RF-2」(2チャンネル)→「RF-OFF」(切)の順に出ます。
- ここで選んだチャンネルがビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)になります。

3 録画済みのテープを入れる



自動的に電源が入ります。

4 再生ボタンを押す



再生が始まります。映像と音声が出れば、ビデオチャンネルが正しく設定されています。

ビデオの再生画が映らないとき

- アンテナ線の接続を確認してください(84ページ)。
- テレビのビデオチャンネルを合わせ直してください。

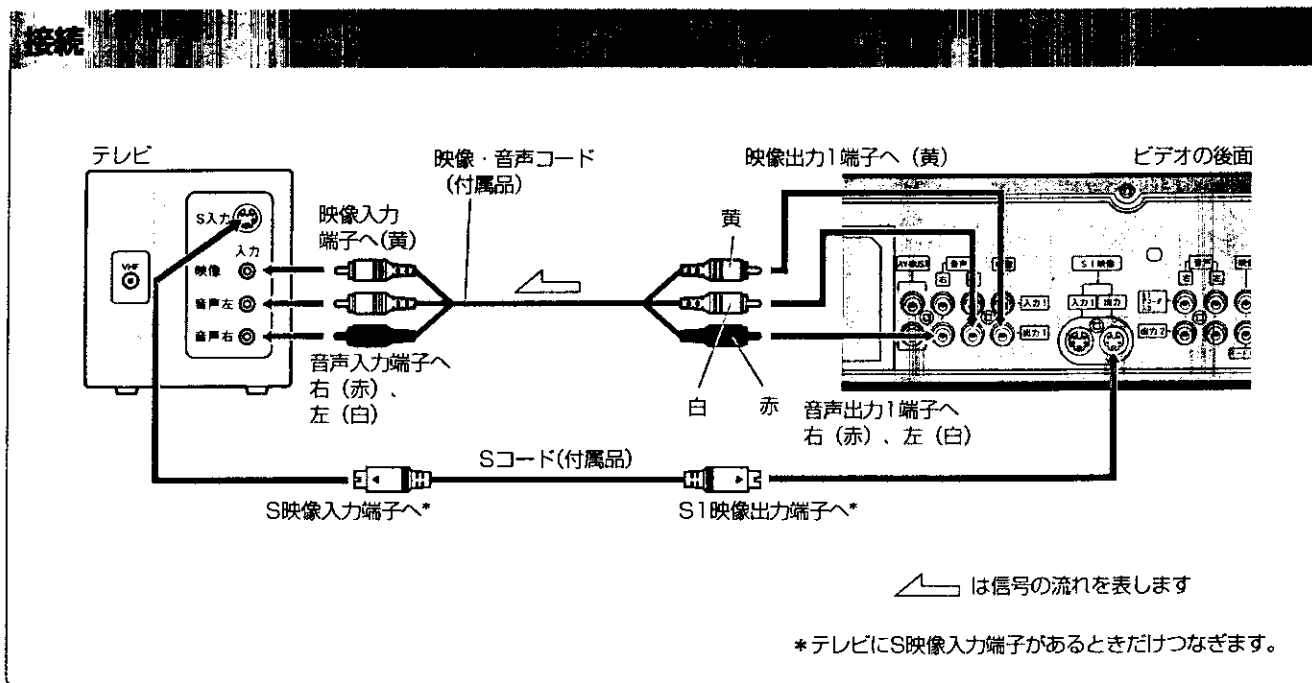
設置・準備

映像・音声入力端子つきテレビをつなぐ

映像・音声入力端子の付いているテレビでは、映像・音声コードを接続すると、よりよい画質、音質で楽しめます。アンテナ線をビデオに接続してから(88ページ)、次のように映像・音声コードを接続してください。

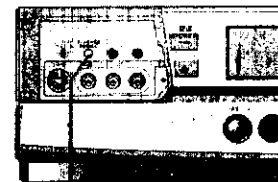
重要

接続するときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

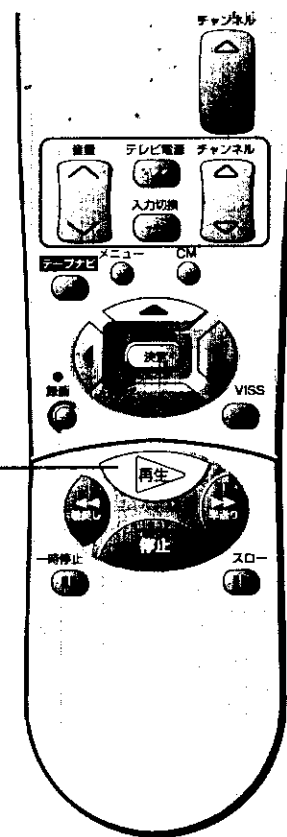


重要

テープが入っていると正しく接続できたか確かめることができません。テープを取り出してから操作を始めてください。



2



4

接続が終わったら

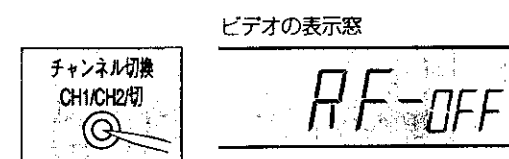
正しく接続できたか確かめます。

1 ビデオとテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする



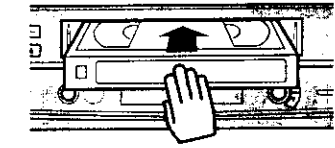
テレビの入力切換を「ビデオ」にすると、ビデオで選んだ番組がテレビに映ります。

2 チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、「RF-OFF(切)」を出す

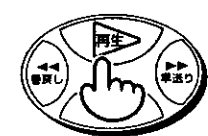


「RF-OFF(切)」を選ぶと、録画しながら別の番組を見ると、ビデオ/テレビ切換ボタンを押さなくても、テレビで見たいチャンネルを選ぶことができます。

3 録画済みのテープを入れる



4 再生ボタンを押す



再生が始まります。映像と音声が出れば、ビデオとテレビが正しく接続されています。

お知らせ

ビデオで選んだ番組がテレビに映らないとき
●映像・音声コードの接続を確かめてください(88ページ参照)。

設置・準備



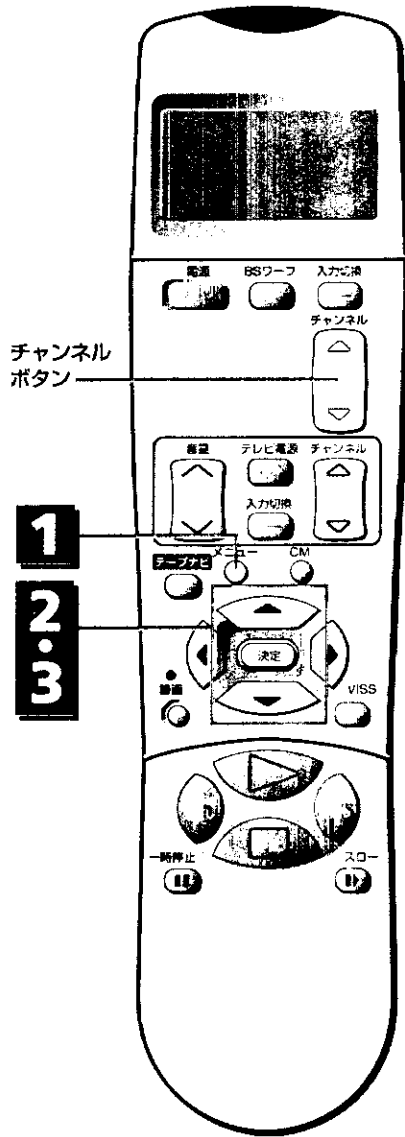
受信チャンネルを合わせる

お住いの地域により(たとえば東京と大阪、あるいは北海道と九州では)、受信できるチャンネルが違います。

このため、お住いの地域に合わせてビデオの受信チャンネルを合わせる必要があります。オートチャンネル設定を行うと、お住いの地域で受信できるチャンネルがすべて、自動的に設定できます。

重要

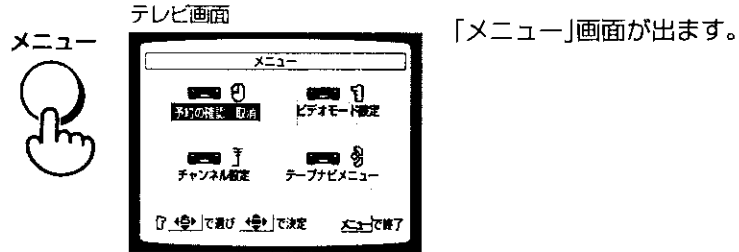
アンテナとテレビが正しく接続されているか、確かめてください。



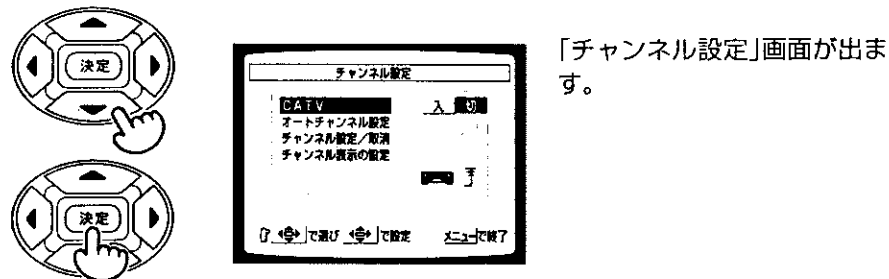
チャンネルを設定する(オートチャンネル設定)

- テレビで**
 - ・テレビの電源を入れる
 - ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで**
 - ・ビデオの電源を入れる

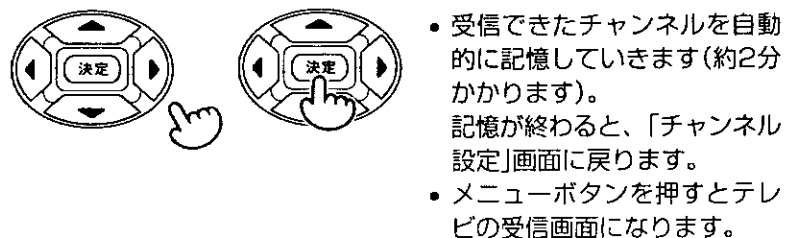
1 メニューボタンを押す



2 ▼ボタンを押して「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



3 ▼、▲ボタンを押して「オートチャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



お知らせ

- 工場出荷時は、VHF放送の1~12チャンネルと衛星放送の1、3、5、7、9、11、13、15チャンネルが受信できるように調整されています。

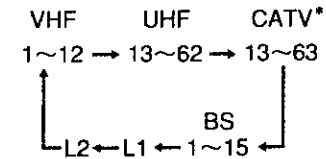


オートチャンネル設定が終わったら

チャンネルボタンを押して、映るチャンネルを確認します。



- ・ボタンを押すたびに、設定されたチャンネルがテレビに映ります。
- ・チャンネルボタンの△側を押すと、次の順にチャンネルが変わります。▽側を押すと逆の順に変わります。



*CATVチャンネルを設定したとき表示される(93ページ参照)

■ 放送のないチャンネルが設定されているとき

電波状態によっては、放送のないチャンネルが設定されることがあります。不要なチャンネルは飛ばすことができます(92ページ参照)。

■ チャンネルの表示がテレビ番組表の数字と合わないとき

チャンネルの表示を、テレビ番組表と同じ数字に変えることができます(94ページ参照)。

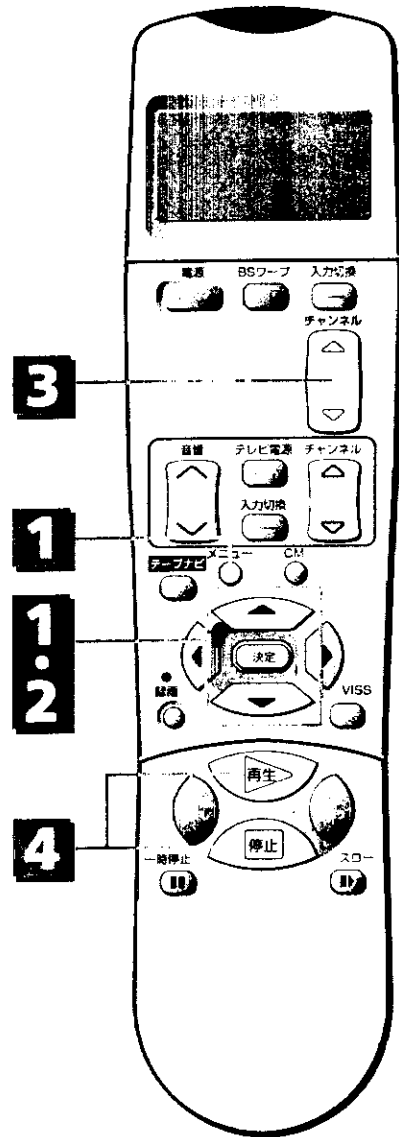
お知らせ

チャンネルが1つも設定されなかったり、画がきれいに映らないとき

- アンテナ線の接続を確認してください(84ページ参照)。

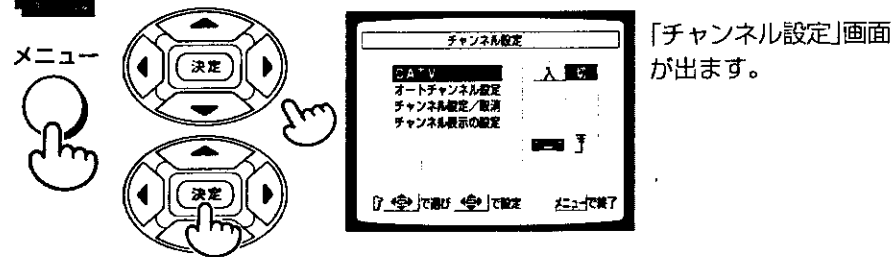
受信チャンネルを合わせる (つづき)

オートチャンネル設定をすると、放送のないチャンネルや、電波が弱いチャンネル、妨害が入るチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛ばしたり、元に戻したり、また、受信状態を微調節したりすることができます。チャンネルを飛ばすときは、あらかじめ不要なチャンネルをメモしておく、便利です。

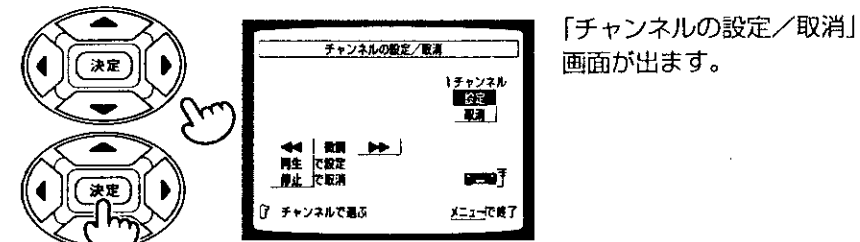


チャンネルを飛ばす/元に戻す

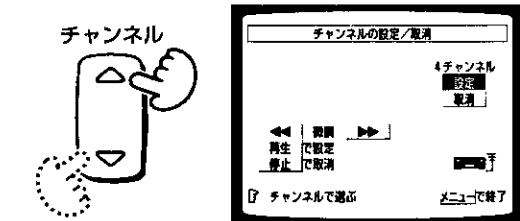
1 「メニュー」画面を出し、「チャンネル設定」を選ぶ



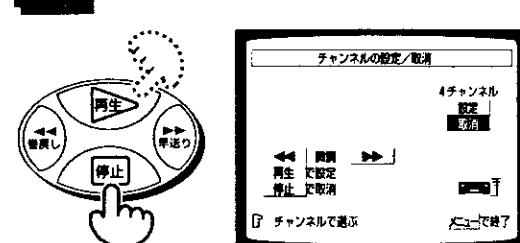
2 ▼、▲ボタンで「チャンネル設定/取消」を選び、決定ボタンを押す



3 飛ばしたいチャンネル、または元に戻したいチャンネルを選ぶ



4 停止ボタン、または再生ボタンを押す



- チャンネルを飛ばすときは停止ボタン、元に戻すときは再生ボタンを押します。
- これで、飛ばしたチャンネルはチャンネルボタンで選べなくなります。
- 続けて他のチャンネルも飛ばすときは、**3**、**4**を繰り返します。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

外部入力を飛ばすとき

- 入力切替ボタンを押すと、外部入力(L1、L2)が選ばれます。チャンネルの場合と同様に、外部入力を飛ばしたり、元に戻したりすることができます。

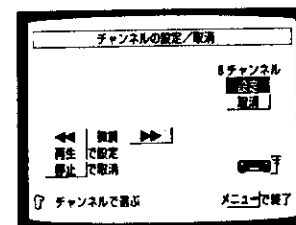


チャンネルを微調節する

1 映りの悪いチャンネルを選ぶ

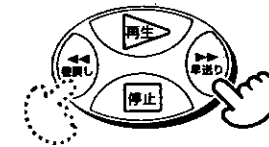


2 「チャンネルの設定/取消」画面を出す



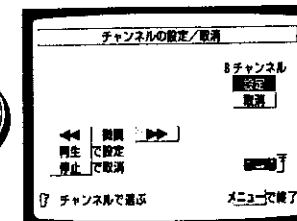
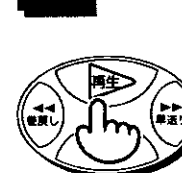
前ページ**1**、**2**の操作をしてください。

3 画像を見ながら早送り、巻戻しボタンで調節する



一度、早送りまたは巻戻しボタンを押すと画像が出ます。画像が最もよく映るように調節してください。

4 再生ボタンを押す



- これで、微調節ができました。
- 続けて他のチャンネルも微調節したいときは、**1**～**4**を繰り返してください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

受信チャンネルを合わせる (つづき)

お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。このとき、次のようにして、数字を合わせることができます。



- 衛星放送やケーブルテレビのチャンネル表示を変えることはできません。
- 録画、再生中に外部入力(L1またはL2)が選んであるときは、**2** の操作をしても「チャンネル表示の設定」画面を出すことはできません。

受信チャンネルの表示を変える

①②③④ チャンネル表示「60CH」を「4CH」に変えたいとき

1 「メニュー」画面を出し、「チャンネル設定」を選ぶ

「メニュー」画面を出し、「チャンネル設定」画面を出す。

● 「チャンネル設定」画面が出ます。

● 衛星放送受信中は「チャンネル表示の設定」の代わりに「BSレベル デコーダ設定」が表示されます。衛星放送以外のチャンネルに切り換えてください。

2 ▼、▲ボタンで「チャンネル表示の設定」を選び、決定ボタンを押す

「チャンネル表示の設定」画面が出ます。

3 表示を変えたいチャンネルを受信する

例：受信CH「60」

4 0～9ボタンで表示したい数字を選ぶ

● メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

● 修正するときは、数字ボタンで正しい数字を入れ直してください。

● 続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、**3**、**4** を繰り返してください。

例：CH表示「04」

ケーブルテレビ(CATV)をご使用のとき

ケーブルテレビのチャンネルを設定する

このビデオはVHF放送(1～12チャンネル)、UHF放送(13～62チャンネル)のほかにCATV(13～63チャンネル)の受信が可能です。CATVチャンネルは次のように設定します。

- ⑨ページの**1**、**2**の操作で「チャンネル設定」画面を出す
- ◀ボタンを押して「CATV」を「入」にする
- 「チャンネルを設定する」(⑨ページ)に従ってオートチャンネル設定する
VHFチャンネル(1～12) → UHFチャンネル(13～62) → CATVチャンネル(C13～C63)の順で、CATVも設定されます。

ケーブルテレビのチャンネルを設定したとき

ケーブルテレビチャンネルを設定したとき、チャンネルボタンを使うと全部のチャンネルが選局できますが、リモコンの0～9ボタンで13～63チャンネルを選ぶとケーブルテレビが選局され、UHF放送の13～62チャンネルは選局できなくなります。リモコンの0～9ボタンで全部のチャンネルを選局するには、前ページの**1**～**4**の操作で、UHF放送のチャンネル表示を空いているチャンネルの数字に変えてください。

①②③④ UHF放送の18チャンネルの表示を、空きチャンネル9に変えるには

1 ⑨ページの**1**、**2**の操作で「チャンネル表示の設定」画面を出す

2 チャンネルボタンでUHF18チャンネルを選ぶ

チャンネル

3 0～9ボタンで9チャンネルを選ぶ

4 メニューボタンを押す

これで、0ボタン、9ボタンと押すと、UHF18チャンネルが選局できます。

お知らせ

ケーブルテレビの受信契約について

● ケーブルテレビを受信するには、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との加入手続きが必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、アダプターが必要になります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。ケーブルテレビの受信はサービスの行われている地域のみ受信可能です。

● お住いの地域によっては、0～9ボタンで全部のチャンネルを選局できないことがあります。

ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき

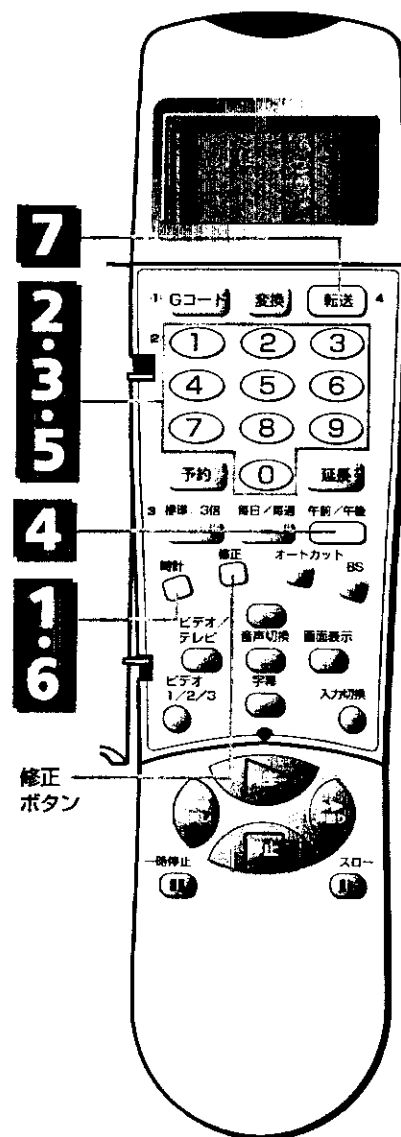
「CATV」の設定が「入」になっているとき、UHF放送のタイマー録画はできません。UHF放送の番組をタイマー録画するときは、「ケーブルテレビのチャンネルを設定したとき」で変更したチャンネル番号で予約してください。

時計を合わせる

はじめにリモコンの時計を合わせたあと、ビデオの時計を合わせてください。

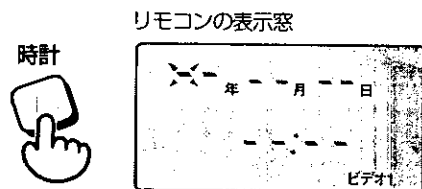


操作を約1分以上中断すると、リモコンの時計設定表示は消えます。このときは、もう一度時計ボタンを押してやり直してください。



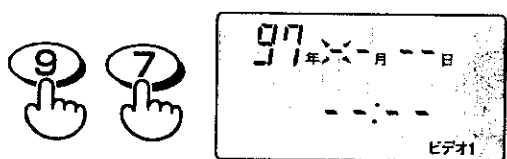
①②③④ 西暦1997年11月5日午前8時20分に合わせるとき

1 時計ボタンを押す



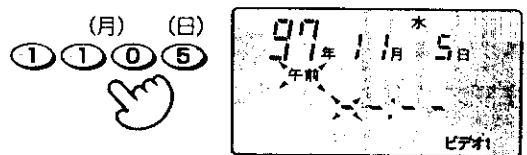
年「-」が点滅します。

2 年を西暦で合わせる



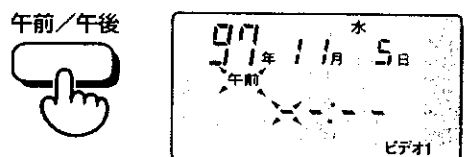
- 西暦の下2けたを合わせてください。
- 2000年は00に合わせてください。

3 月・日を合わせる



- ひとけたの数字を合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。
- 曜日は自動的に設定されます。

4 午前・午後を合わせる



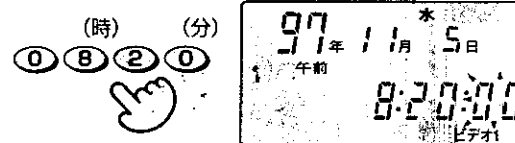
押すたびに「午前」と「午後」が切り換わります。

お知らせ

時計を合わせている途中で修正するとき

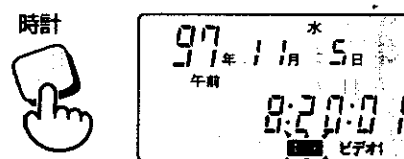
- 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで点滅を戻してから修正してください。

5 時刻を合わせる



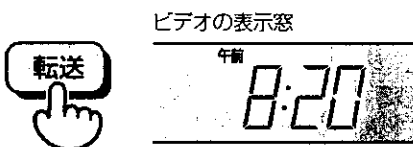
ひとけたの数字を合わせる時は、初めに0ボタンを押してください。

6 時報などに合わせて時計ボタンを押す



- 時計ボタンを押すと、リモコンの時計がスタートします。
- 転送が点滅します。

7 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



- ビデオの時計がスタートします。
- 転送したら、リモコンのふたを閉じてください。

時計を修正する

■ リモコンの時計の修正

電池を換えたときや、一度合わせた時計を修正したいとき、次のようにリモコンの時計を合わせ直してください。

- 1 時計ボタンを押して時計を表示させる。
- 2 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところを点滅させる。
- 3 手順 ② ~ ⑤ を参考にして、日付または時刻を修正する。
- 4 時計ボタンを2回押す。

■ ビデオの時計の修正

60分以上の停電があると、ビデオの時計が「--:--」になります。このときは、次のようにリモコンの時計をビデオに転送してください。

- 1 時計ボタンを押して、リモコンの表示窓に「転送」を点滅させる。
- 2 転送ボタンを押す。

お知らせ

時計を正確に合わせるには (ジャストクロック)

このビデオには、時計を正確に合わせるジャストクロック機能が付いています。ジャストクロックを使うには、「ビデオモード設定」の「オート時計設定」を「入」にしてください (64 ページ参照)。

ジャストクロックは、1日に1、2回(午前7時、午後0時)、NHK教育テレビまたはNHK総合テレビの時報を受信して、自動的にビデオの時計を修正します。

次のような場合、ジャストクロックは動きません。

- ビデオの時計が現在時刻と3分以上ずれているとき
- 時報の時刻にビデオの電源が入っているとき
- ビデオの受信チャンネルにNHK教育テレビおよびNHK総合テレビが設定されていないとき
- 初めてジャストクロック機能が動いたとき、NHK教育テレビまたは、NHK総合テレビを選ぶまで時間がかかり、数回、時計を修正できないことがあります。

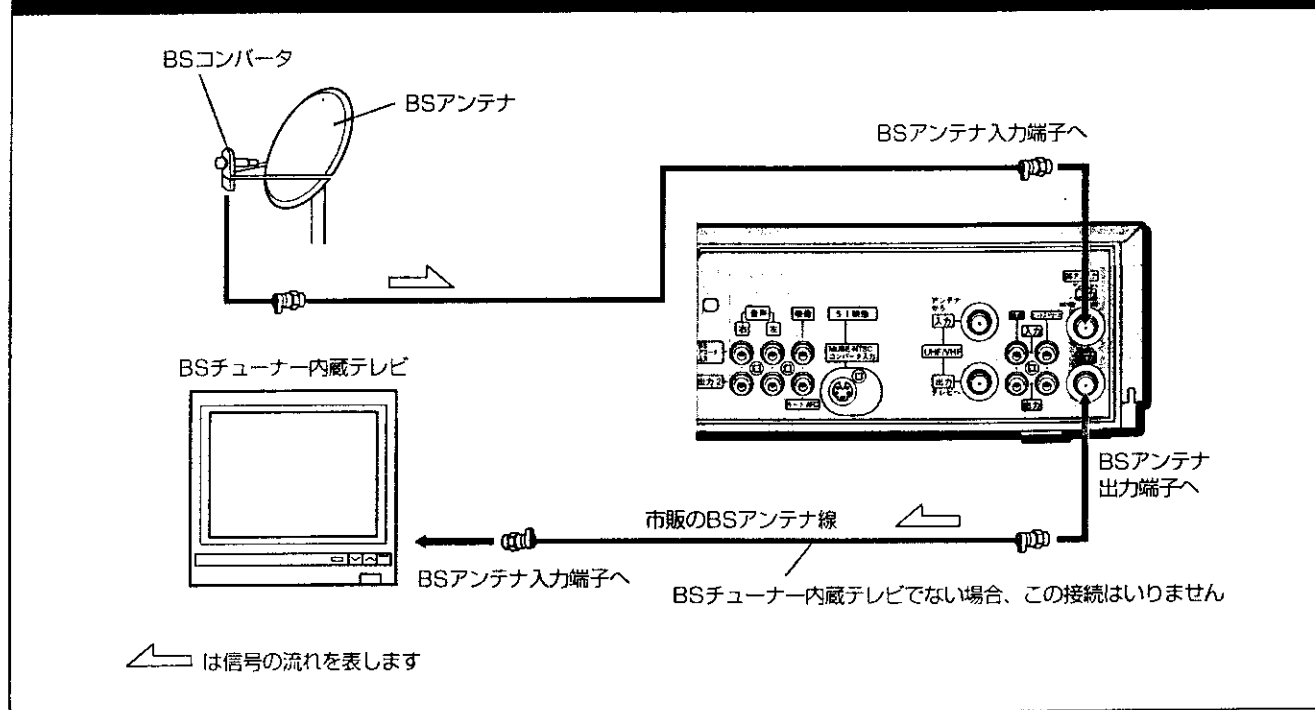
BSアンテナをつなぐ

衛星放送を楽しむとき、BSアンテナを接続します。
BSアンテナをつないでから、⑨ページをご覧ください。BSアンテナ電源を切り換えてください。
そのあと、⑩ページをご覧ください。BSアンテナの方向を調整してください。

重要

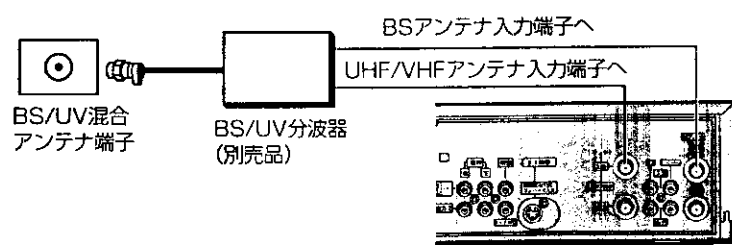
- 衛星放送は電波が微弱なため、アンテナやBSコンバータの正確な調整が必要です。できるだけ、販売店へ据付けを依頼することをおすすめします。
- BSアンテナを接続するときは、安全のため必ずビデオの電源を切ってください。

BSアンテナをつなぐ



■ マンションなど共聴アンテナを使うとき

衛星放送とUHF/VHF放送が1本の線にまとめて、各部屋に送られていることがあります。この場合は、BS/UV分波器(別売品)が必要です。



BSアンテナ電源の切り換えは、BSコンバータへの電源供給(+15V)をコントロールするための設定です。接続に合わせてBSアンテナ電源を切り換えてください。

BSアンテナ電源を切り換える

テレビで

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

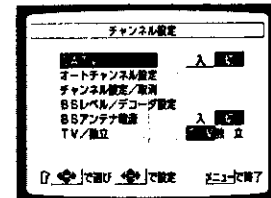
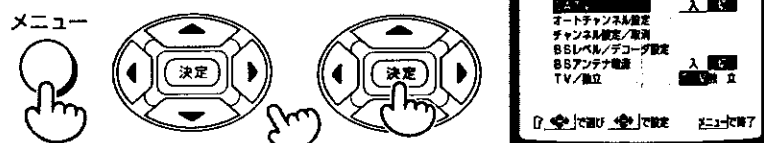
ビデオで

- ビデオの電源を入れる

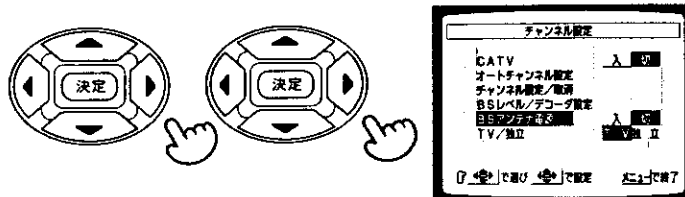
1 BS7かBS11チャンネルを選ぶ



2 「メニュー」画面を出し、「チャンネル設定」を選ぶ



3 ▼、▲ボタンで「BSアンテナ電源」を選び、◀、▶ボタンで「入」または「切」にする



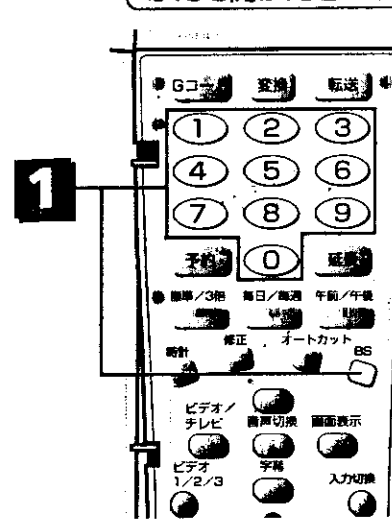
工場出荷時は、「BSアンテナ電源」は「切」に設定されています。

BSアンテナ電源	BSアンテナの接続	電源供給
入	このビデオ専用のBSアンテナを接続しているとき	ビデオの電源が切れても、常にBSコンバータに電源が供給される
切	テレビ共同受信設備(マンションなど)のアンテナ引き込み線を接続しているとき	このビデオからはBSコンバータに電源を供給しない

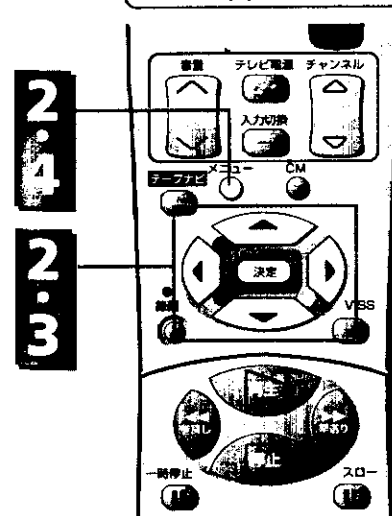
4 メニューボタンを押す



ふたを開けたところ



ふたを閉じたところ



お知らせ

1台のBSアンテナを他の機器と共有しているときは

- 本機のBSアンテナ電源の切り換えを「入」にしたなら、他のBS受信機は「切」に設定してください。

設置・準備

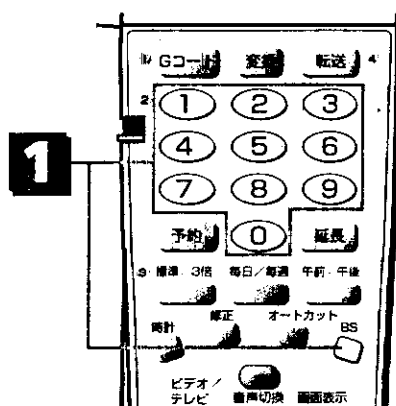
BSアンテナをつなぐ(つづく)

BSアンテナの向きは正確な調整が必要です。
できるだけ据付けは販売店に依頼することをおすすめします。ご自分で据付けるときは、次のように調整してください。



- BSアンテナ、テレビ、ビデオが正しく接続されているか確かめてください。
- BSアンテナの据付けについては、BSアンテナの取扱説明書をご覧ください。

ふたを開けたところ



BSアンテナの方向を調整する



- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切替を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

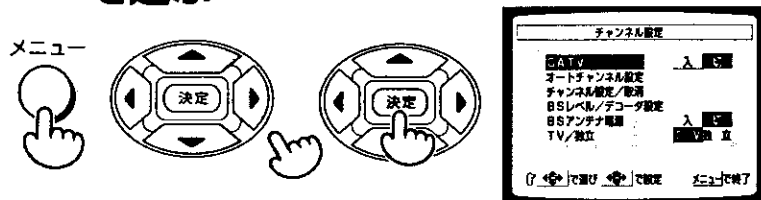


- ビデオの電源を入れる
- BSアンテナ電源の設定を正しく切り換える(99ページ参照)

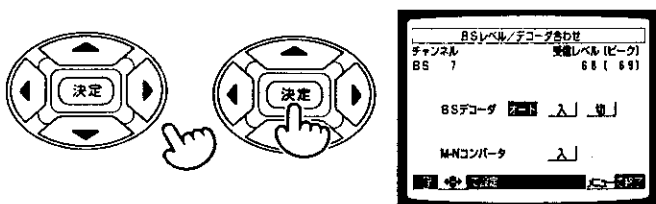
1 BS7かBS11チャンネルを選ぶ



2 「メニュー」画面を出し、「チャンネル設定」を選ぶ

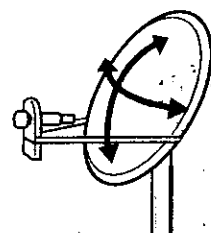


3 ▼、▲ボタンで「BSレベル/デコーダ設定」を選び、決定ボタンを押す



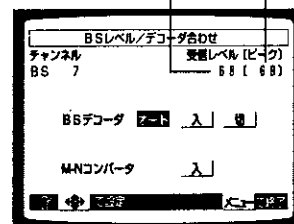
BSアンテナの受信レベルが表示されます。

4 アンテナの向きを調整する



この数字がピーク値と同じかそれ以上になるように向きを調節する

それまでのピーク値



- テレビの映りを見ながら、数値が最大になるように調整してください。一度上下、左右いっぱいアンテナを動かして受信レベルのピーク値を見つけ、その位置に合わせるのがコツです。
- 左のイラストの受信レベルは、説明のための数字です。

5 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

お知らせ

アンテナ受信レベルについて

- 受信レベルはアンテナの大きさや種類、また雨や雪などの気象条件に影響を受け、数値は時間によって増えたり、減ったりすることがあります。画面がきれいに映るように調整すれば大丈夫です。
- アンテナによっては、オートチャンネル設定したあと微調節をしないと、映像がきれいに映らないことがあります。99ページを参照のうえ、微調節をしてください。

お知らせ

チャンネル設定画面について

- BSチャンネル以外を選んだ状態でチャンネル設定画面を出すと、「BSレベル/デコーダ設定」の項目の代わりに「チャンネル表示の設定」が出ます。BSチャンネルを選んでください。

ワウワウ
WOWOW (BS5チャンネル) を楽しむ

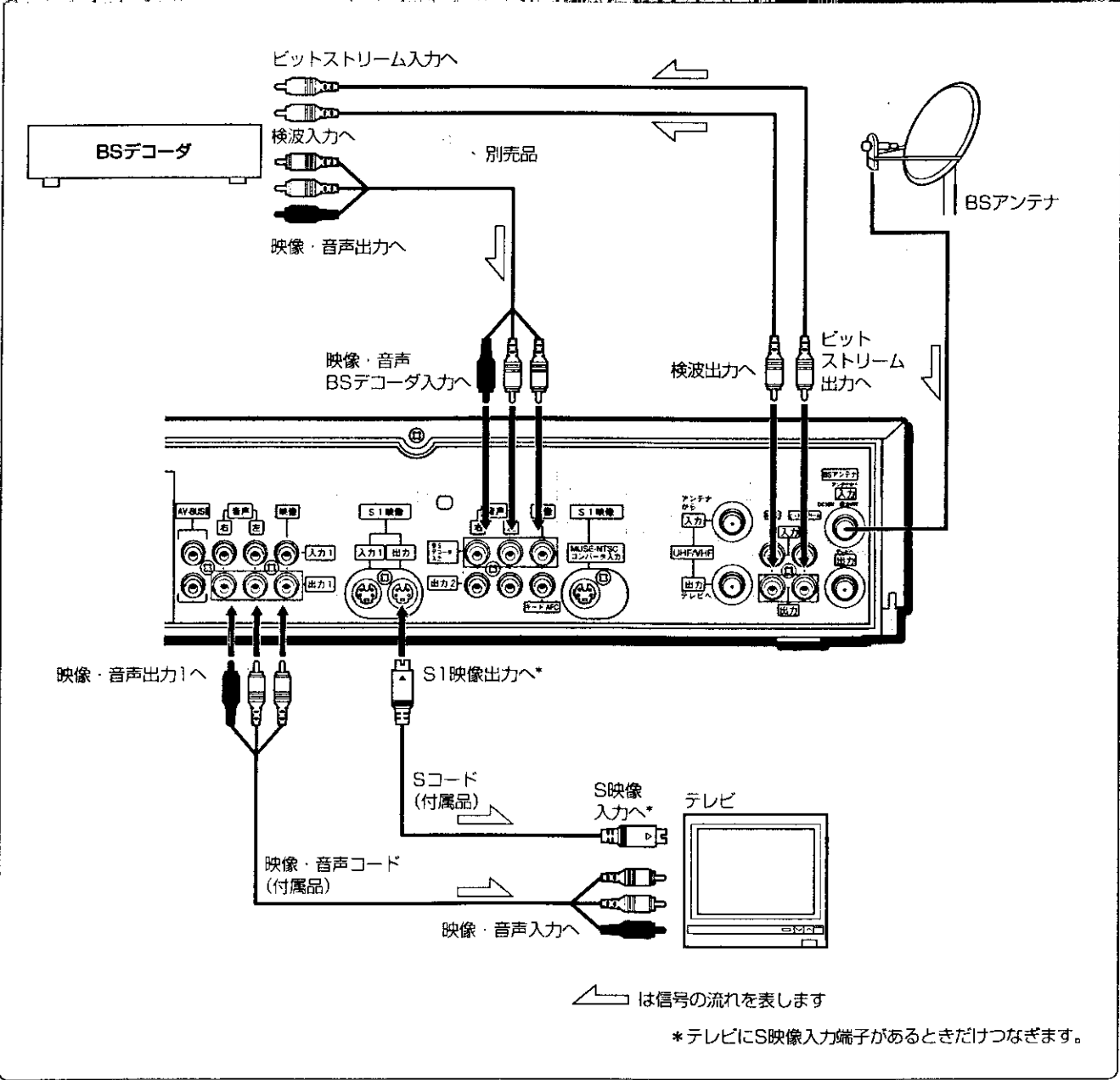
有料放送のWOWOW(BS5チャンネル)を見るには、JSB(日本衛星放送株式会社)との受信契約と専用のBSデコーダが必要です。



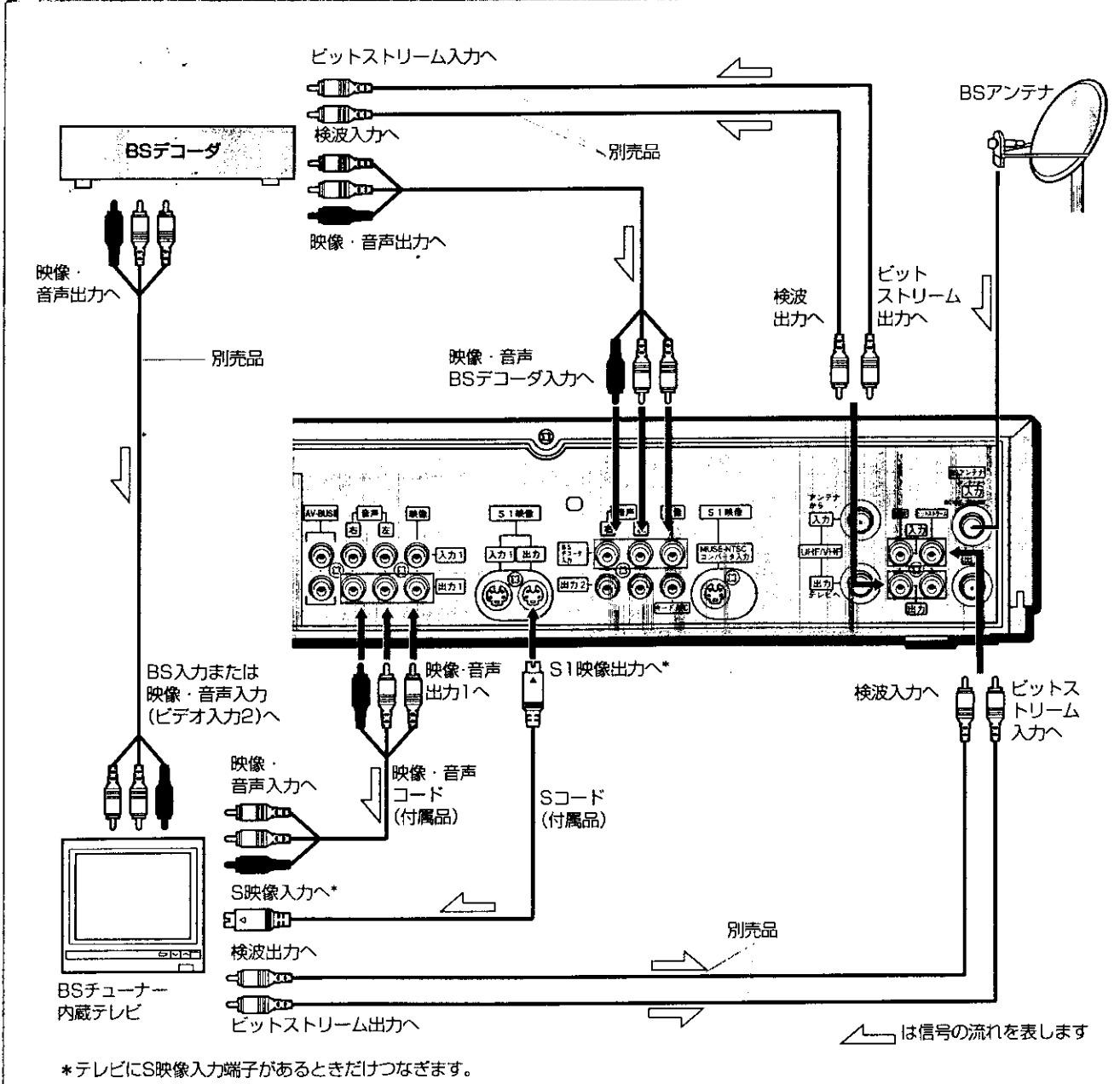
VHF/UHFアンテナの接続については84～85ページ、BSアンテナの接続については93ページをご覧ください。

BSデコーダをつなぐ

ふつうのテレビ(BSチューナーを内蔵していないテレビ)との接続



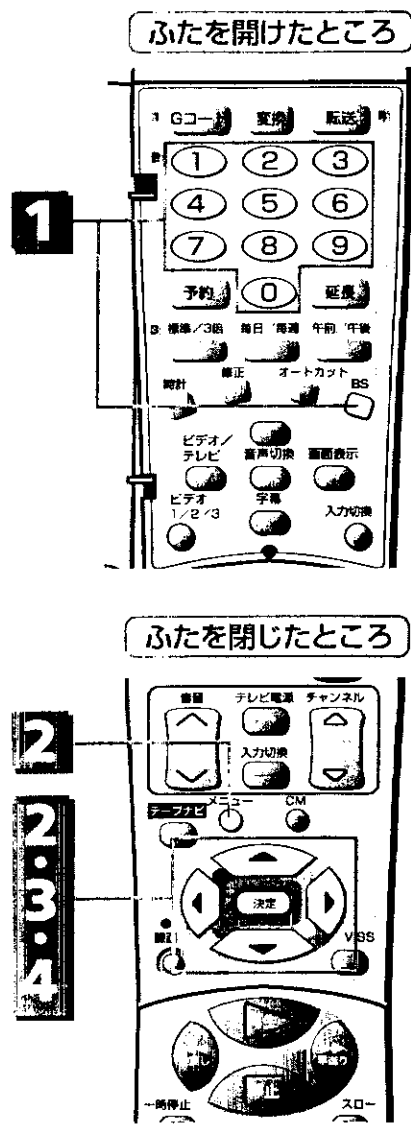
BSチューナー内蔵テレビとの接続



設置・準備

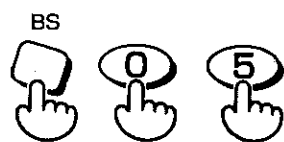
WOWOW(BS5チャンネル)を楽しむ(つづき)

本機にBSデコーダを接続してBS5チャンネルを選ぶと、スクランブルが解除された映像を見ることができます。もし、画が乱れていたり、きれいに映らないときは、次の設定をしてください。

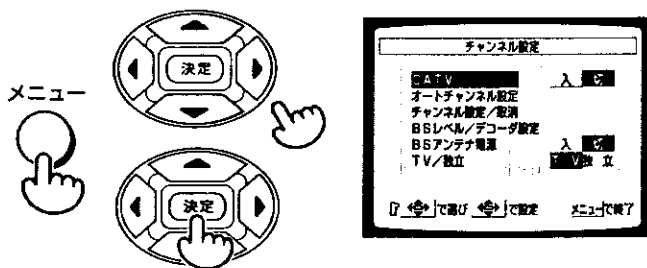


WOWOW(BS5チャンネル)を見るための設定

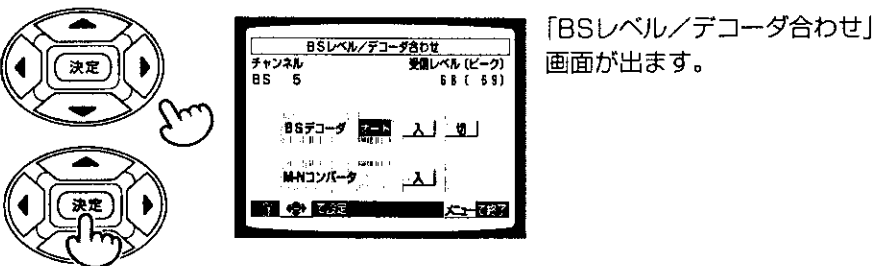
1 BS5チャンネルを選ぶ



2 「メニュー」画面を出し、「チャンネル設定」を選ぶ



3 ▼、▲ボタンで「BSレベル/デコーダ設定」を選び、決定ボタンを押す



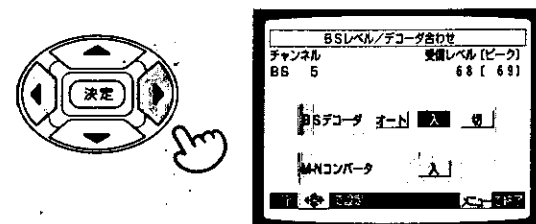
お知らせ

チャンネル設定画面について
● BSチャンネル以外を選んだ状態でチャンネル設定画面を出すと、「BSレベル/デコーダ設定」の項目の代わりに「チャンネル表示の設定」が出ます。BSチャンネルを選んでください。

重要

「BSデコーダ」「入」を選んだときは、必ずBSデコーダの電源を入れてください。BSデコーダの電源が切れていると、BS5チャンネル以外のBSチャンネルを見ることができません。

4 ◀、▶ボタンを押して「BSデコーダ」を「入」にする



メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。

WOWOW(BS5チャンネル)を見る

1 ビデオの電源を入れ、BS5チャンネルを選ぶ



2 BSデコーダの電源を入れる

BS5チャンネルの画が映ります。番組を見ながら録画するときは、ビデオの録画ボタンを押してください。

ビデオでNHKのBS放送(BS7、BS11チャンネル)を録画しながら、WOWOW(BS5チャンネル)を見る(BSチューナー内蔵テレビのみ)

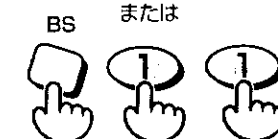
1 ビデオでBS7またはBS11チャンネルを選ぶ



2 ビデオの録画ボタンを押す

録画が始まります。

3 BSデコーダの電源を入れる



4 BSチューナー内蔵テレビでBS5チャンネルを選ぶ

テレビにBS5チャンネルの画が映ります。ビデオの電源を入れずにBS5チャンネルをご覧になるときは、3、4の操作をしてください。

お知らせ

BS5チャンネルをタイマー録画するとき

● タイマー予約したあと、BSデコーダの電源を入れてたままにしてください。

セントギガ St. GIGAを聞くには

● St. GIGAは、SDAB(衛星デジタル音楽放送(株))の有料独立音声放送です。St. GIGAを聞くにはSDABとの受信契約が必要です。

St. GIGAを聞くとき

- 1 ビデオでBS5チャンネルを選ぶ。
- 2 BSデコーダの電源を入れる。
- 3 BSデコーダの音声選択ボタンで「独立音声」を選ぶ。



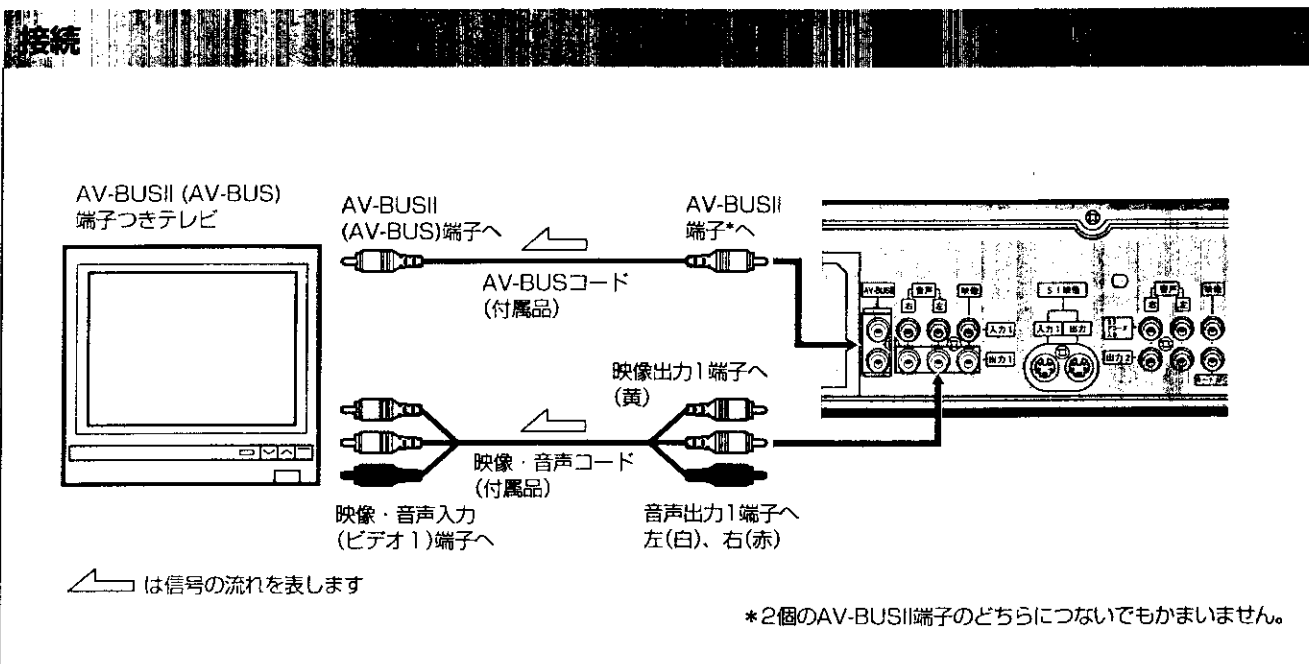
AV-BUSII端子を使う

日立製のテレビには、AV-BUSII(AV-BUS)端子がついているものがあります。これらの端子とビデオのAV-BUSII端子をつなぐと、ビデオの操作に応じてテレビの電源や入力を自動的に切り換えることができます



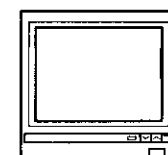
- AV-BUSII端子を使うときは、ビデオのチャンネル切換ボタンを必ず「RF-OFF」にしてください(89ページ参照)。
- AV-BUSII端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。

AV-BUSII 端子とつなぐ



テレビをコントロールする

1 テレビの電源を「入」または「スタンバイ」にする



2 ビデオを操作する

ビデオの操作	テレビの動作
再生を始める	テレビの電源が自動的に入り、入力切換が「ビデオ」になる
ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ	
ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶ	入力切換が自動的に「テレビ」になる (テレビの電源は切れません)
ビデオの電源を切る	

テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

お知らせ

テレビの「見テ・録」機能について

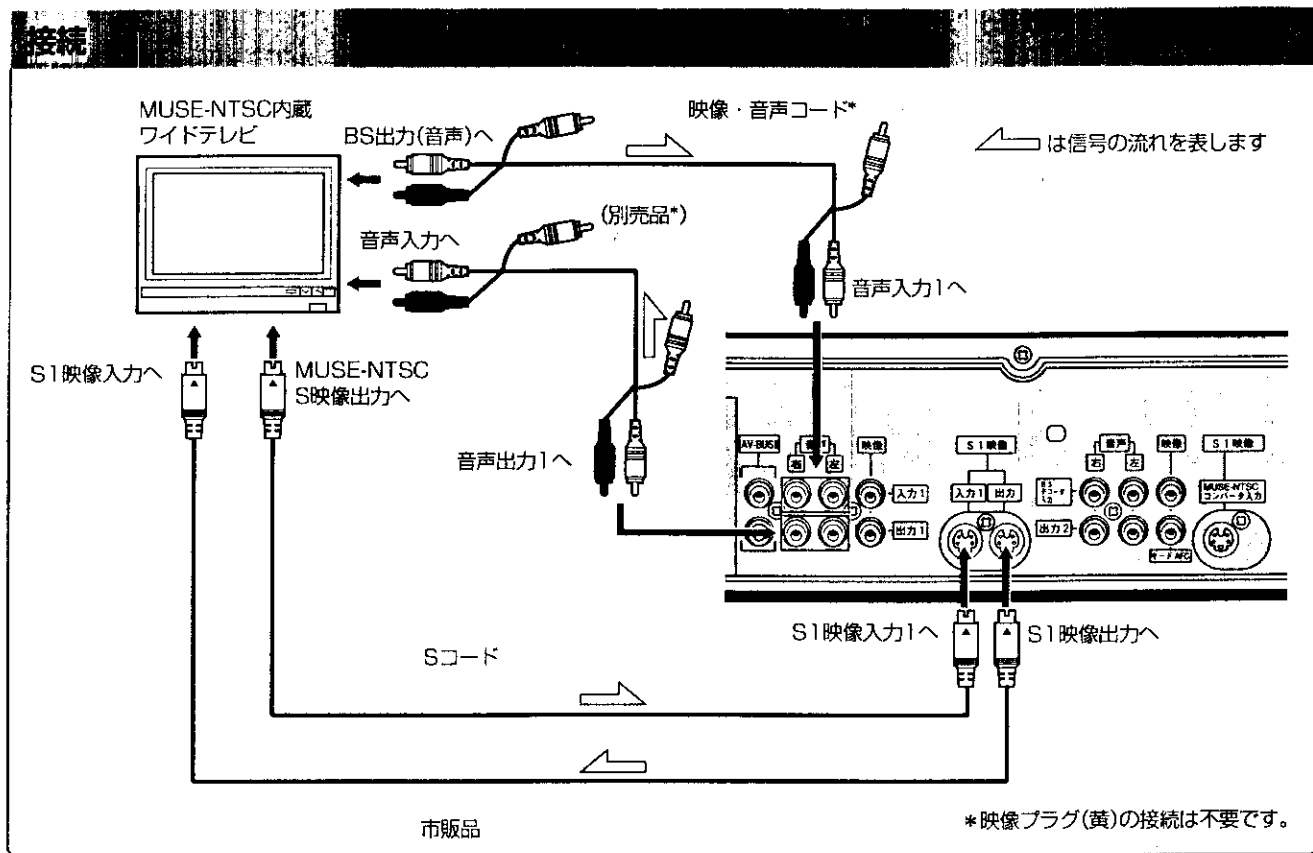
- このビデオには「見テ・録」機能はありませんので、AV-BUS端子付きテレビの見テ・録ボタンを押しても、ビデオは動作しません。

ハイビジョン放送を楽しむ (MUSE-NTSCワイドテレビを使用)

このビデオをMUSE-NTSC内蔵ワイドテレビやMUSE-NTSCコンバータとつなぐと、ハイビジョン放送(BS 9チャンネル)を録画・再生できます。

重要 BSアンテナの接続とBSアンテナ電源の切り換えについては98、99ページ、アンテナ線の接続については84～86ページをご覧ください。

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビをつなぐ

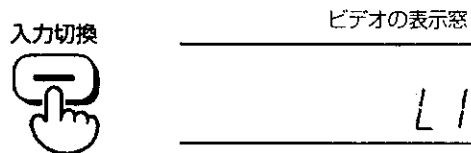


お知らせ

- ハイビジョン放送について
- 本機は、ハイビジョン放送(画面比率16:9)を、画面比率4:3に変換してテープに記録します。
 - 記録したテープを再生したとき、テレビで16:9に変換することができます。
 - BSデコーダをつなぐときは98ページをご覧ください。MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビは、BSチューナーを内蔵しています。
 - テレビの取扱説明書もよくお読みください。

ハイビジョン放送を見る・録画する

- 1 テレビのチャンネルボタンでBS 9チャンネルを選ぶ
- 2 テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- 3 ビデオで外部入力1を選ぶ



- 4 録画するときは、録画ボタンを押す



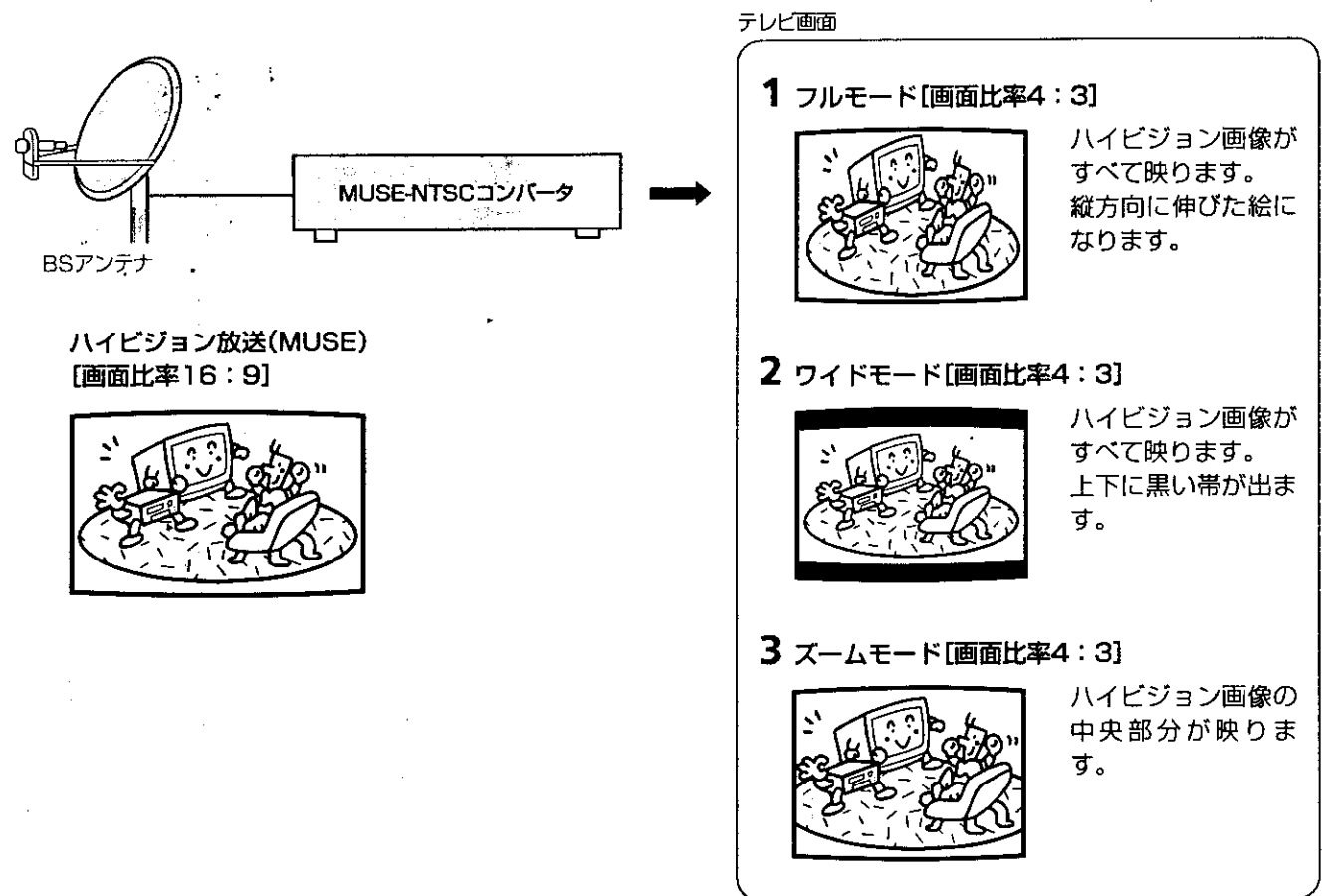
- ハイビジョン放送の画面がテレビに出ます。
- ビデオの表示窓に「L1」表示が出ます。

ハイビジョン放送を楽しむ (MUSE-NTSCコンバータを使用)

このビデオにMUSE-NTSCコンバータとBSデコーダの両方をつなぐと、ハイビジョン放送(BS9チャンネル)とWOWOW(BS5チャンネル)の録画・再生ができます。

映像の画面比率について

MUSE-NTSCコンバータを使うと、ハイビジョン放送を3つの画面に変換してお持ちのテレビで楽しむことができます。



設置・準備

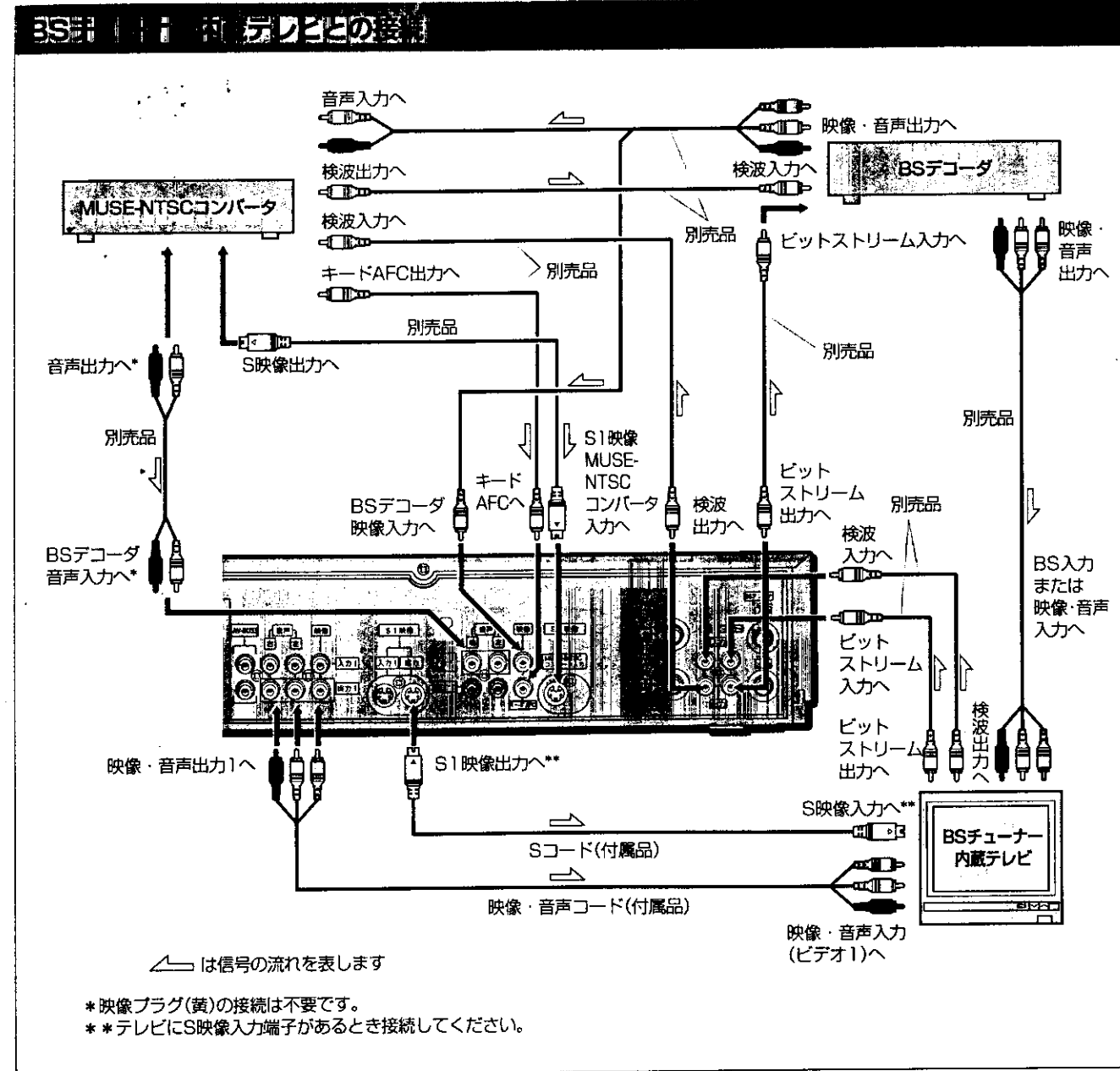
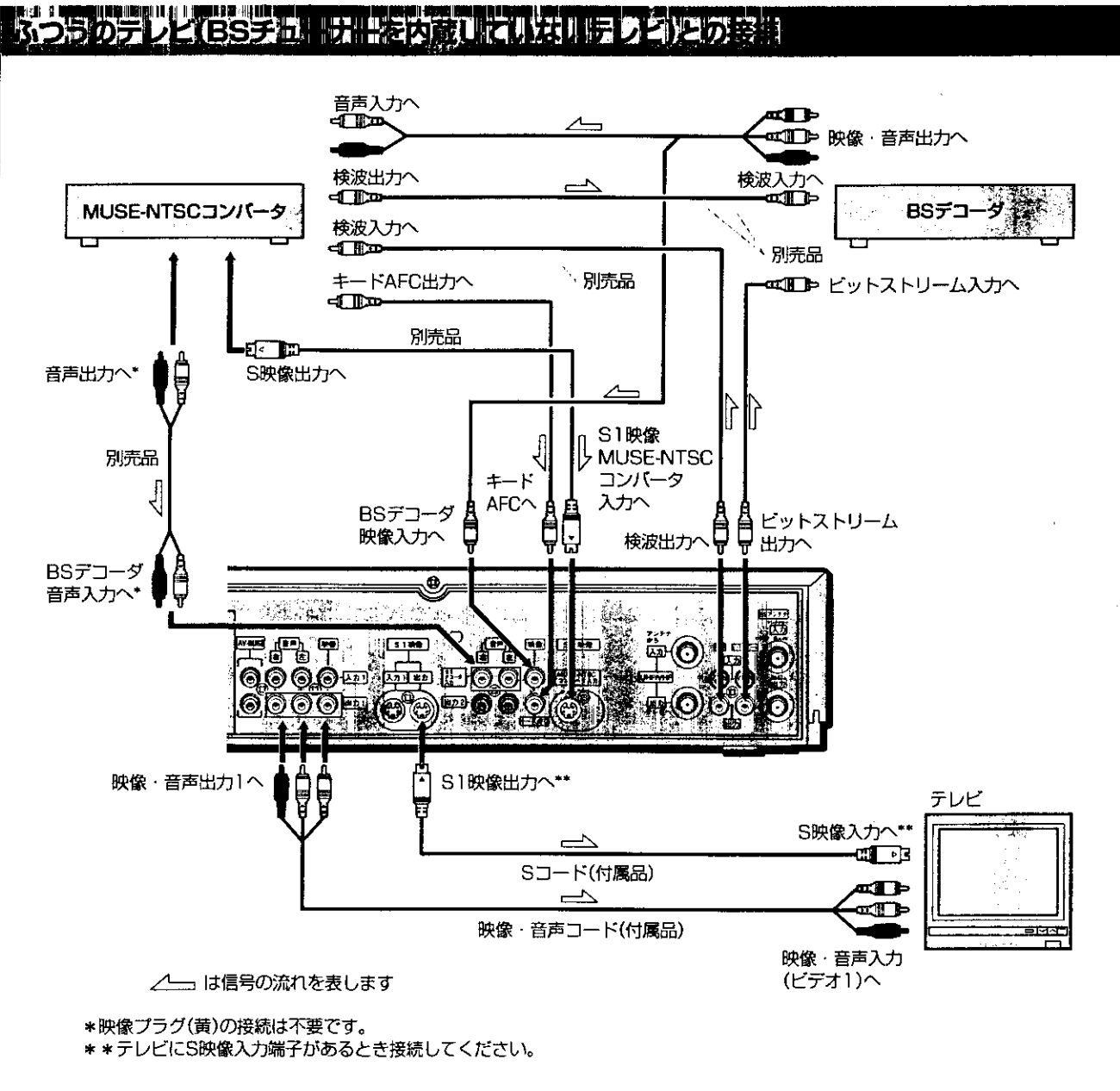


ハイビジョン放送を楽しむ(MUSE-NTSCコンバータを使用) (つづき)

重要

- VHF/UHFアンテナの接続については84、85ページ、BSアンテナの接続については93～94ページをご覧ください
- BSチューナー内蔵テレビとつなぐと、BS放送を見ながら他のBS放送を録画することができます。たとえばWOWOW(BS 5チャンネル)を見ながらNHKのBS放送を録画することができます。
- 12ページをご覧ください、ハイビジョン放送(BS 9チャンネル)を見るための設定をしてください。

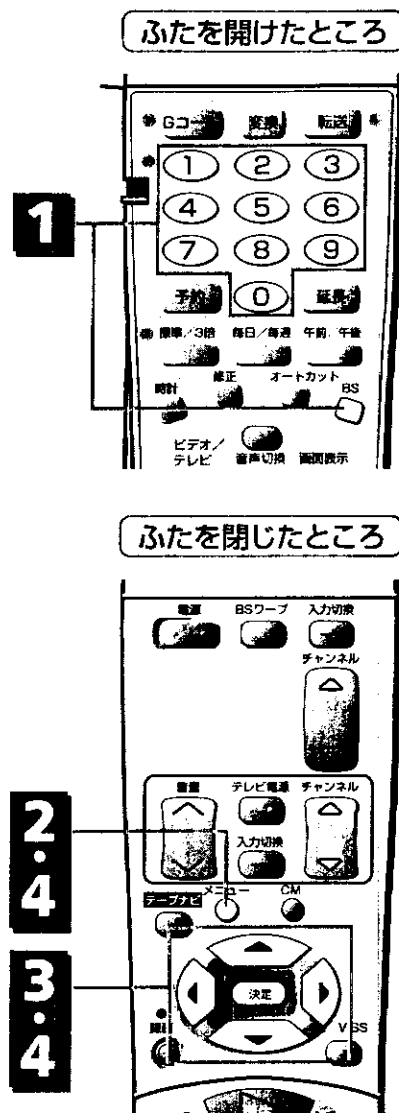
MUSE-NTSCコンバータをつなぐ



設置・準備

ハイビジョン放送を楽しむ(MUSE-NTSCコンバータを使用) (つづき)

MUSE-NTSCコンバータからの映像・音声は、ビデオのMUSE-NTSCコンバータ入力端子に入ります。
BS 9チャンネルを選んだとき、MUSE-NTSCコンバータ入力端子からの映像・音声に切り換えるため、次のように設定してください。

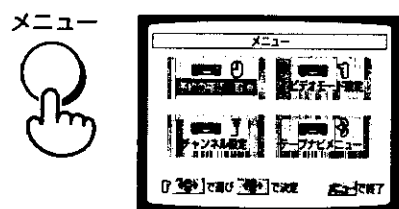


ハイビジョン放送(BS 9チャンネル)を見るための設定

1 BS9チャンネルを選ぶ

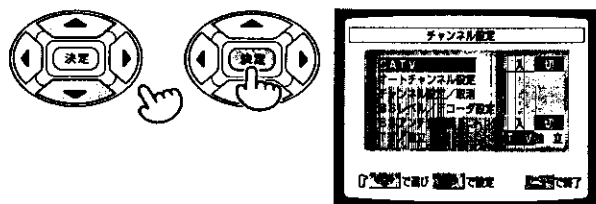


2 メニューボタンを押す



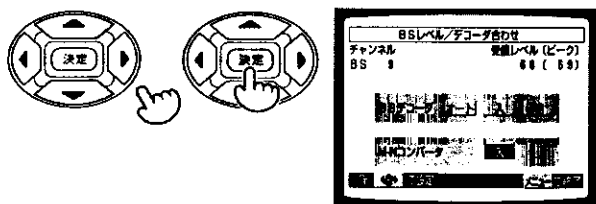
メニュー画面が出ます。

3 ▼、▲ボタンで「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



「チャンネル設定」画面が出ます。

4 ▼、▲ボタンで「BSレベル/デコーダ設定」を選び、決定ボタンを押す



- 「BSレベル/デコーダ設定」画面が出ます。
- M-Nコンバータ「入」を確かめてください。
- 「入」になっていないときは◀、▶ボタンを押して「入」を選んでください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

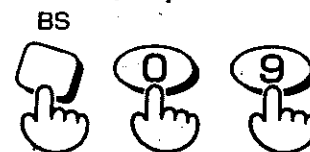
チャンネル設定画面について

- BSチャンネル以外を選んだ状態でチャンネル設定画面を出すと、「BSレベル/デコーダ設定」、「BSアンテナ電源」、「TV/独立」は出ません。

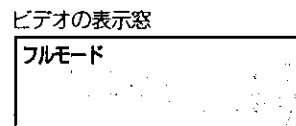
ハイビジョン放送を見る

1 テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

2 ビデオでBS 9チャンネルを選ぶ



3 MUSE-NTSCコンバータで画面モードを選ぶ(●ページ参照)



- フルモード画面を選んだときやその画像を記録したテープを再生すると、自動的にワイドテレビの画面(16:9)に引き延ばされた画像が映ります。
- このときビデオの表示窓に「フルモード」表示が出ます。

3 録画するときは、録画ボタンを押す



お知らせ

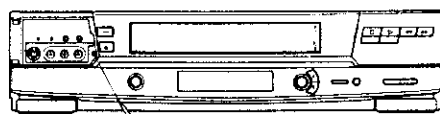
- テープに記録される画像はMUSE-NTSCコンバータで選んだ画面となります。
- MUSE-NTSCコンバータの取扱説明書もよくお読みください。



故障かな…と思ったら

まず下の表でお調べください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理せず、お買い上げの販売店にご相談ください。
アフターサービスについては、100ページをご覧ください。

症状	処置	参照ページ
電源	ビデオの電源ボタンを押しても電源が入らない(ビデオの操作ができない)。	—
リモコン	リモコンでビデオの操作ができない(リモコンが使えない)。	21
	リモコンのビデオ1/2/3切替ボタンを押して、リモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示させてからリモコンを使用してください。	22
	ビデオのリモコン切替ボタンを押して設定を確認してください。リモコンの表示窓に「ビデオ1」と表示されているときは、ビデオの表示窓に「R-1」を、「ビデオ2」のときは「R-2」を、「ビデオ3」のときは「R-3」を表示させてください。	78
	リモコンの反応が遅い。	21
	リモコンでテレビの操作ができない。	79
テープ	巻戻し、早送りができない。	27
テープ	テープが取り出せない。	—
録画	テレビ番組が録画できない(何も録画されていない)。	84
	録画ボタンを押すと、テープが出てくる。	23
	タイマー録画ができない(録画予約したが録画が始まらない)	96
	タイマー録画ができない(電源を切るとテープが出てくる)	23
	アンテナ線を正しく接続してください。 受信チャンネルを合わせ直してください。	90



リセットスイッチ



症状	処置	参照ページ
タイマー録画ができない(録画予約したが何も映ってない)	• タイマー録画予約したあとビデオの電源を切りましたか? ビデオの電源を切っておかないと、予約した時間になっても録画されません。	51
タイマー録画予約ができない(予約の内容を転送できない)<Gコード予約時、リモコン予約時>	• ビデオの時計を合わせてから、予約を転送してください。 • ビデオ1/2/3切替ボタンを押してリモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示させてから予約を行い、ビデオに転送してください。	96 22
ケーブルテレビを使用しながら、UHF放送をタイマー録画予約できない。	• 「CATV」の設定が「入」になっているときは、UHF放送の番組をタイマー録画予約できません。ケーブルテレビチャンネルを設定したときに変更したチャンネル番号で予約してください。	95
ケーブルテレビのBS番組をGコード予約できない。	• 予約のとき、下記の方法でチャンネルを修正してください。 1) Gコードを入力します。リモコンの表示窓に「BS」表示が出ます。 2) 修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させます。 3) BSボタンを押して「BS」表示を消します。 4) ケーブルテレビのチャンネルを入力します。	59
リモコンを使ってタイマー予約をしていたら、途中で時計表示に戻ってしまった。	• 操作を約1分中断したためです。もう一度Gコードボタンか予約ボタンを押して予約をやり直してください。	49 54
録画	タイマー録画したが、録画内容が違ってしている。<Gコード予約時>	49
	• Gコードを間違えて入力していませんか? Gコードを正しく入力してください。 • 予約を転送するときは、必ず内容を確認してください。特にチャンネルは、ビデオ本体で設定したチャンネル番号と同じになっていることを確認し、違っていたら修正してください。	52
タイマー録画の途中でビデオの電源が切れ、テープが出てきた。	• タイマー録画の途中でテープがなくなりました。	59
タイマー録画を途中でやめることができない。	• 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。	51 53
クイックタイマー録画を途中でやめることができない。	• 停止ボタンを押してください。	41
クイックタイマー録画ができない。	• 「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。 • ビデオの時計を合わせてください。	23 96
ビデオと接続している機器から録画できない。	• 後面端子に接続した機器から録画するときは、入力切替ボタンを押して「L1」(外部入力1)を選んでください。 • 前面端子に接続した機器から録画するときは、入力切替ボタンを押して「L2」(外部入力2)を選んでください。	47 45

ご参考



	症状	処置	参照ページ	
再生	再生画像に帯状のにノイズが出たり、画像がモヤモヤする。	古いテープや、他のビデオで録画したテープを再生するとき起こることがあります。チャンネル(トラッキング)ボタンを押して最良に映るように調整してください。	28	
	再生画像がきれいに映らない、または音は出るが画像が出ない。	ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	11	
	音が途切れる。			
	ヨーロッパなどで買ったテープが再生できない。	日本とヨーロッパなどでは信号方式が違うためこのビデオでは再生できません。	125	
	日本語と英語が同時に聞こえる。	音声切換ボタンを押してビデオの表示窓に L または R を出し、聞きたい音を選んでください。	36	
	Hi-Fiサウンドの音が出ない。	音声切換ボタンを押してビデオの表示窓に L R を出し、聞きたい音を選んでください。	36	
テープナビ	録画時のデータが登録されない。	<ul style="list-style-type: none"> テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらぬテープの登録内容を消してください。 テープナビメニューの「テープナビ」を「入」にしてください。 録画時間が短いとき(標準モードで約5分以内、3倍モードで約15分以内)のときは、登録されません。 オートカット機能を使って30分以内の番組を録画したときは、録画時のデータが登録されません。 	72 69 66 67	
	録画時に「登録データを消してください」という表示がテレビ画面に出る。	テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらぬテープの登録内容を消してください。	72	
	見たい番組が探せない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。 本機で録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、テープナビボタンを押してください。 	70 70	
	録画予約したときの録画時間と実際の録画時間がちがう。	オートカット機能を使って録画すると、CMをカットした分だけ録画時間が短くなります。故障ではありません。	67	
	CMとばしツファ	CMオートボタンが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> CMオートボタンを押して点灯させてください。 他のビデオで録画したテープを再生しています。本機以外で録画したテープでは動作しません。 テープナビ「切」で録画したテープを再生しています。テープナビ「入」で録画したテープを再生してください。 	32 32 32
		CMオートでCMをとばさない。	<ul style="list-style-type: none"> 1本で60秒以上のCMや1本が15秒以内のCM、また2本以上続いて60秒未満のCM部分は正しくとばされません。故障ではありません。 録画開始部分や終了部分では正しくとばせないことがあります。 再生中にリモコンのCMボタンを押し、テレビ画面に[CMオート]を出してください。 	31 33 32

	症状	処置	参照ページ
オートカット機能	録画(予約も含む)したのにテープには何も録画されていない。	ステレオ放送の番組を録画していませんか？ オートカット機能はステレオ放送をカットするので、ステレオ放送の番組を録画することはできません。オートカット機能を使って録画するときは、ステレオ放送以外の番組を選んでください。	42
	見ている番組をオートカット機能を使って録画しているが、オートカットを解除できない。	停止ボタンを押して録画を終了するとオートカットが解除されます。	44
	録画中に番組を切り換えられない(一時停止ボタンを押しても録画一時停止にならない)。	停止ボタンを押して録画を終了させてから、チャンネルを切り換えてください。	44
	オートカット機能を使って録画を始めたが、すぐに一時停止になった。	ステレオ放送のCMまたは番組をカットしています。ステレオ放送以外の番組になると自動的に録画を開始します。	44
	チャンネル設定	受信チャンネルの表示を変えたら、テレビ番組の内容とチャンネル表示が合わなくなった。	チャンネルの表示と番組の内容を確認し、もう一度設定をやり直してください。
チャンネルが出ない。		<ul style="list-style-type: none"> チャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたチャンネルを元に戻してください。 チャンネル設定をしたあとでアンテナなどの接続を変えたときや、引越など放送局が変わったときは、チャンネル設定をやり直してください。 	92 90
[L1][L2]が出ない。		[L1][L2]を飛ばして設定しています。飛ばした[L1][L2]を元に戻してください。	92
衛星放送(BS)	映像も音声も出ない。	<ul style="list-style-type: none"> BSアンテナを正しく接続しているか確認してください。 正しく接続されているのに映らないときは、アンテナ線を本機のBSアンテナ入力端子から抜き、もう一度正しく接続してから、ビデオの電源を入/切してください。それでも映らないときは、BSアンテナ側の接続を確認してください。 BSアンテナ電源の切り換えを正しく設定してください。 	98 98 99
	テレビ画面に「独立」が表示され、BSチャンネルの音が出ない。	チャンネル設定画面の「TV/独立」を「TV」にしてください。	63
	BSチャンネルが映らない。	<ul style="list-style-type: none"> BSチャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたBSチャンネルを元に戻してください。 BS以外のチャンネルを設定したあとで、BSアンテナを接続したときは、もう一度チャンネル設定をやり直してください。 	92 90




故障かな…と思ったら(つづき)



表示窓のガイド表示



ビデオの表示窓に次のような表示が出て、ビデオの状態をお知らせします。

症状	処置	参照ページ	
衛星放送(BS)	BSチャンネルの映りが悪い。または変な音声が出る。	<ul style="list-style-type: none"> BSアンテナの向きを調節してください。 BSアンテナに雪が付着しているときは、雪を取り除いてください。 豪雪や豪雨で電波が地球に届きにくくなっています。気象条件によるもので、故障ではありません。 	100 — 123
	BS5チャンネルの映りが悪い(画面にザーツというノイズが入る)。	<ul style="list-style-type: none"> JSBと契約し、BSデコーダを接続してください。 BS5チャンネルの設定をします。デコーダ設定画面で「BSデコーダ」を「入」にしてください。 	102 104
	BSチャンネルをタイマー録画したら、音が全く録音されていない。	タイマー録画の前に、チャンネル設定画面で「TV/独立」のBS音声を正しく合わせてください。	63
その他	ダビング編集ができない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機を録画側のビデオとして使うのか、再生側として使うのかを確認し、正しく接続してください。 録画側ビデオで「外部入力」を選んでください。 	45 46 46
	ビデオの表示窓が誤表示したり、ボタンを押しても操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> リセットスイッチをつまようじなどで押してください。表示部がリセットされます。そのあと、時計合わせやタイマー予約など必要な設定をやり直してください。  <p>リセットスイッチ</p>	—
	テープが動いているのに、経過時間表示が動かない。	経過時間表示は、テープに何も録画されていないと動きません。	62
	ビデオを操作しても画面表示(動作表示)が出ない。	お好みセレクトの「OSD表示」を「オート」にしてください。	65
	ビデオの時刻を自動的に修正(ジャストクロック)できない。	<ul style="list-style-type: none"> お好みセレクトの「オート時計設定」を「オート」にしてください。 ビデオの時刻と現在時刻が3分以上ずれているときは、時刻を修正することはできません。 	65 97
	英語の字幕が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 字幕ボタンを何回か押してください。 早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が出ません。また、傷がついたテープや録画状態の悪いテープは字幕を正しく表示できないことがあります。 	37 37
	録画した番組を再生していたら、自動的に早送り再生になった。	再生中にCMボタンを押してテレビ画面の[CMオート]または[S]スキップを消してください。	32 34
	MUSE-NTSCコンバータを接続しても、ハイビジョン放送が見られない。	<ul style="list-style-type: none"> 接続を確認し、正しく接続してください。 BS9チャンネルの設定をします。デコーダ設定画面で「M-Nコンバータ」を「入」にしてください。 	110 112
	テープを停止後、しばらくして音がした。	停止状態で約1分たつと内部のテープ保護メカが動作し、多少音がします。故障ではありません。	—

表示	表示が出る時	意味と処置	参照ページ
 (約5秒点滅)	タイマー予約転送時	ビデオの時計が「—:—」になっています。時計を合わせ直してから転送してください。	96
 (約5秒点滅)	タイマー予約転送時	リモコンをビデオに向けずに転送しています。ビデオに向けてください。	—
 (約5秒点滅)	タイマー予約転送時	すでに8つの番組が予約されています。不要な予約を取り消してから転送してください。	57
 (約5秒点滅)	タイマー予約転送時	予約を受け付けました。	50 55
 (ずっと点滅)	タイマー予約後、電源を切ったとき、または電源切で予約を転送したとき	テープが入っていない、またはつめの折れたテープが入っています。つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	23
 (約3秒点滅)	再生、録画、早送り、巻戻しボタンを押したとき	テープが入っていません。テープを入れてください。	23
 (約3秒点滅)	録画、ダビング時に録画ボタンを押したとき	つめの折れたテープが入っています。つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	23
 (または、R-1、R-3、R-OFF) (約3秒点滅)	リモコンのボタンを押したとき	ビデオのリモコン切替ボタンの設定が、リモコンの表示窓の設定と違ってしています。ビデオのリモコン切替ボタンを押して、リモコンの表示窓の設定(ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3)と合わせてください。	78
 (約3秒点滅)	電源を入れたとき	ビデオのヘッドが汚れましたので、ヘッドを清掃してください。CL表示を消すには、ヘッド清掃後、電源を切り、チャンネル▲ボタンを押してください。なお、CL表示は表示後約5時間録画、再生すると自動的に消えます。	11

参考

保証とアフターサービス

(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読になったあとは大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこのビデオカセットレコーダーの補修用性能部品の、製造打切後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

転居される時

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電品取扱店をご紹介させていただきます。なお、本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切り換えが自動的に行われますので、切り換えなしでどちらの地域でも使用できます。

修理を依頼される時(出張修理)

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(14～16ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、ビデオカセットレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責については、ご容赦ください。保証期間中は、保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをご知らせください。

品名 ビデオカセットレコーダー
 形名 7B-BSJ1形
 お買い上げ日 年 月 日
 故障の状況 できるだけ具体的に
 ご住所 付近の目印等も併せてお知らせください
 お名前
 電話番号
 訪問ご希望日

● 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ビデオカセットレコーダーはカラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、およそ1000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

形名	7B-BSJ1			
電源	AC 100V、50/60Hz共用			
消費電力	電源「入」時29W、電源「切」時5W			
方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン S-VHS 方式(NTSC準拠)			
使用カセット	S-VHS または VHS タイプビデオカセット			
テープ幅	12.7mm			
テープ速度	標準モード 33.4mm/秒、3倍モード 11.1mm/秒			
録画再生時間	標準モード 3時間30分(T-210使用時) 3倍モード 10時間30分(T-210使用時)			
巻戻し時間	高速巻戻しモード約83秒、通常巻戻しモード約130秒(T-120使用時)			
ヘッド数	6(4:映像用、2:Hi-Fi音声用)			
VHF出力	1、2チャンネル切り換え可能			
受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル BS 1~15チャンネル UHF 13~62チャンネル CATV 13~63チャンネル			
映像入力	S1映像端子:輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 映像端子:1.0Vp-p、75Ω不平衡			
映像出力	S1映像端子:輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 映像端子:1.0Vp-p、75Ω不平衡			
音声入力	-7.8dBs(316mVrms)、ハイインピーダンス			
音声出力	-7.8dBs(316mVrms)、ローインピーダンス			
音声トラック	3トラック Hi-Fi VHS音声2トラック:ステレオ録音/ステレオ再生 ノーマル音声 1トラック:モノラル録音/モノラル再生			
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ:90 dB以上 周波数特性:20 Hz~20 kHz ワウ・フラッター:0.005%			
許容動作温度	5℃~40℃			
許容相対湿度	35~80%以下			
外形寸法	(幅)43.5 ×(高さ)9.9 ×(奥行)30.2 cm			
質量	本体 4.6kg			
付属品	ワイヤレスリモコン(VT-RM93)	1個	Sコード	1本
	同軸ケーブル	1本	AV-BUSコード	1本
	映像・音声コード	1本		
	単3形乾電池	2個		

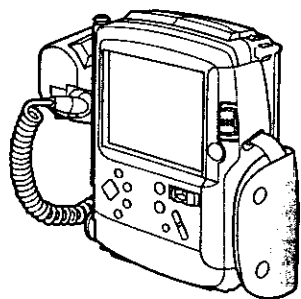
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオカセットレコーダーは、日本国内専用です。電源・電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
 <This video cassette recorder cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>



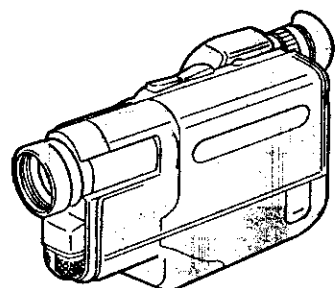
別売品のご紹介

本機とともにお使いいただける、当社の製品をご紹介します。

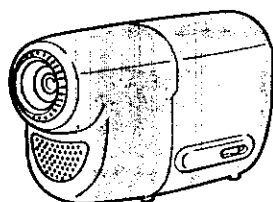
ハイエイト
液晶Hi8ビデオカメラ VM-H200L



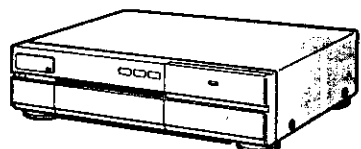
ハイエイト
Hi8ビデオカメラ VM-H720



ミニビデオカメラVK-C32

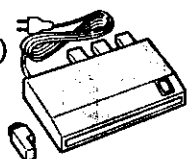


カラービデオプリンタ
VY-VP20



ブースター

- HD-WB2A (VHF・UHF・FM兼用)
- HVTR-W26A (VHF・UHF兼用)
- HVTR-U26A (UHF専用)
- BS-B30(BS用)



接続コード

- HPU-131AV (映像用)
- HPU-121(音声用)
- HPU-200AV (映像・音声用)
- HPU-100 (AV-BUS II用)

ビデオカセットテープ

- VHS** テープ
- T-160SX ●T-120SX
 - T-160HG ●T-120HG
 - T-180HG
- SVHS** テープ
- ST-180SR ●ST-120SR
 - ST-160SR ●ST-60SR

ヘッドクリーニングテープ

- 乾式ビデオヘッドクリーナー T-CLO1
- 湿式ビデオヘッドクリーナー AV-210

その他

- マッチングアダプター VT-BF11 086
- U/V分波器 VT-BF11 096
- BS/U/V分波器 BS-S30 (電流通過端子付) HBS-S30A (電流通過端子付)
- BS/U/V混合器 BS-UV1A (電流通過端子付) BS-UV2 (電流通過端子付)
- BS分配器 BS772A (電流通過端子付) BS773A (電流通過端子付) BS774A (電流通過端子付)

カセットアダプタ

- TA-3C

用語の解説

衛星放送

赤道上空約36,000キロの静止衛星軌道に打ち上げられた放送衛星を中継として、テレビ電波を受信するシステムです。衛星放送には、8つのチャンネルがあります。現在は、BS5、BS7、BS9、BS11の4つのチャンネルの放送があります。(1997年7月現在)

- BS7、BS11は、NHK衛星第1と第2です。
- BS5は、WOWOW (JSB:日本衛星放送(株))です。また、セント・ギガ(SDAB:衛星デジタル音楽放送(株))が独立音声を送信しています。これらは、受信契約と専用のデコーダの接続が必要です。受信契約と専用のデコーダについては、代理店(主に電器店)にご相談ください。
- BS9は、ハイビジョン実用化試験放送です。専用のMUSE-NTSCコンバータが必要です。
- 衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなる場合があります。これは気象条件によるもので、アンテナやBSコンバータの故障ではありません。

衛星放送を受信するには、専用アンテナが必要です。設置場所によっては、受信できない場合がありますので、販売店にご相談ください。アンテナの接続については、98ページの「BSアンテナをつなぐ」をご覧ください。



音声切替 (66 ページ)

二カ国語放送などを再生するときに便利な機能です。音声切替ボタンを押すたびに、日本語だけ、外国語だけ、日本語と外国語といった具合に音声切り替わります。録画中に切り換えても、録音内容は変わりません(日本語・外国語の両方が録音されます)。

スクランブル (63、102~104 ページ)

BS5チャンネルを見るには、受信契約と専用のデコーダが必要です。このデコーダとビデオを接続し、BS5チャンネルを見るための設定を行わないと、BS5チャンネルにしたとき、ザーツという画面(音)が現れます。このザーツという状態をスクランブルといいます。

ダビング (45 ページ)

2台のビデオを接続して、テープを複製することをダビングといいます。ダビングしたテープは多少画質が低下します。

トラッキング調節 (28 ページ)

テープを再生すると画面に白い帯状のノイズが出る場合があります。これは、録画された部分をヘッドが正確になぞっていないためにおこります。これを正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。オートトラッキングは、この調節を自動化したものです。

入力切替 (45 ページ)

他の機器から録画・録音するときに必要な切替です。ビデオは通常、テレビ番組を録画できるようになっています。入力切替ボタンで「L1」、「L2」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。

ビデオ専用チャンネル (ビデオチャンネル) (87 ページ)

1または2いずれかのチャンネルです。映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが、ビデオの専用チャンネルです。ビデオ前面にあるチャンネル切替ボタンを押して1または2チャンネルに切り換えます。

ビデオ/テレビ切替 (24 ページ)

ビデオのVHFアンテナ出力の切替です。「ビデオ」にしておくと、映像と音声は1または2チャンネルの放送(ビデオの専用チャンネル)としてテレビに供給されます。ビデオの電源を切ったときは「テレビ」になっており、テレビは普通に使用できます。ビデオ/テレビ切替ボタンで切り換えます。



ブースター(電波増幅器) (84、122 ページ)

名前のとおり、電波を増幅します。電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見ることができます。増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

録画モード(標準/3倍) (23、38 ページ)

ビデオには、「標準」と「3倍」の録画モードがあり、録画時に切り換えられます。
標準：テープスピードが標準の速さです。画質を重視するときには「標準」で録画することをおすすめします。
3倍：テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「標準」に比べて3倍長く録画できます。

再生のときは、録画時のスピードに自動的に切り換わりません。

Aモード (63 ページ)

衛星放送の音声です。テレビ音声と独立音声と一緒に送られてきます。FM放送と同等の音声です。独立音声は、テレビ音声とは関係ない「独立した」音声です。

Bモード (63 ページ)

衛星放送の音声です。テレビ音声のみ送られてきます。コンパクトディスクと同等の音声です。

BS (98 ページ)

BSとは「Broadcasting Satellite」(衛星放送)の略称です。

BSデコーダ (102 ページ)

JSB(日本衛星放送株式会社)の有料放送、WOWOW(BS5チャンネル)を見るためにスクランブル画像を正常な画像に戻す装置です。

クローズド キャプション Closed Caption (37 ページ)

クローズド・キャプションシステムは、アメリカで聴覚障害者用に開発されたテレビの字幕放送です。アメリカではテレビ番組のみではなく、ソフトテープ、ビデオディスクなどにもクローズド・キャプション信号が入っています。日本国内でも、クローズド・キャプション対応のソフトテープが増えており、英語学習に利用することができます。

Gコード (48 ページ)

ジェムスターコードの略です。番組予約を簡単にするために、各番組に付けた最大8桁の数字を入力するだけで開始時刻、終了時刻、チャンネル、録画日が自動的に決まります。各番組の番号は新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されています。

Gコード・インフォ (48 ページ)

従来の「Gコードシステム」を応用・展開した予約録画システムのことです。次のような利点があります。
① 1つの番組には全国どこでも同じコードが与えられるので、効率がよい。
② 録画時間の長さの精度が高いので、短時間番組の予約録画に適している。

「Gコード・インフォ」に使用するIコードは、Info plus code の略です。IコードはGコードの番号が「0」で始まります。

Gコード予約 (49 ページ)

ジェムスター社が開発したGコードを使う簡単録画予約システムです。

ハイファイ Hi-Fi サウンド (36 ページ)

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定ヘッドで録音/再生します。一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-fiサウンドです。

オーエスディー OSD表示 (65 ページ)

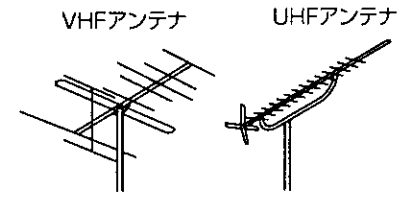
OSDとは、On-Screen Displayの略です。OSD表示とは、画面表示やビデオを操作したときにテレビに現れる動作表示です。

エヌティーエスシー NTSC方式 (121 ページ)

日本やアメリカなどで使われているテレビの信号方式です。ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式とは互換性がないので、PAL方式やSECAM方式で録画されたテープはNTSC方式のビデオでは再生できません。

VHFとUHF放送 (84 ページ)

テレビ放送にはVHFとUHF放送、BS(衛星)放送があります。VHF放送は1~12チャンネル、UHF放送は13~62チャンネルでご覧になれます。それぞれの放送に応じたアンテナが必要です。アンテナの形を見ると、どの放送を受けているか、よくわかります。



※一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

ビス VISS (35 ページ)

VHS Index Search Systemの略で、テープに記録された頭出し用の信号(VISS信号)を使って頭出しをする方式です。本機は録画を始めると、自動的にVISS信号を記録します。

ハイビジョン放送 (108 ページ)

走査線の数が現行テレビの2倍以上の1125本(現行525本)、縦横比9:16(現行3:4)の放送です。すでに衛星放送で試験放送が始まっています。

ミュージック エヌティーエスシー MUSE-NTSCコンバータ (109 ページ)

ハイビジョン放送を現行テレビ(NTSC方式)で見られるように変換する装置です。ただし、走査線の数は525本です。

S映像信号

従来の映像信号を輝度(Y)信号とカラー(C)信号に分離した信号です。2つの信号がお互いに影響を受けないため、鮮明な映像が楽しめます。
*S映像信号の「S」はセパレート(SEPARATE)YCの「S」です。

S1映像信号

S映像信号と、MUSE-NTSCコンバータなどのフルモード(縦長)の映像を自動判別するための識別信号を一緒にした信号です。

「J」検索



索引の見かた
見出し語と同じ形のものは「〜」で代用してあります。
ただし、活用形や複合語、文の途中に出てくる場合は、文字で示してあります。

あいうえお

- 頭出し 35,68,70
- アンテナ線 84
- 一時停止
 - テープを止めて見る 29
 - 録画を一時停止する 39
- 衛星放送 123
 - 〜を録画する 38
- 映像・音声コード 24
 - 〜を使った接続 88
- 延長 51
- お好みセレクト 64
- オーディオ録音 47
- オート
 - 録画モード「オート」を選ぶ 50,55
 - 録画モードを「オート」に合わせると 59
- オートカット 42,44
- オート時計設定 65
- オートトラッキング 28
- オートリワインド 28
- オートリワインドシャットオフ 28
- 音声切替 123
 - オーディオ録音の音声切替 47
 - 二重音声・ステレオ音声の音声切替 36
 - 録画中の音声切替 39
- 音量ボタン 22,79

かきくけこ

- 画面表示 60
- カラーバー 67,70
- キードAFC端子 110,111
- 共聴(共同)アンテナ 98,99
- クイックタイマー 41
- クロスド・キャプション 37
- 経過時間 60,62
- 結露 12
- ケーブルテレビ 95
- 検波入・出力端子 103
- 誤消去防止 23
- 混合器 84
 - 〜を使ってアンテナ線をつなぐ 85
 - BS/UV混合器 122
- 午前・午後ボタン 54,96

さしすせそ

- 再生
 - ある場面を止めて見る 29
 - 映像をクッキリさせる 30
 - 画像を見ながら探す 29
 - テープを見る 27
 - ゆっくりした速さで見ると 29
 - CMをとばして見る 31
- サーチ 29
- 3次元ワイドポジション 30
- 3次元DNR 65
- 3次元Y/C 65
- 3倍
 - 3倍モードでの録画時間 23
 - 録画モード「3倍」を選ぶ 38
- 残り時間 60,61
- ジャストクロック 97
- 主音声 36
- 19ミクロンヘッド 13
- 受信チャンネル
 - 〜の表示を変える 94
 - 〜を合わせる 90
- スクランブル 104,123
- ステレオ
 - 〜音声を選ぶ 36
 - 〜から音声を録音する 47
 - 〜放送の録音 39
 - 〜をつなぐ 47
- ステレオCMスキップ 34
- スロー再生 29
- 静止画再生 29
- たごつてと 76
- タイムナビ 76
- タイマー録画・予約
 - タイマー録画を途中でやめる 51,55
 - 予約内容を確認する 57
 - 予約のしかた 49~56
 - 予約を取り消す 57
- ダビング 123
 - 本機を再生側にしてダビングする 46
 - 本機を録画側にしてダビングする 45

- チャンネル設定 90
 - 「オートチャンネル設定」 90
 - 「チャンネルの設定/取消」 92,93
 - 「チャンネルの表示の設定」 94
 - CATVのチャンネル設定 95
- チャンネル
 - 映りの悪いチャンネルをとばす 92
 - 映るチャンネルを確認する 91
 - 〜の選ばれる順序 91
 - 〜の表示を変える 94
 - 〜を微調節する 93
 - 録画したいチャンネルを選ぶ 38
- つめ
 - 〜を折る 23
 - 〜を折ったテープに録画する 23
 - 〜を折ったテープに録画すると 39
 - 〜を折ったテープを再生すると 27
 - 〜を折ったテープでタイマー予約する 23,51,55
- 停止
 - 再生を停止する 27
 - タイマー録画を停止する 41,51,53,55
 - 録画を停止する 39
- デコーダ設定 104
- テープナビ画面 66
- テープナビメニュー 69
- テープナビ 66
- テレビ
 - 映像・音声入力端子つき 88
 - AV-BUSII端子つき 106
 - 〜でチャンネルを選ぶ 40
 - 〜をつなぐ 84
 - MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビ 108
 - リモコンで〜を操作する 79
- テレビ専用ボタン 22,79
 - 音量ボタン 79
 - 入力切替ボタン 79
 - チャンネルボタン 79
 - テレビ電源ボタン 79
- テレビコード 79
- 電源
 - 〜が自動的に入る 27
 - 〜を切る 51,53,55
- 転送 50,53,55,97
- 独立音声 63

- トラッキング 123
 - 〜を調節する 28,29
- 時計
 - 〜の合わせかた 96
 - 〜を修正する 97
 - 〜を表示する 60
- 同軸ケーブル 3,85
 - 〜を使ってテレビをつなぐ 85
 - 分波器に同軸ケーブルを取り付ける 86

なにぬねの

- 二重音声
 - 〜放送を録画する 39
 - 〜を選ぶ 36
- 入力切替 123
 - 〜ボタン 45,47
 - テレビの入力切替を「ビデオ」にする 89
- ノーマルサウンド 36
- ノイズ
 - スロー再生中にノイズが出るとき 29
 - 静止画が上下に揺れるとき 29

はひふへほ

- ハイビジョン放送
 - 〜の画面比率 109
 - 〜を見る 108,113
 - 〜を録画する 108,113
 - MUSE-NTSCコンバータ 109,111
 - MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビ 108,113
- 早送り
 - テープを高速(260倍速)で早送りする 28
 - テープを早送りする 27
 - 早送りしながら見たい場面を探す 29
- ビットストリーム入・出力端子 102,103
- ビデオチャンネル 87
- ビデオ1/2/3切替 22
- ビデオ/テレビ切替 24,123
- 「ビデオ」表示
 - 〜を消す 40
 - 〜を出す 24
- ビデオヘッド
 - 〜の清掃 11
 - 〜の磨耗 11

- ビデオモード設定 64
 - 標準
 - 標準モードでの録画時間 23
 - 録画モード「標準」を選ぶ 38
 - 副音声 36
 - プースター 84,122
 - フルモード 108,109
 - 分波器 84,122
 - 〜に同軸ケーブルを取り付ける 86
 - 〜を使ってテレビをつなぐ 85
 - ヘッドクリーニングテープ 122
 - 〜でヘッドを清掃する 11

まみむめも

- 毎日/毎週
 - 〜録画 51,56
- 巻戻し
 - テープを高速(260倍速)で巻戻しする 28
 - テープを巻戻す 27
 - 巻戻しながら見たい場面を探す 29
- メニュー
 - メニュー画面 57,64
- モノラル 36
 - 〜ビデオをつなぐ 45,46

やゆよ

- 予約
 - Gコード予約 49
 - リモコン予約 54
 - 「タイマー録画・予約」も参照

らりるれろ

- リモコン
 - 〜受光部 21
 - 〜の電池の入れかた 21
 - 〜でビデオ、テレビを操作する 22
- リモコン切替ボタン 78
- 録画
 - クイックタイマー 41
 - 見ている番組を録画する 38
 - タイマー録画 48
 - 〜しながら別の番組を見る 40
 - 録画時間 23

- 録画モード 124
 - 〜によるテープの録画時間 23
 - 〜を選ぶ 38,50,55

A B C

- AV-BUSII端子 106
- BSアンテナ
 - 〜の方向を調整する 100
 - 〜をつなぐ 98
 - 〜電源の切り換え 99
- BSコンバータ 98
- BSデコーダ 102,103,105
- BSチューナー内蔵テレビ 98,103
- BSワープボタン 38
- CATVをご使用のとき 95
- Closed Caption 37
- CMオート 32
- CMカット 42,44
- CMスキップ 31
- CMとばしワザ 31
- Err 59
- Error 49
- FULL 59
- Gコード 48,124
 - Gコード・インフォ 124
 - 〜予約 49
 - 〜を入力する 49
- Hi-Fiサウンド 125
 - 〜を選ぶ 36
- JSB 102
- OSD表示 65,125
- S映像信号 125
- Sコード 88
- SDAB 105
- S1映像信号 125
- SQP 26
- S-VHS 26,38
- VISS 125
 - 〜を使う 35
- UHF/VHF放送 84,125
- WOWOW 102,104